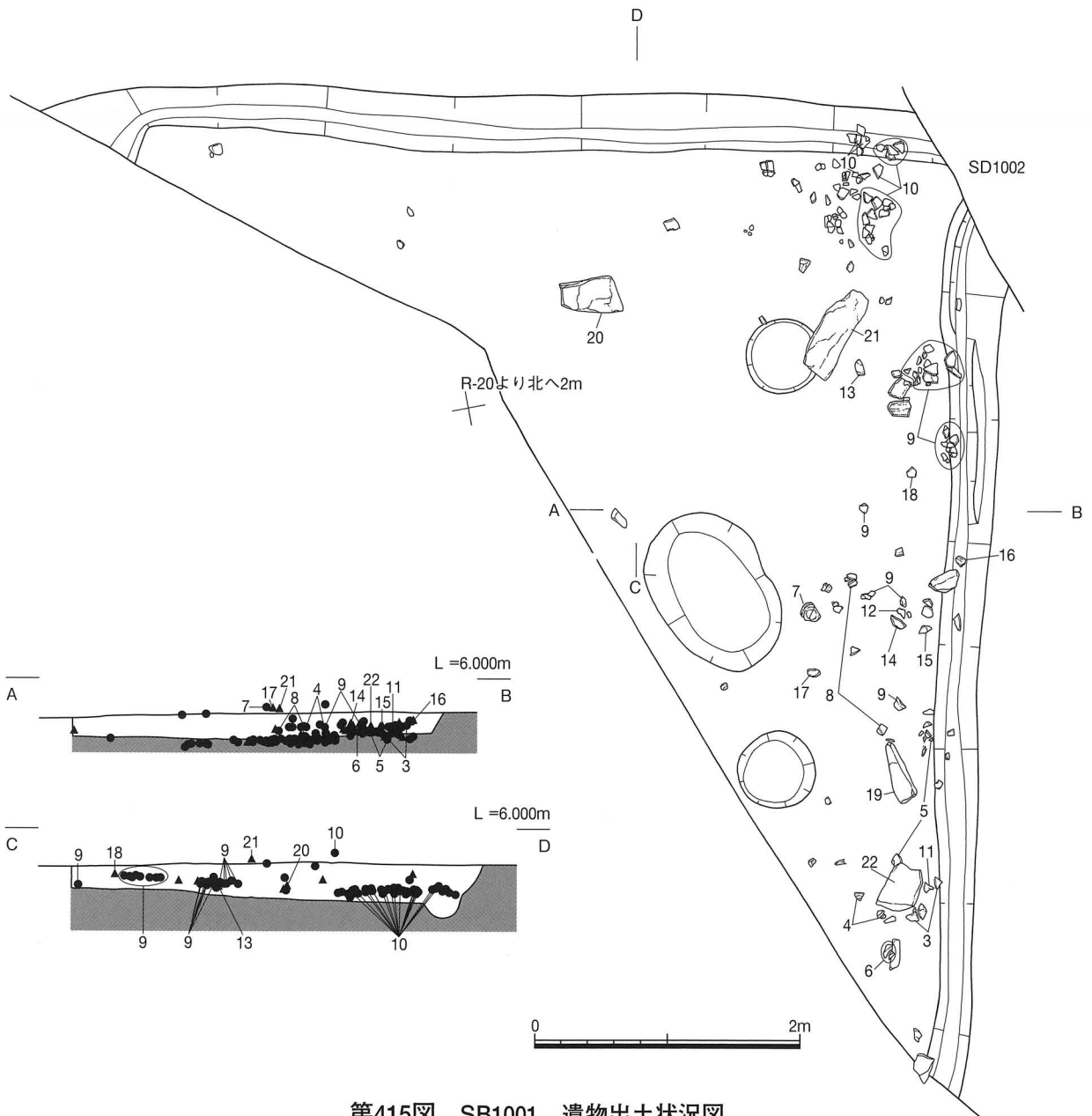
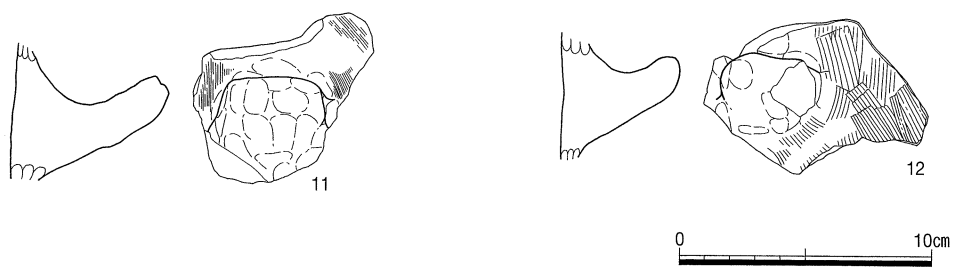
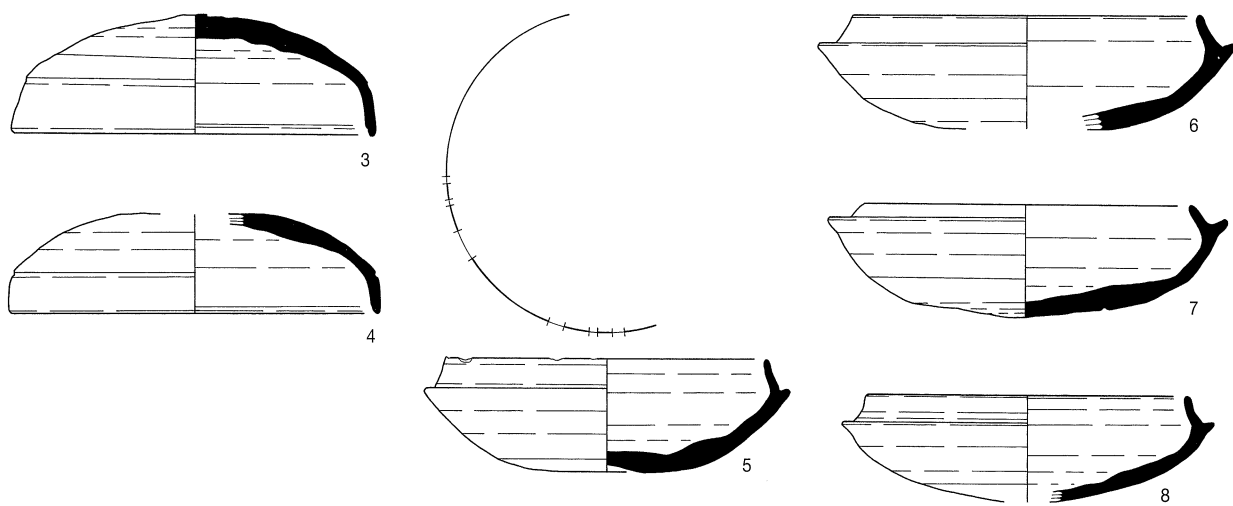


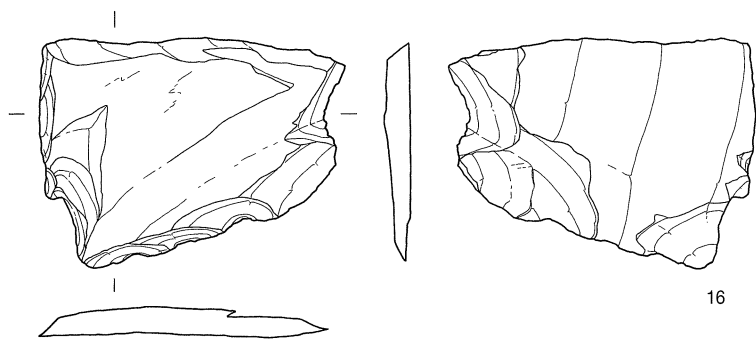
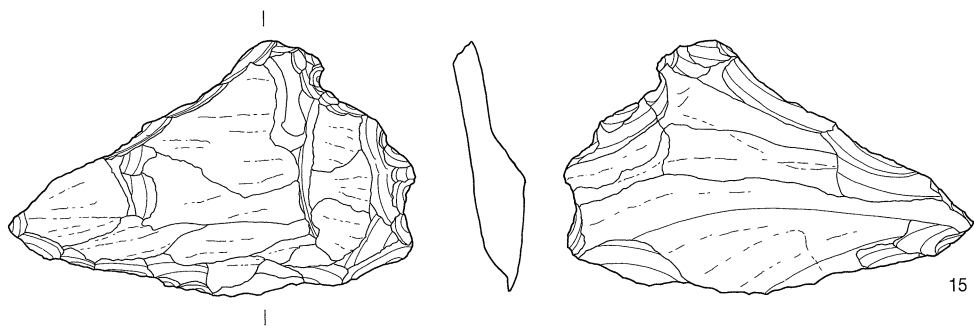
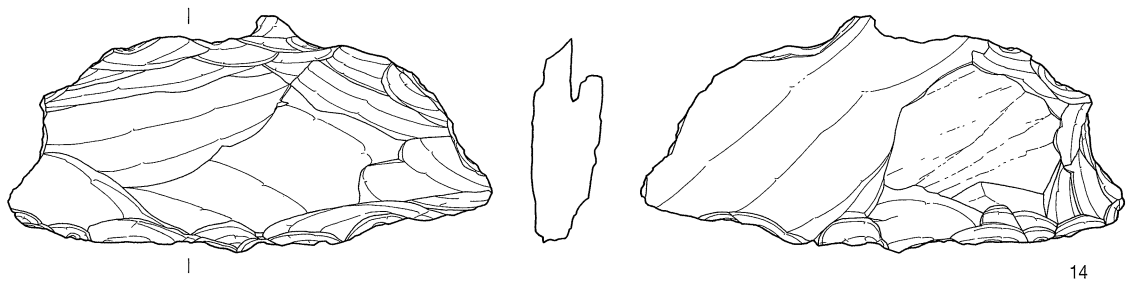
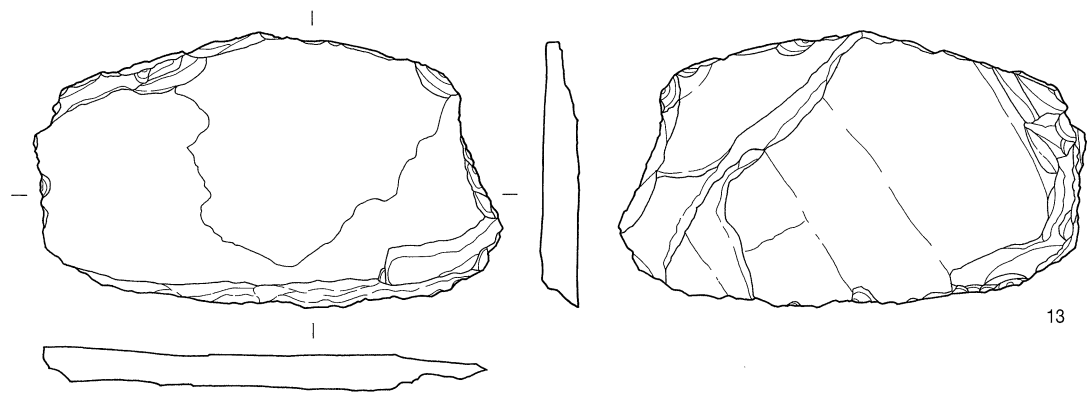
第414図 SB1001EK・EP 断面図



第415図 SB1001 遺物出土状況図

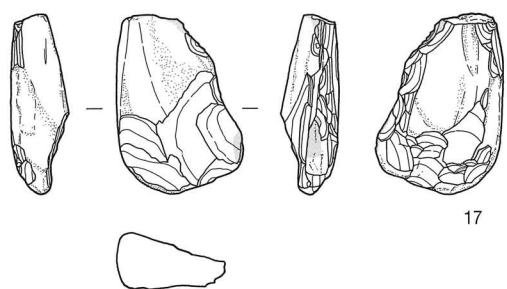


第416图 SB1001 出土遺物(1)

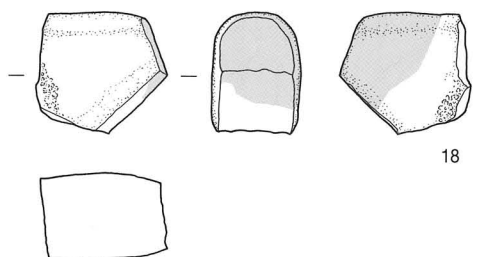


0 10cm

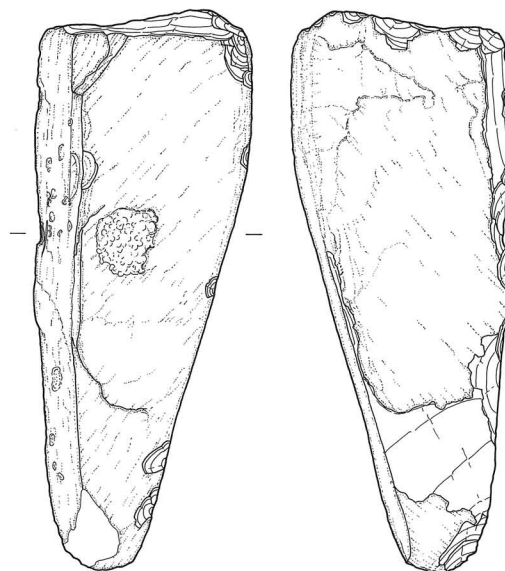
第417图 SB1001 出土遺物(2)



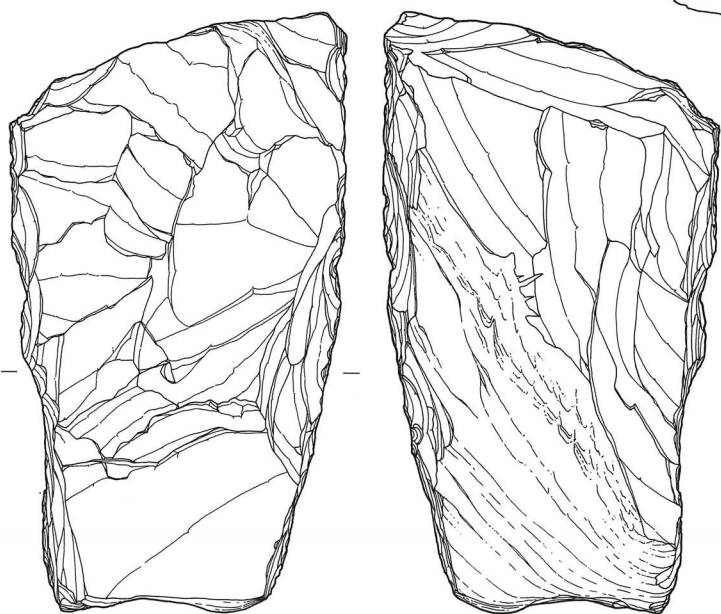
17



18



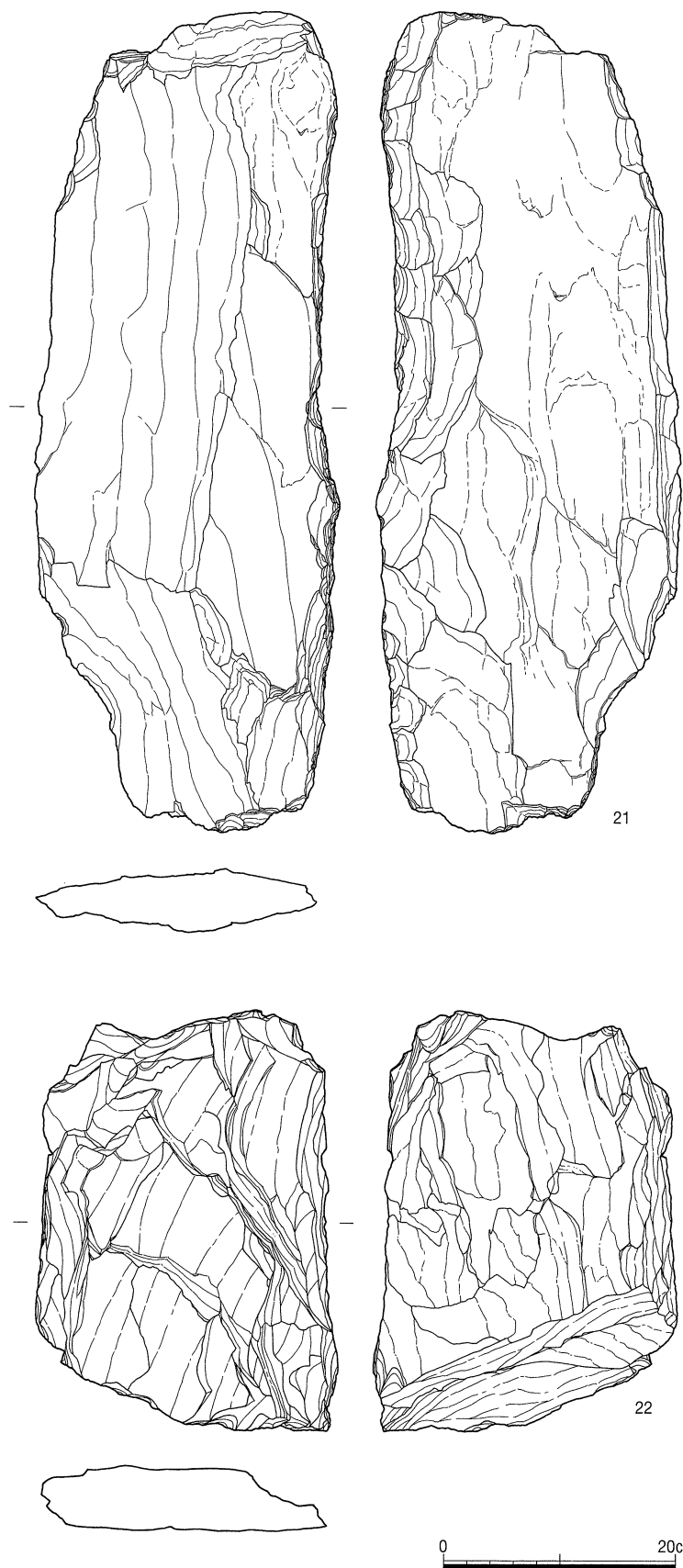
19



20



第418図 SB1001 出土遺物(3)



第419図 SB1001 出土遺物(4)

③ 竪穴住居

竪穴住居 (SB1001) (第413～419図)

検出場所 1区 δ-Ⅳ・Q-20およびR-19、20グリッド

形態・規模 平面形状は南西部の大半が調査区外に位置するため不明だが、調査区内の2辺は直線であるため、方形であったと考えられる。長軸7.35m(残存値)×短軸7.3m(残存値)である。深度は0.29mである。

土層 オリーブ褐色、黄褐色などのシルト8層に細分した。断面図CD、GHから、床面は北へ向かって緩やかに下っている。

土坑 EK1を検出した。N23°Wを軸とした楕円形で、長軸1.24m、短軸0.85m、深度0.17mである。黒褐色、オリーブ褐色の粘性砂質土を2層に細分した。1層の西側に焼土を含む。

柱穴 柱穴2基を検出した。暗灰黄色、オリーブ褐色などの粘性砂質土を5～6層に細分した。

遺物出土状況 遺物は竪穴住居の東壁に多く分布する。遺物の大半は住居床面の直上から出土している。

出土遺物 3、4は須恵器の杯蓋である。5～8は須恵器の杯身である。5の口縁部には複数の打ち欠きが見られる。9、10は土師器の甕である。11、12は土師器の甑の把手部分である。13～16は結晶片岩の剥片の縁辺を加工した石庖丁か。17、18は砂岩製の砥石で、被熱により変色している。19は結晶片岩の台石か。中央に敲打によるくぼみがある。20～22は石核か。

時期 古墳時代後期(TK43併行期)と考えられる。

④ 溝状遺構

溝状遺構 (SD1002) (第420～422図 付図25・26)

検出場所 1区・2区 δ-Ⅳ・Q～T-20、ε-Ⅳ・H～M-18、B～H-19、A～C-20、およびδ-Ⅴ・Q、R-1グリッド

規模・断面形態 N10°Wを軸にして、調査区内を縦断する直線状の溝である。残存する延長距離は81.20mである。最大幅1.20m、深さ0.37mを測る。断面形状は逆蒲鋒形、逆台形など多様である。

土層 11ヶ所のベルトを設定した。暗灰黄色、オリーブ褐色などのシルトを2～10層に細分した。断面形状は逆三角形、逆台形など多様である。底面の高さを見ると、南側(AB)が高く、北側(UV)が低いことから、南から北への流れと推測される。

遺物出土状況 A-20グリッドにおいて遺物が出土した。遺物は、遺構の底面と東側の傾斜に沿って出土している。

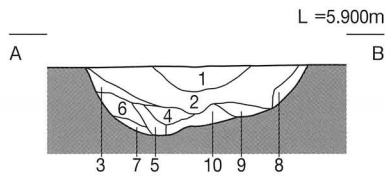
出土遺物 23は石鏃である。24はサヌカイト製のスクレイパーである。25は凹石である。凹部以外にも敲打痕が残るため、敲石の可能性はある。

時期 出土した遺物で図化できたのは石器のみであるが、土器の小破片やN10°Wに沿った直線状の溝であることから、古代以降の可能性が高いと考えられる。

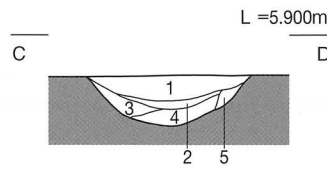
溝状遺構 (SD1003) (第423～425図 付図25・26)

検出場所 1区・2区 ε-Ⅳ・M～S-18、G～N-19、C～H-20グリッド

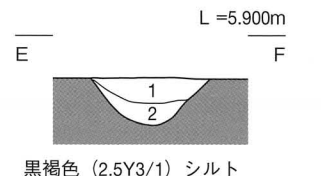
規模・断面形態 N10°Wを軸にして、調査区内を縦断する直線状の溝である。残存する延長距離は56.40mである。最大幅1.40m、深さ0.36mを測る。断面形状は半円形および皿形である。底面の高さを



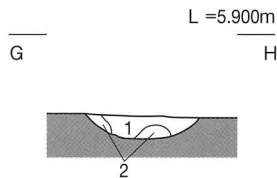
- 1 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 2 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 3 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 4 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 5 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 6 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
- 8 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 9 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 10 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



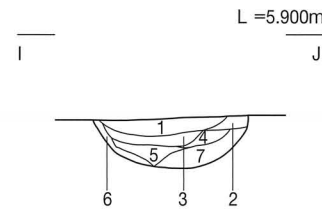
- 1 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 2 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 3 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト
- 4 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト



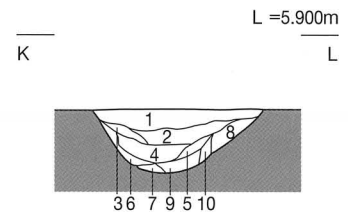
- 1 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト
- 2 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト



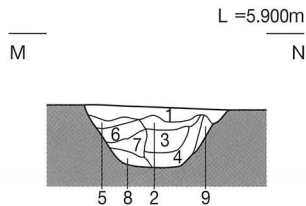
- 1 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
- 2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



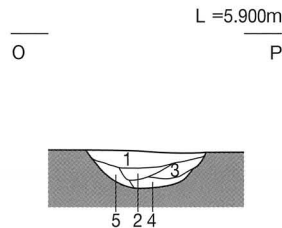
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
- 3 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト
- 4 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 5 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト
- 6 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト



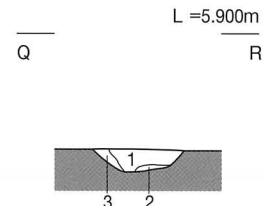
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 5 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 6 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 8 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 9 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 10 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト



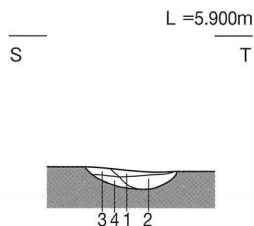
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 5 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 6 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 7 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 8 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 9 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



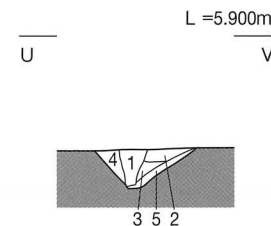
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト



- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト



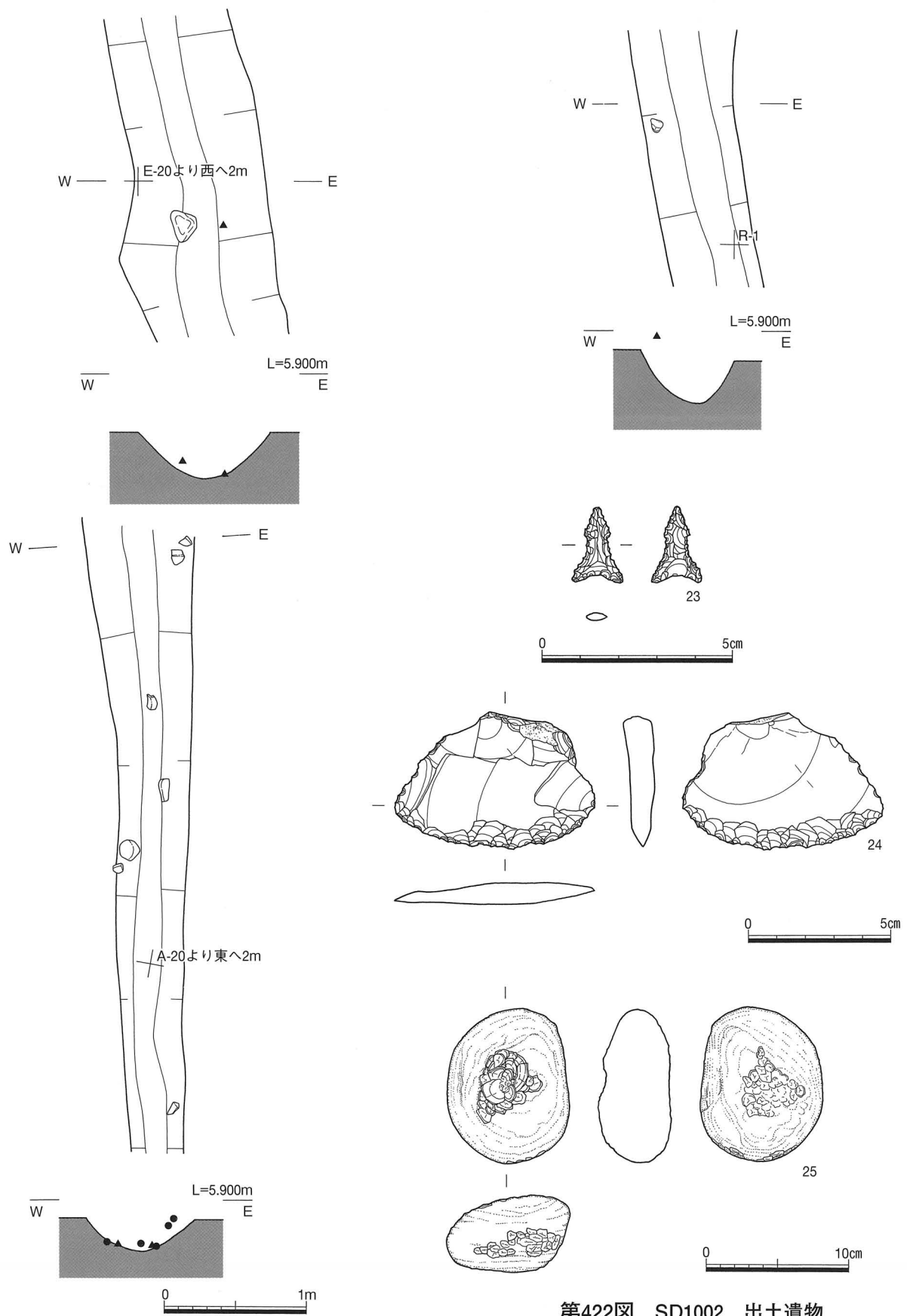
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト



- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト
- 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 5 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト

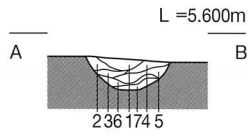


第420図 SD1002 断面図

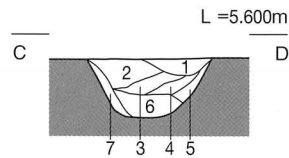


第421図 SD1002 遺物出土状況図

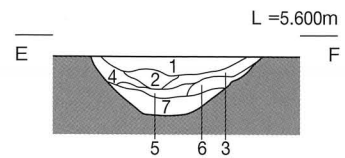
第422図 SD1002 出土遺物



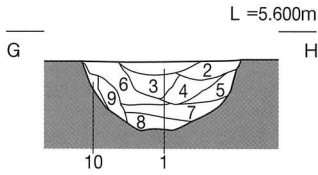
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 3 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 4 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 6 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



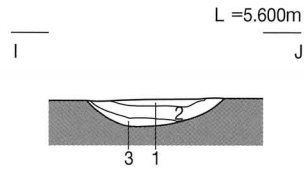
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 3 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 4 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 6 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



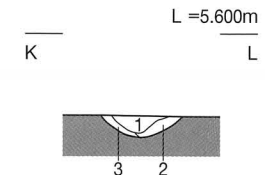
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 3 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 5 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 6 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



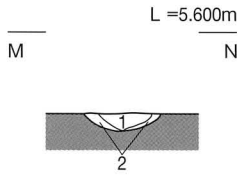
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 3 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 4 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 6 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 7 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
- 8 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 9 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
- 10 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト



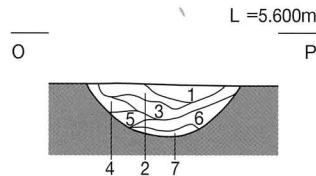
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 3 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト



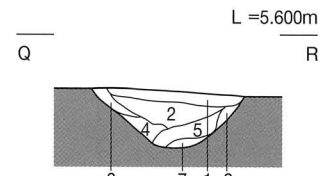
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト



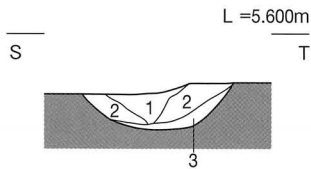
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト



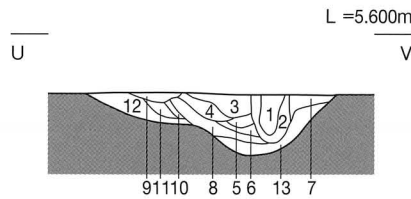
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト
- 3 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 6 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト



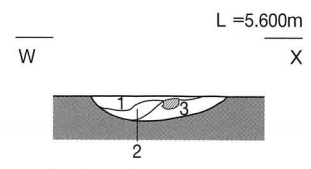
- 1 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 5 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 6 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



- 1 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト



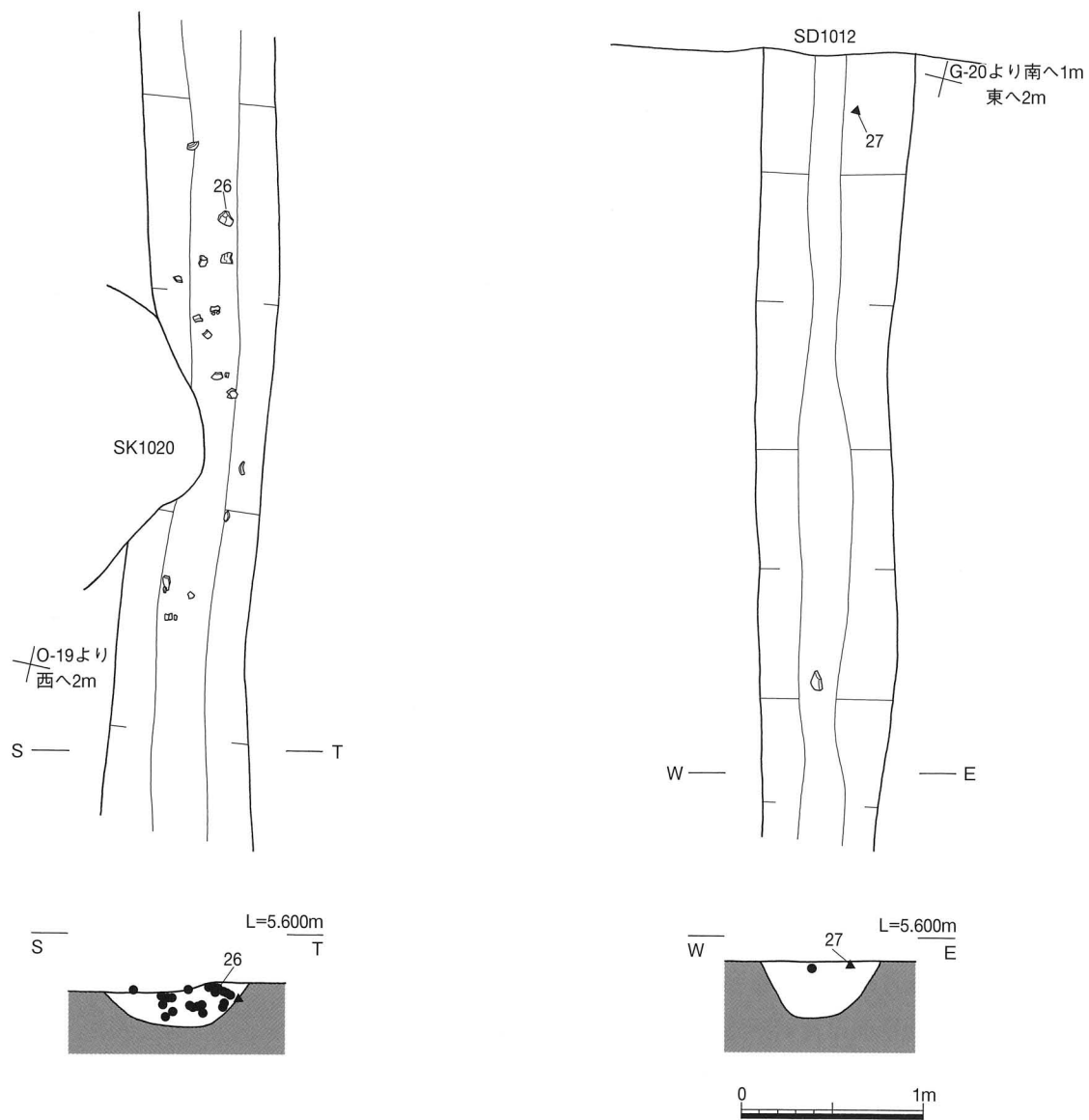
- 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 2 オリーブ黒色 (5Y3/1) シルト
- 3 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 4 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 6 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 8 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 9 黄灰色 (2.5Y6/1) 砂質土
- 10 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト
- 11 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト
- 12 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 13 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト



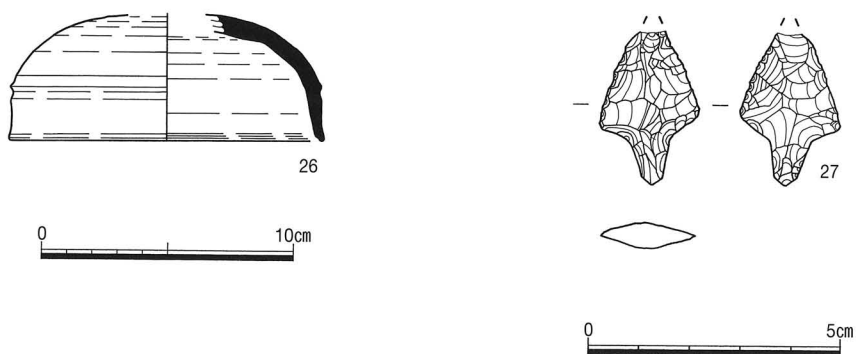
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト



第423図 SD1003 断面図



第424図 SD1003 遺物出土状況図



第425図 SD1003 出土遺物

見ると、南側（AB）が高く北側（WX）が低いことから、SD1002と同様に南から北への流れと推測される。

土層 12ヶ所のベルトを設定した。暗灰黄色、黄褐色などのシルトを2～13層に細分した。

遺物出土状況 O-19グリッド周辺で遺物がまとまって出土したが、大部分は土器の小破片である。

出土遺物 26は須恵器の杯蓋である。27は石鏃である。

時期 SD1002と並行に掘られた直線状の溝であり、やはり古代以降と推測される。

溝状遺構（SD1005）（第426・427図 付図25）

検出場所 1区 δ-IV・S、T-18グリッド

規模・断面形態 N24°Wを軸にする。調査区の南西側で僅かに検出された。残存する延長距離は4.25mである。最大幅1.15m、深さ0.14mを測る。断面形状は不整形の台形である。

土層 灰色、にぶい黄色などのシルトを4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 28は高杯の脚部である。

時期 弥生時代後期後半と考えられる。

溝状遺構（SD1008）（第428～430図 付図25）

検出場所 1区 ε-IV・E-18、19およびF-19グリッド

規模・断面形態 N73°Eを軸にするが、東端は北へ緩やかに弧を描く。残存する延長距離は11.5mである。最大幅0.6m、深さ0.22mを測る。断面形状は半円形である。底面の高さを見ると、南西側（AB）が北東側（EF）よりも低く、北東から南西への流れと推測される。

土層 暗灰黄、オリーブ褐色などのシルトを3～7層に細分した。

遺物出土状況 遺構検出面で結晶片岩の台石が出土した。

出土遺物 29は結晶片岩の台石である。

時期 不明である。

溝状遺構（SD1011）（第431・432図 付図25）

検出場所 1区 ε-IV・F-19、20グリッド

規模・断面形態 N54°Wを軸にするが、西側はSD1002と合流し、一部はSD1012に切られている。残存する延長距離は3.30mである。最大幅0.9m、深さ0.16mを測る。断面形状は半円形である。

土層 暗灰黄、オリーブ褐色などのシルトを4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

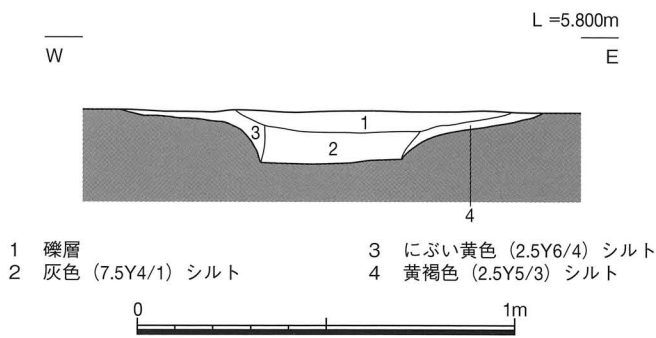
出土遺物 30は土師質土器の皿である。底部に焼成前の穿孔がある。

時期 中世と考えられる。

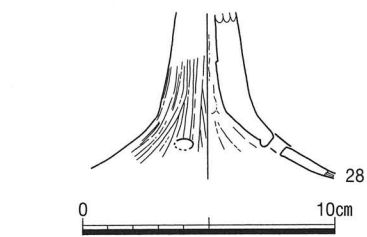
溝状遺構（SD1020）（第433～438図 付図26）

検出場所 2区・3区 ε-IV・O～Q-18、Q～S-19、R～T-20およびα-IV・A-20グリッド

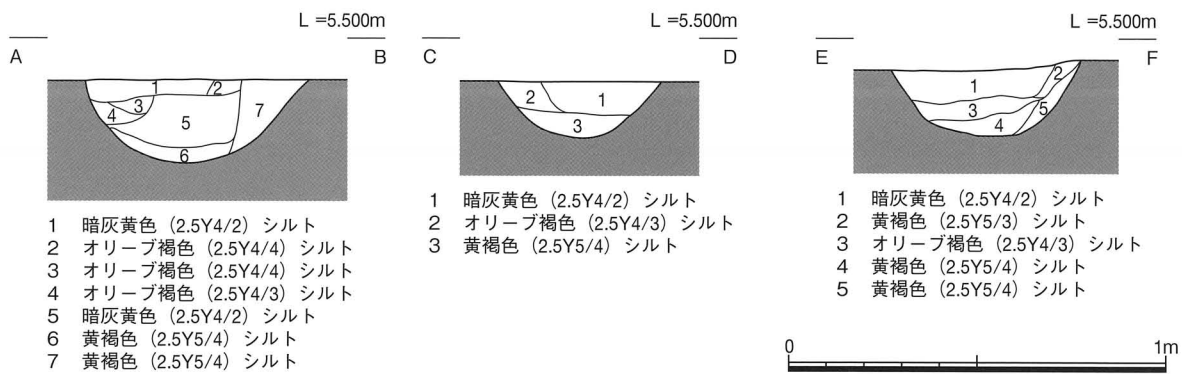
規模・断面形態 N32°Eを軸に、調査区内を横断する直線状の溝である。調査区の南西側で僅かに検



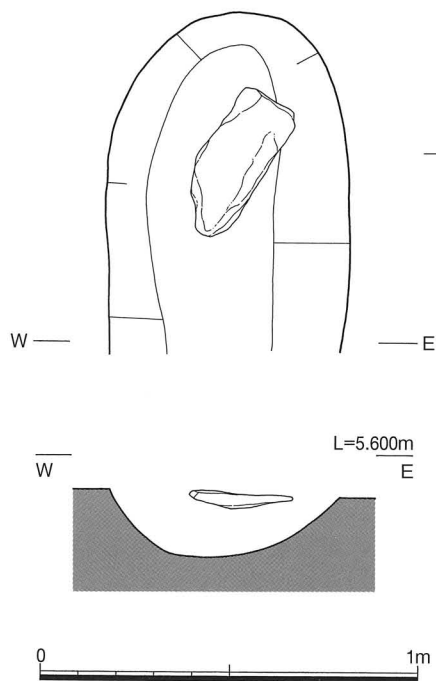
第426図 SD1005 断面図



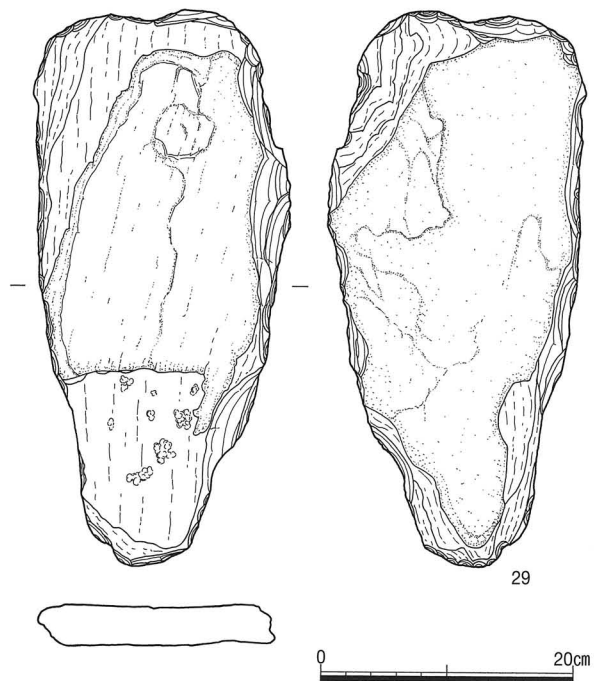
第427図 SD1005 出土遺物



第428図 SD1008 断面図

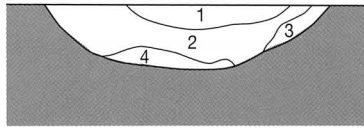


第429図 SD1008 遺物出土状況図



第430図 SD1008 出土遺物

SW L = 5.600m NE



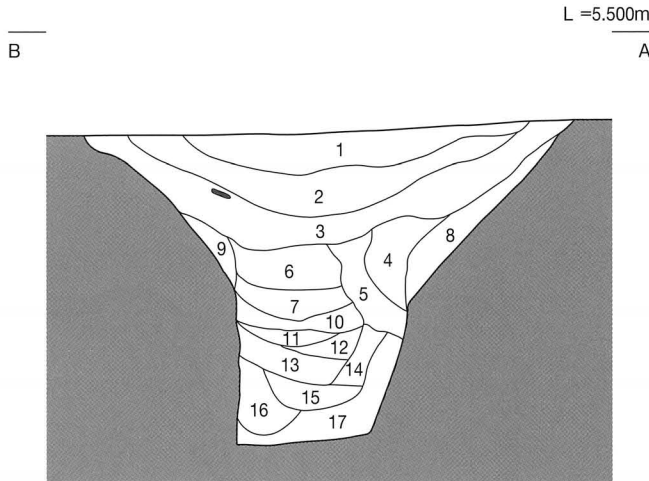
- 1 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト



第431図 SD1011 断面図



第432図 SD1011 出土遺物



- 1 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
- 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
- 5 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
- 6 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 7 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 8 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
- 9 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 10 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
- 11 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 12 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
- 13 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- 14 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
- 15 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
- 16 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
- 17 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト



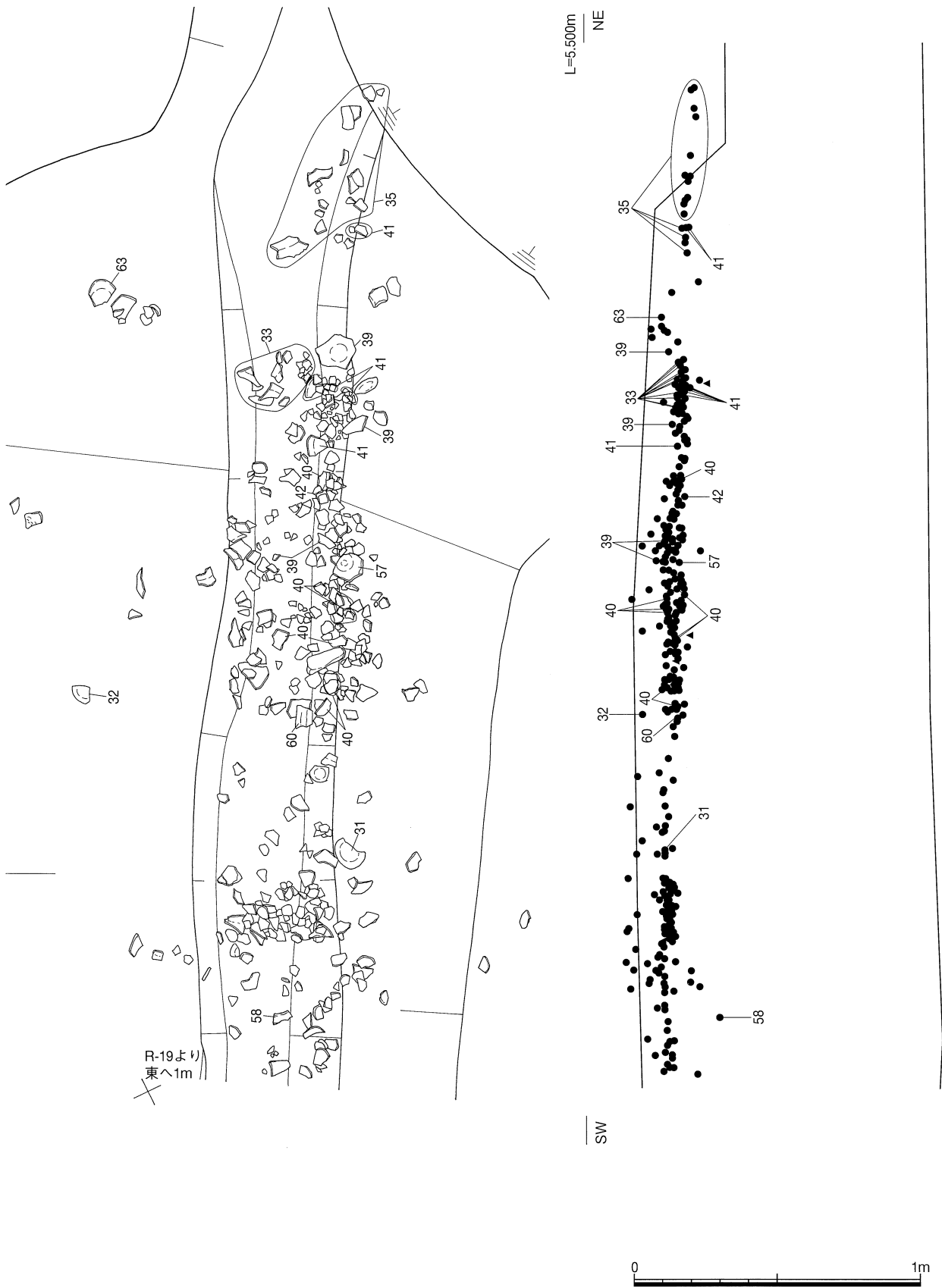
第433図 SD1020 断面図

出されたため、形状は不明。残存する延長距離は29.00mである。最大幅3.10m、深さ0.81mを測る。断面形状は上半は逆二等辺三角形であるが、底部は長方形である。

土層 黒褐色、黄褐色などのシルトを17層に細分した。

遺物出土状況 遺構の南西部であるP～R-18、19グリッドにおいて、遺物が集中して出土した。すべての遺物はSDの上層で出土しているため、SDが埋没する最終段階で遺物が混入したものと考えられる。

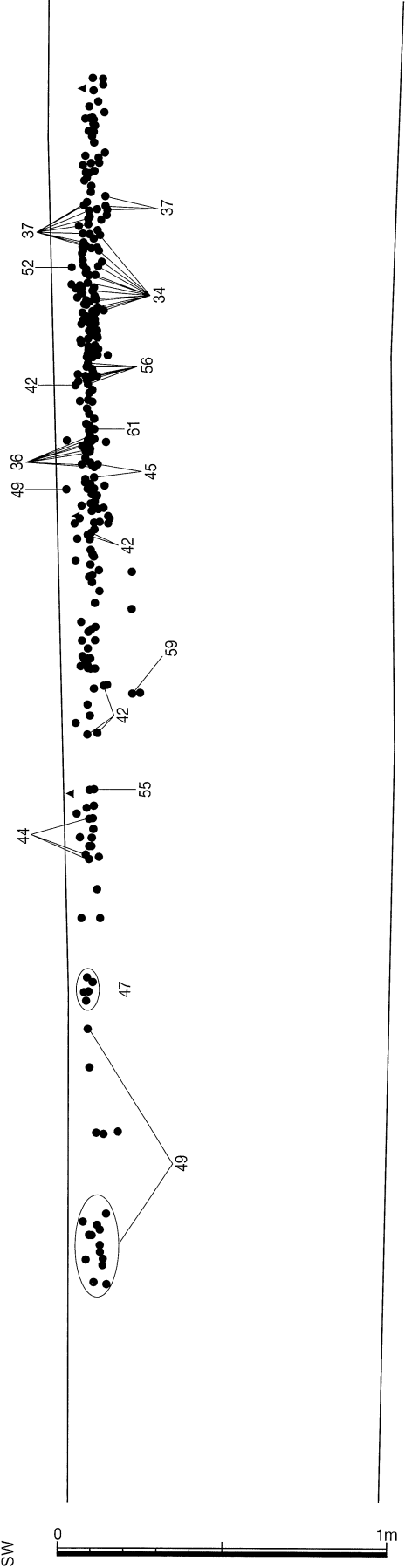
出土遺物 31、32は土師器の椀である。33～37は土師器の甕である。38は土師器の甑の把手である。39、40は須恵器の杯蓋である。41～48は須恵器の杯身である。41は底部外面に刻書がある。49は須恵



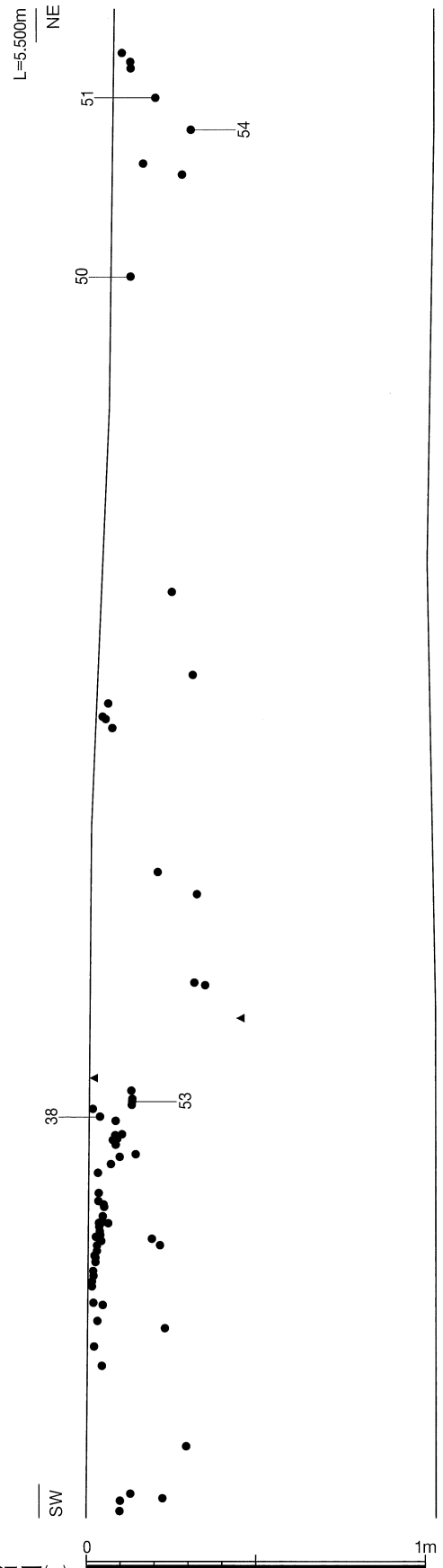
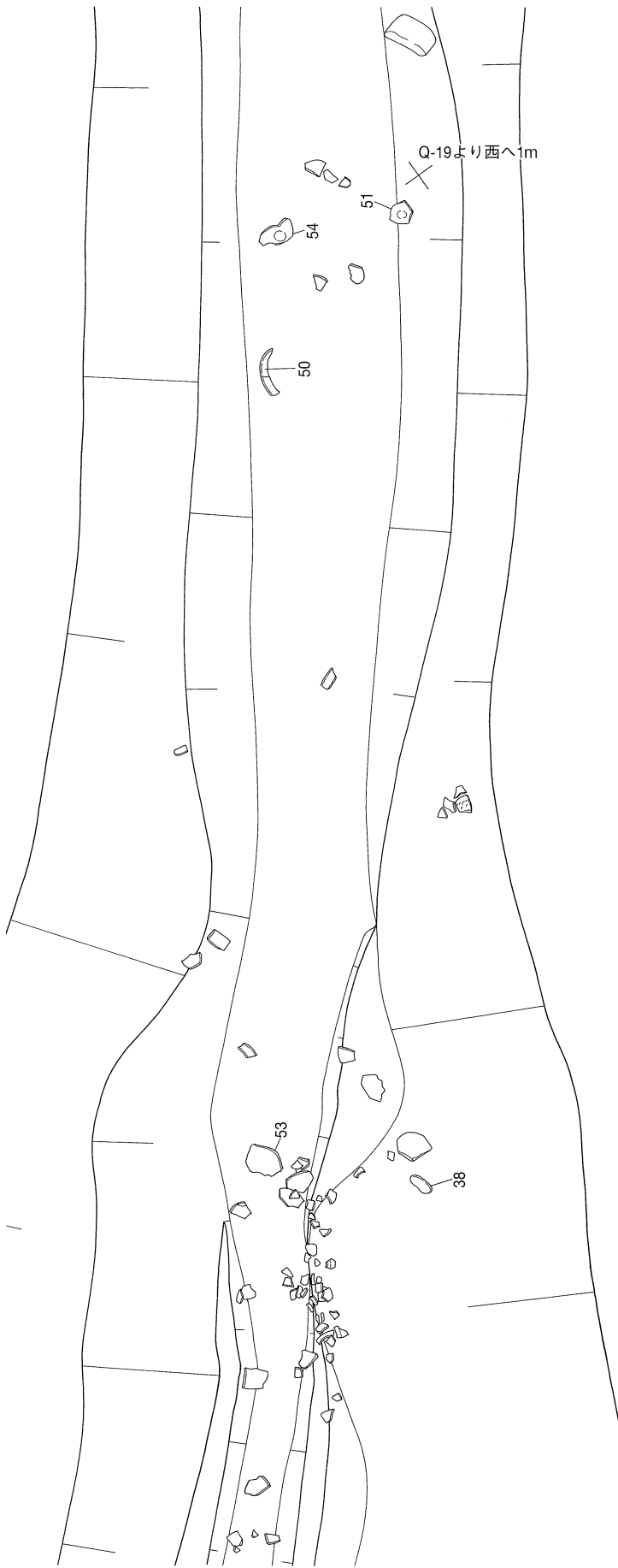
第434図 SD1020 遺物出土状況図(1)



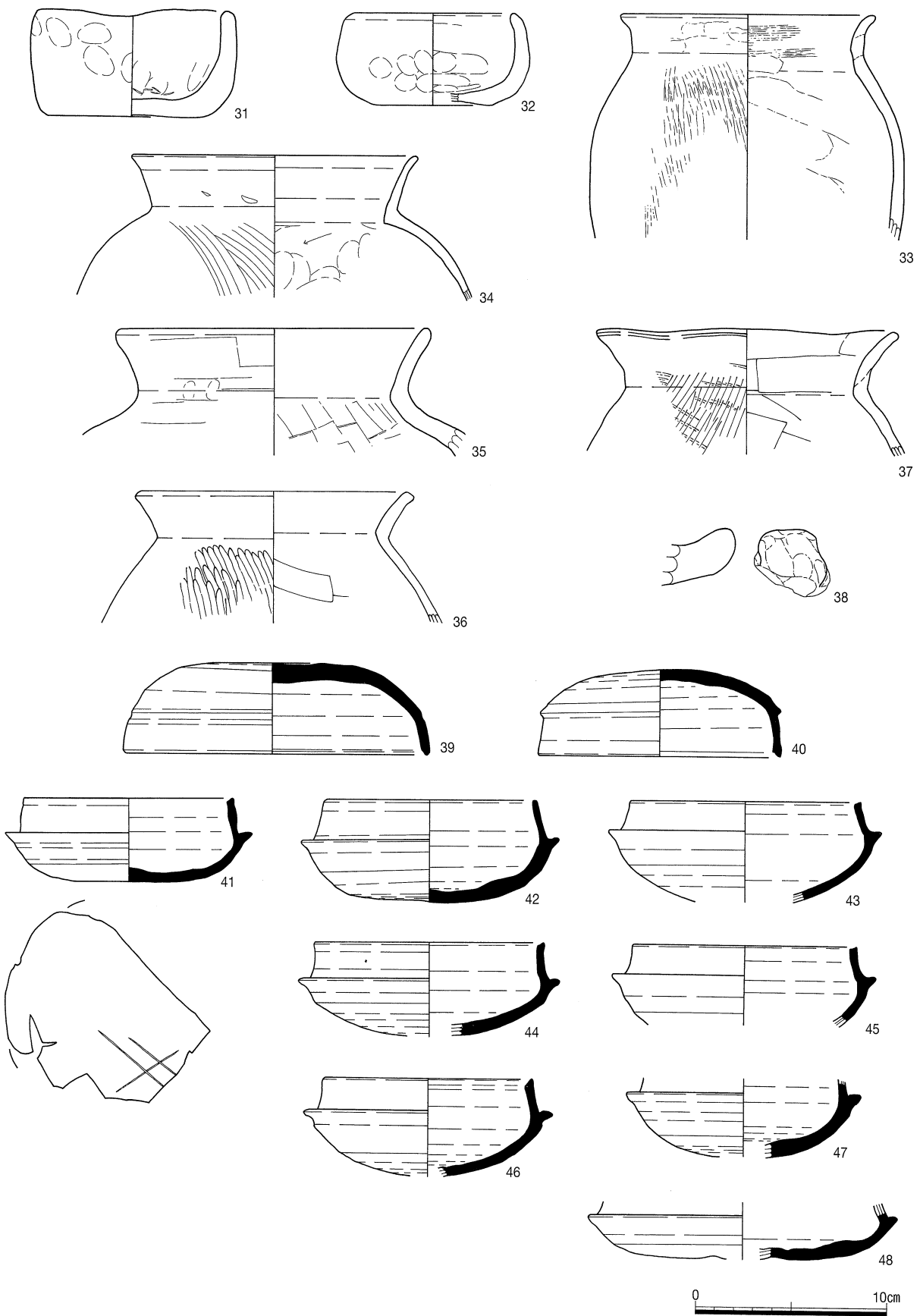
L=5.500m
NE



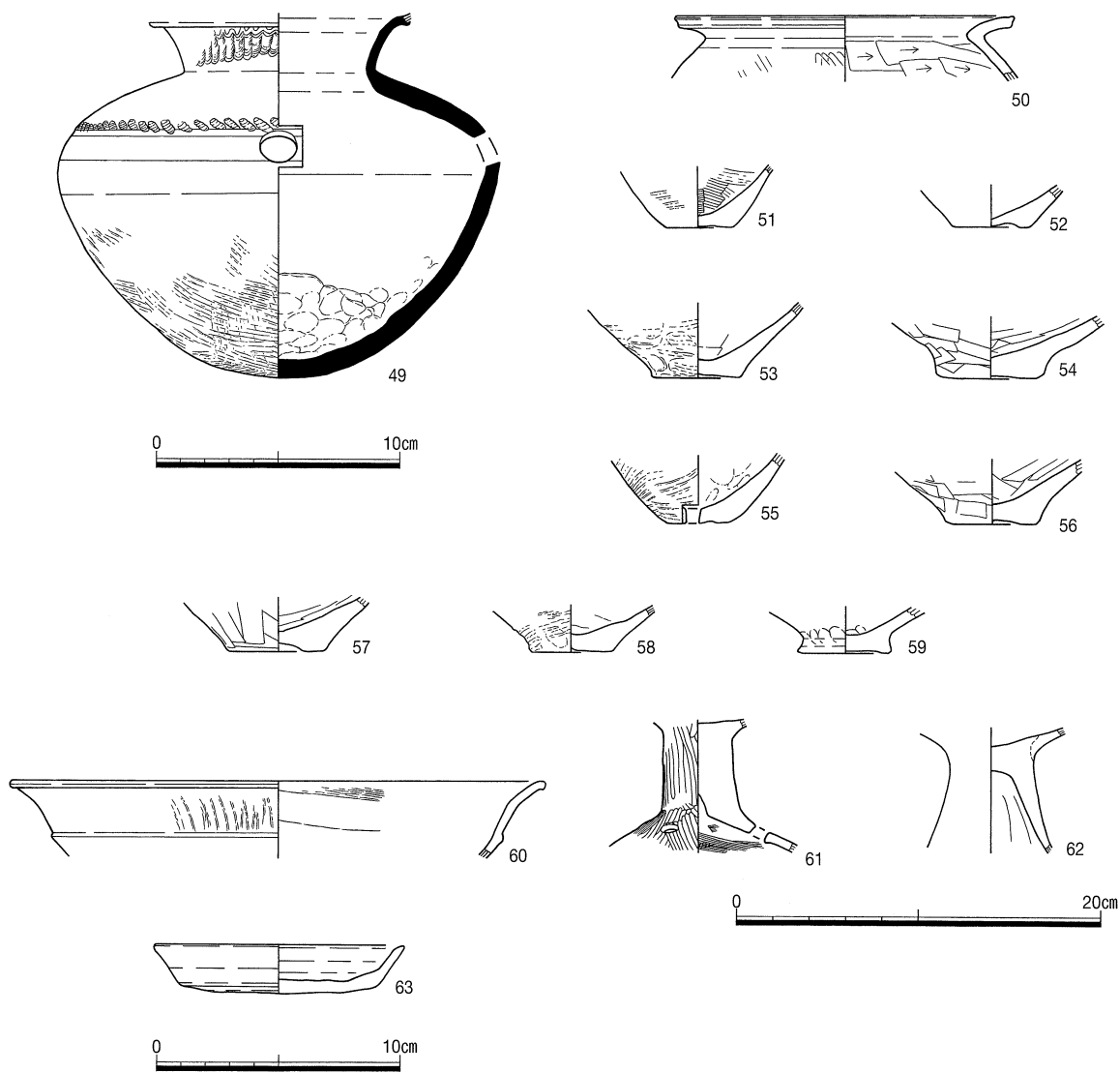
第435図 SD1020 遺物出土状況図(2)



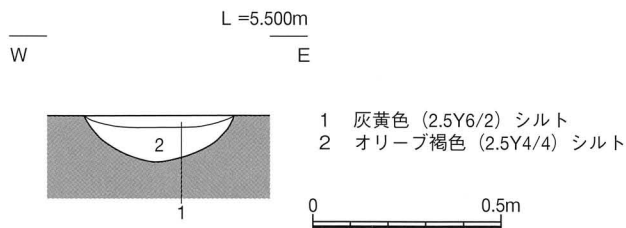
第436図 SD1020 遺物出土状況図(3)



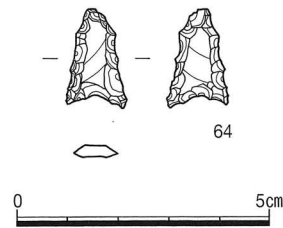
第437图 SD1020 出土遺物(1)



第438図 SD1020 出土遺物(2)



第439図 SD1022 断面図



第440図 SD1022 出土遺物

器の甕である。須恵器の杯身は概ね口径が11～12cm、器高が4～5cmで、口径に比べて器高が高い。杯蓋の外面に明瞭な突線状の稜が巡ることから、TK23～TK47型式に併行すると考えられる。50～52は弥生土器の甕である。53～59は弥生土器の鉢である。60～62は弥生土器の高杯である。63は土師器の杯である。

時期 弥生時代後期から古墳時代後期初頭（TK47併行期）であるが、一部に9世紀代の遺物を含む。遺物出土状況図（第434～436図）を見ると、古墳時代後期の遺物はQ・R-19グリッドに分布し、弥生時代後期の遺物は西側のQ-18・19グリッドに分布することがわかる。

溝状遺構（SD1022）（第439・440図 付図26）

検出場所 2区 ε-IV・R、S-18グリッド

規模・断面形態 N11°Eを軸に、SD1003から分岐した直線状の溝である。残存する延長距離は5.95mである。最大幅0.45m、深さ0.12mを測る。断面形状は半円形である。

土層 灰黄色、オリブ褐色のシルトを2層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 64は石鎌である。

時期 弥生時代の可能性が高い。

溝状遺構（SD1024）（第441～443図 付図26）

検出場所 2区・3区 a-IV・A-18～20グリッド

規模・断面形態 N80°Eを軸に、調査区を横断する直線状の溝である。残存する延長距離は10.40mである。最大幅1.00m、深さ0.21mを測る。断面形状は半楕円形である。

土層 オリブ褐色、暗灰黄色などのシルトを4層に細分した。

遺物出土状況 遺物は溝の底面と遺構検出面において出土した。

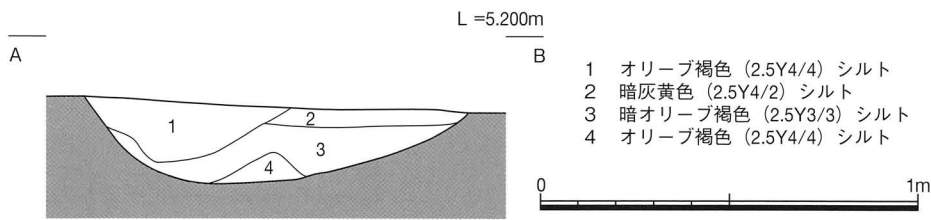
出土遺物 65は土師器の甗の把手である。

時期 古墳時代から古代の可能性が高い。

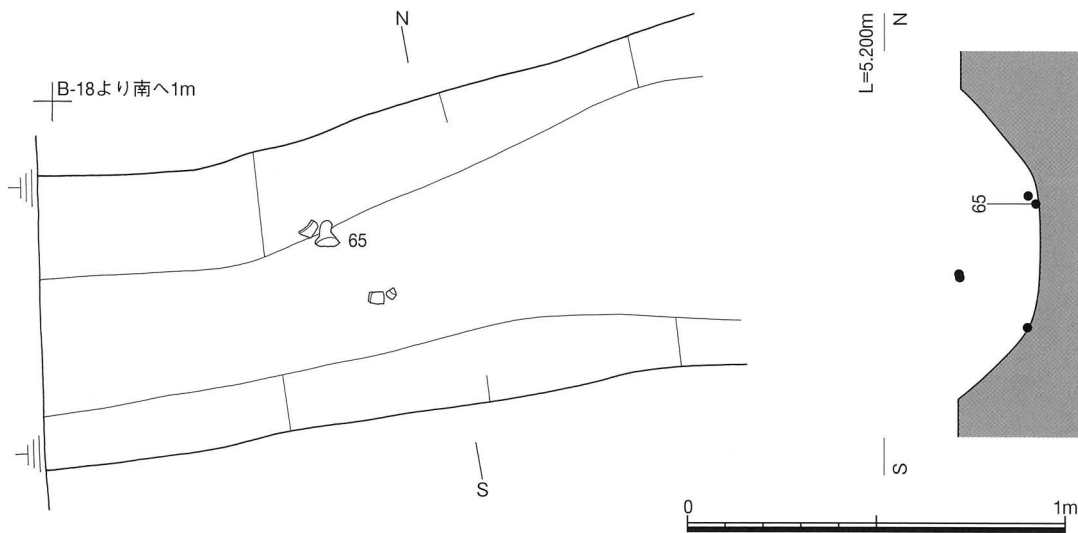
⑤柵列

柵列（SG1001）（第444図）

検出場所 2区 ε-IV・K、L-19グリッド



第441図 SD1024 断面図



第442図 SD1024 遺物出土状況図

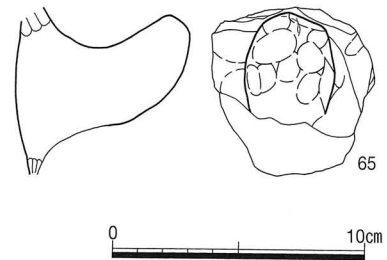
形態・規模 N58° W を軸に4.90mに渡って6基の柱穴で構成される。

土層 各柱穴の堆積は暗灰黄色、オリーブ褐色などのシルトで、粘質土を含む。2～4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図化できる遺物は出土していない。

時期 不明である。



第443図 SD1024 出土遺物

柵列 (SG1002) (第445・446図)

検出場所 2区 ε-IV・K-19、L-18、19グリッド

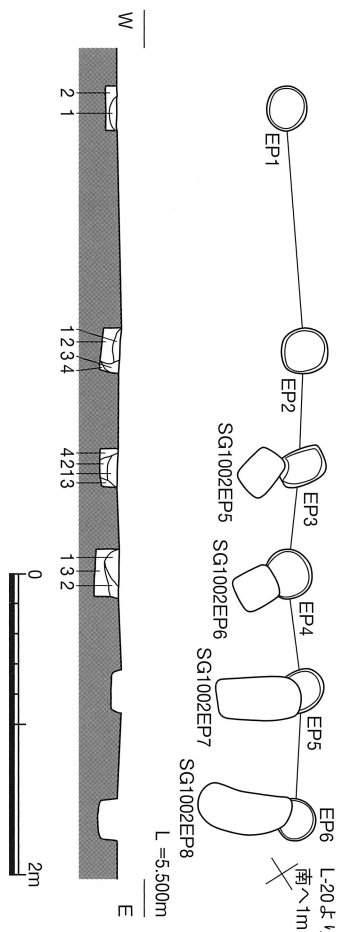
形態・規模 N57° W を軸に7.15mに渡って8基の柱穴で構成される。

土層 各柱穴の堆積は暗灰黄色、黄褐色などのシルトで、粘質土を含む。3～4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 66は鉄製品の釘である。

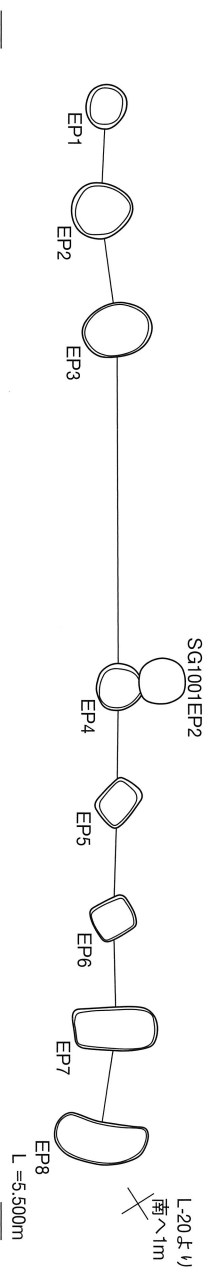
時期 不明である。



- EP1 L-20より 南へ1m
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
- EP2
- 1 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
 - 3 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト 粘質土を含む
 - 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

- EP3
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
 - 4 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
- EP4
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

第444図 SG1001 平・断面図



- EP1
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 2 にぶい黄色 (2.5Y6/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
 - 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

- EP3
- 1 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
 - 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

- EP6
- 1 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト 粘質土を含む
 - 2 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

- EP2
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
 - 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

- EP4
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

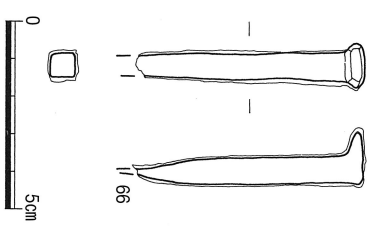
- EP7
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

- EP5
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

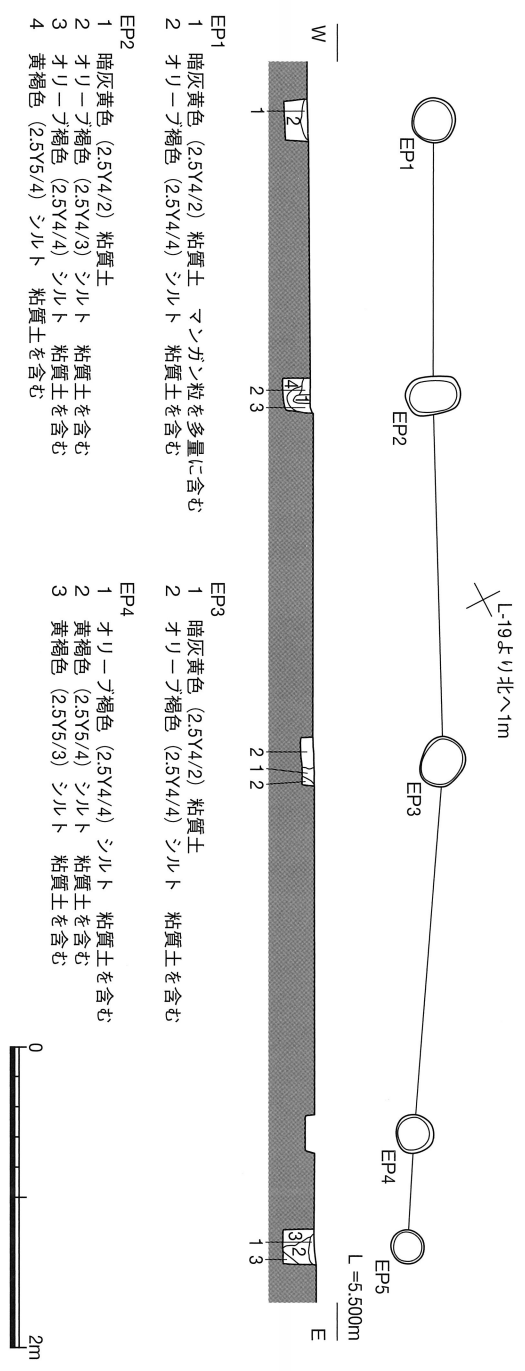
- EP8
- 1 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト 粘質土を含む
 - 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
 - 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む



第445図 SG1002 平・断面図



第446図 SG1002EP1 出土遺物

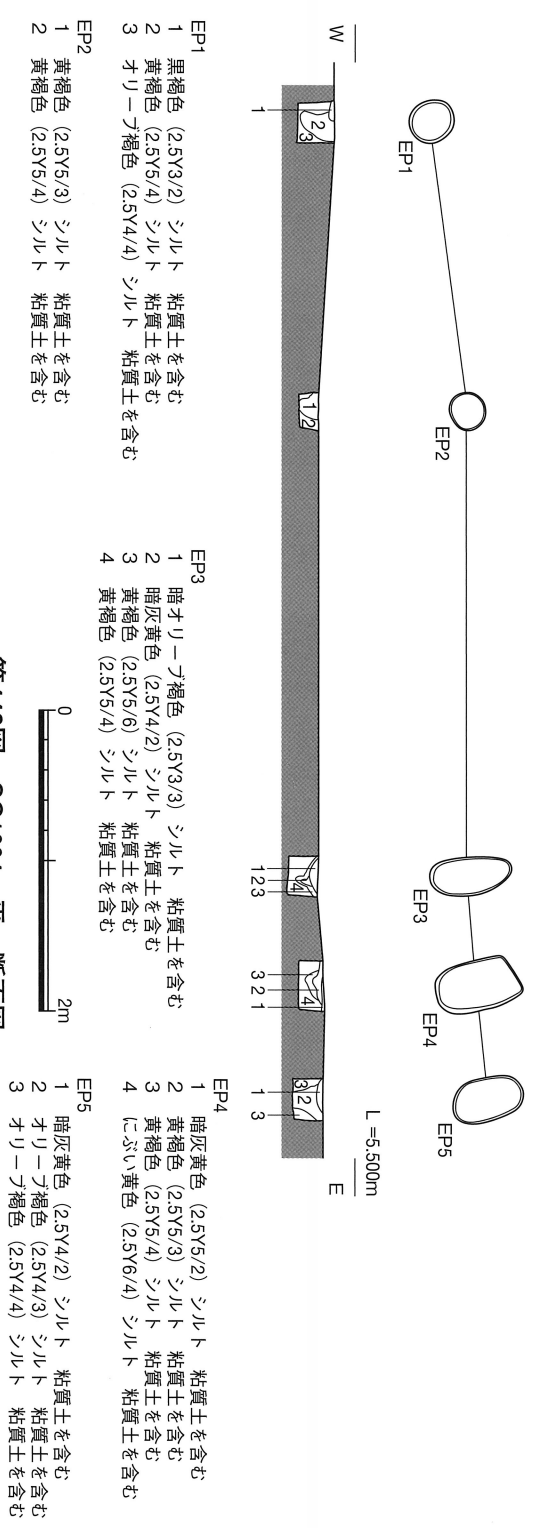


- EP1
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 2 オリーゾ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- EP2
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 2 オリーゾ褐色 (2.5Y4/3) シルト
 - 3 オリーゾ褐色 (2.5Y4/4) シルト
 - 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト

- EP3
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
 - 2 オリーゾ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- EP4
- 1 オリーゾ褐色 (2.5Y4/4) シルト
 - 2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト

第447図 SG1003 平・断面図

L-20より南へ1m

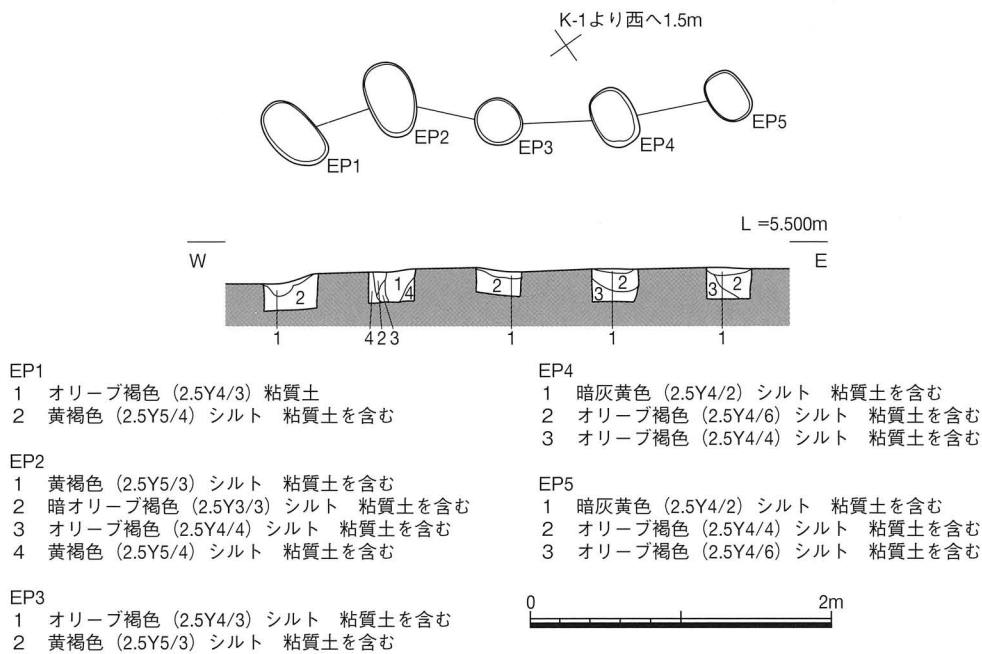


- EP1
- 1 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
 - 2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
 - 3 オリーゾ褐色 (2.5Y4/4) シルト
- EP2
- 1 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
 - 2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト

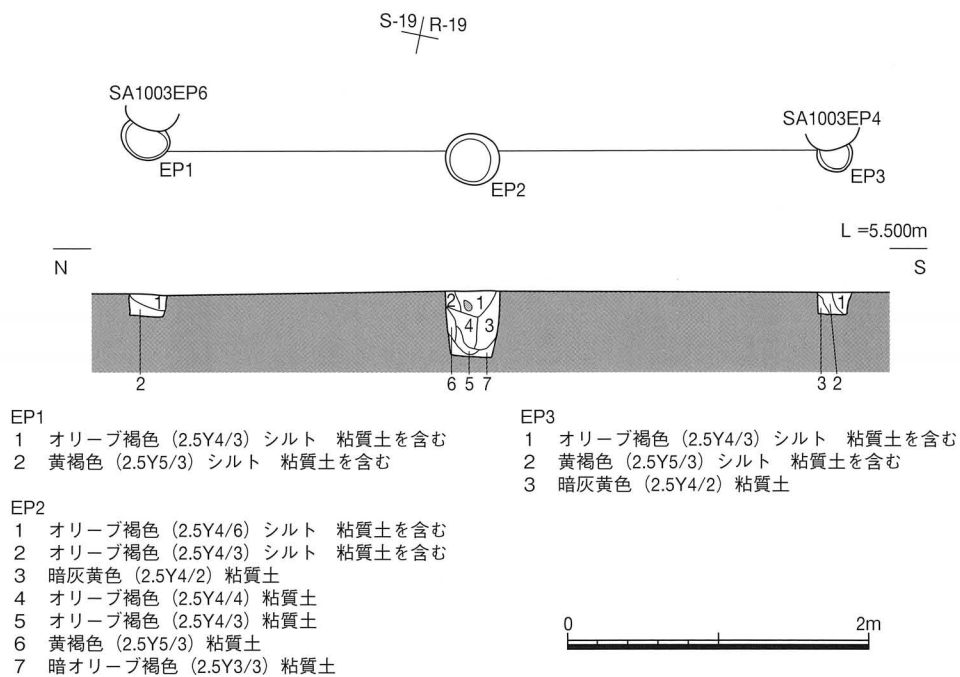
- EP3
- 1 暗オリーゾ褐色 (2.5Y3/3) シルト
 - 2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
 - 4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト

- EP4
- 1 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
 - 2 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
 - 3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
 - 4 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト
- EP5
- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
 - 2 オリーゾ褐色 (2.5Y4/3) シルト
 - 3 オリーゾ褐色 (2.5Y4/4) シルト

第448図 SG1004 平・断面図



第449図 SG1005 平・断面図



第450図 SG1006 平・断面図

柵列 (SG1003) (第447図)

検出場所 2区 ε-IV・K-19、L-18、19グリッド

形態・規模 N61°Wを軸に7.70mに渡って5基の柱穴で構成される。

土層 各柱穴の堆積は暗灰黄色、オリーブ褐色などの粘質土または粘質土を含むシルトで、2～4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図化できる遺物は出土していない。

時期 不明である。

柵列 (SG1004) (第448図)

検出場所 2区 ε-IV・K-19、20グリッド

形態・規模 N57°Wを軸に6.75mに渡って5基の柱穴で構成される。

土層 各柱穴の堆積は黒褐色、黄褐色などのシルトで、粘質土を含む。2～4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図化できる遺物は出土していない。

時期 不明である。

柵列 (SG1005) (第449図)

検出場所 2区 ε-IV・J、K-20グリッド

形態・規模 N58°Wを軸に3.20mに渡って5基の柱穴で構成される。

土層 各柱穴の堆積はオリーブ褐色、黄褐色などの粘質土または粘質土を含むシルトで、2～4層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図化できる遺物は出土していない。

時期 不明である。

柵列 (SG1006) (第450図)

検出場所 2区 ε-IV・R、S-18グリッド

形態・規模 N12°Wを軸に4.85mに渡って3基の柱穴で構成される。SA1001の西壁にそって構築される。

土層 各柱穴の堆積はオリーブ褐色、黄褐色などの粘質土または粘質土を含むシルトで、2～7層に細分される。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図化できる遺物は出土していない。

時期 不明である。

⑥土坑

土坑 (SK1006) (第451図)

検出場所 1区 ε-IV・D、E-19グリッド

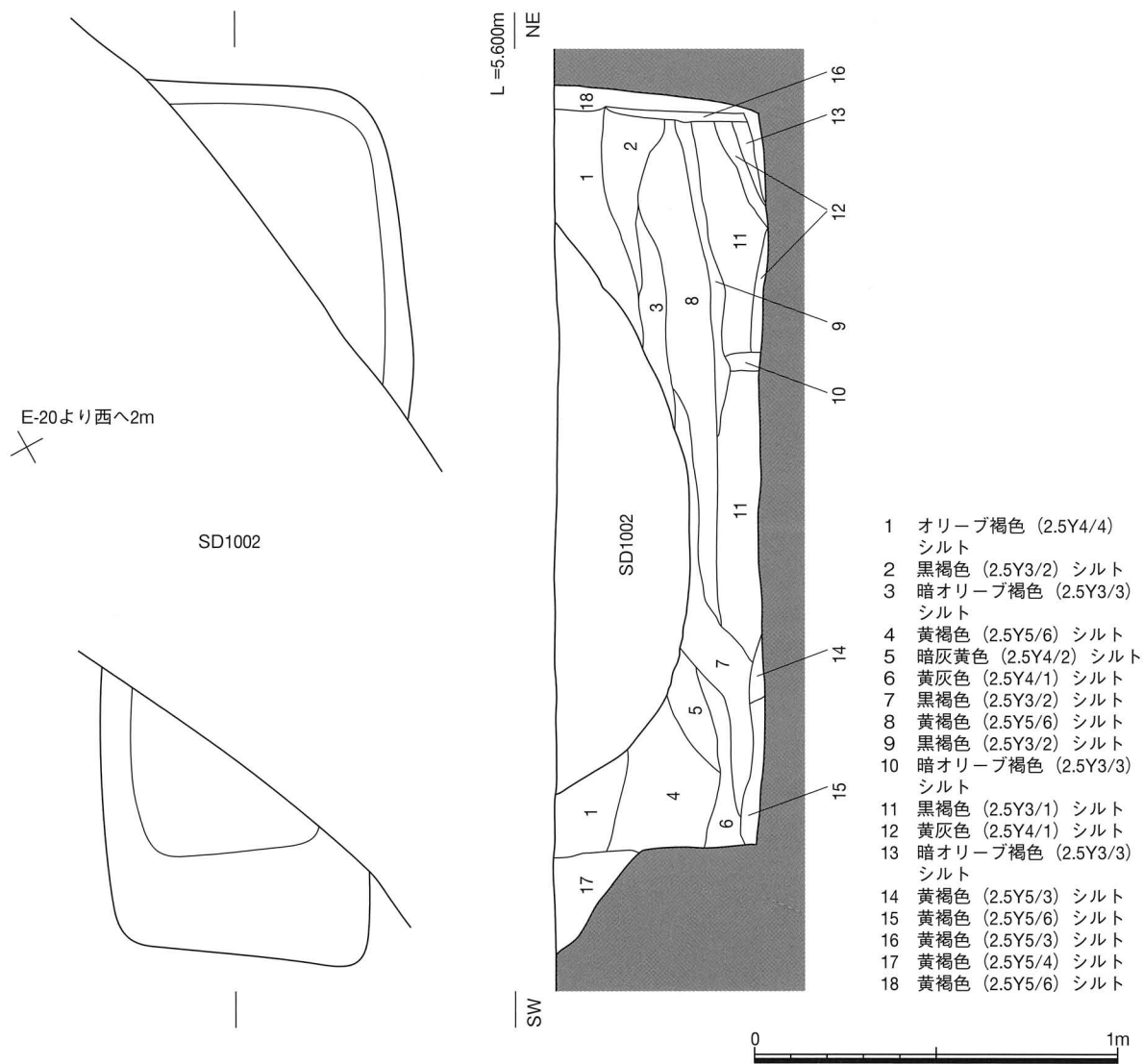
形態・規模 平面形状は、N29°Eに長軸をもつ隅丸長方形で、中央をSD1002に切られている。長軸2.40m×短軸0.70m、深度は0.59mである。

土層 黒褐色、黄褐色などのシルトを18層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図化できる遺物は出土していない。

時期 本遺跡の他の類例からみて、古墳時代後期から古代の可能性が高い。



第451図 SK1006 平・断面図

土坑 (SK1013) (第452・453図)

検出場所 2区 ε-IV・I-18、19グリッド

形態・規模 平面形状は、N83° Eに長軸をもつ不整楕円形である。長軸3.20m×短軸1.41m、深度は0.12mである。

土層 暗灰黄色、黒褐色、にぶい黄色の粘性砂質土を3層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

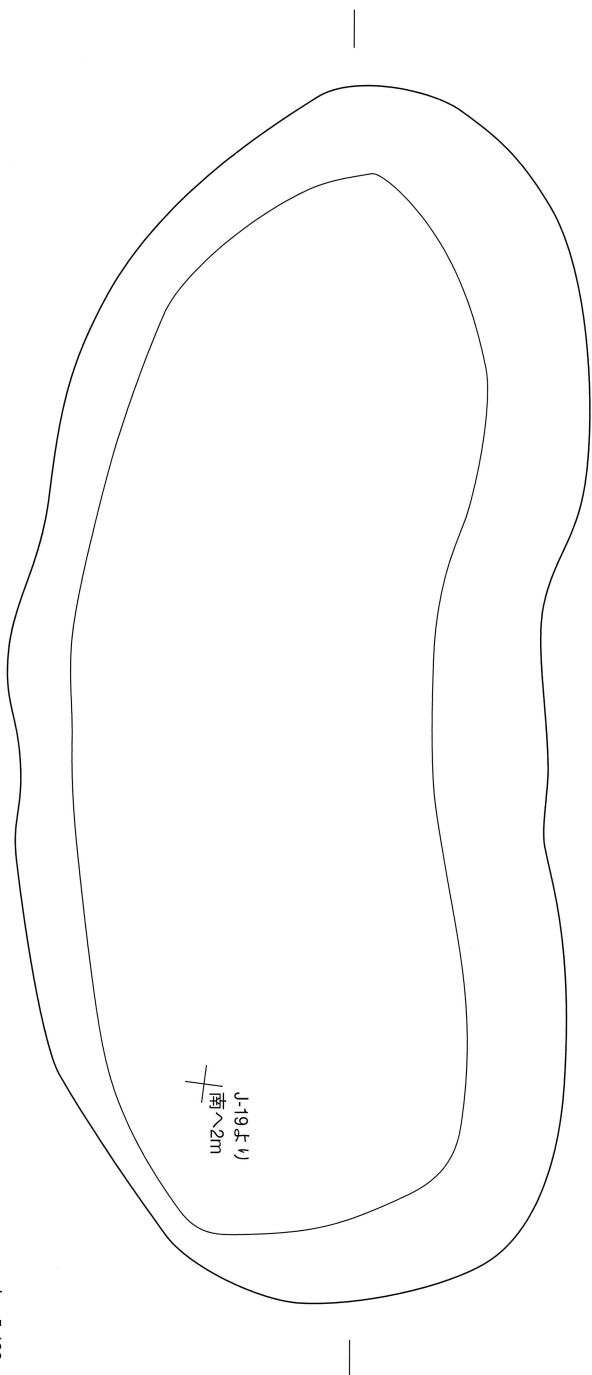
出土遺物 67は須恵器の杯身である。

時期 古墳時代後期と考えられる。

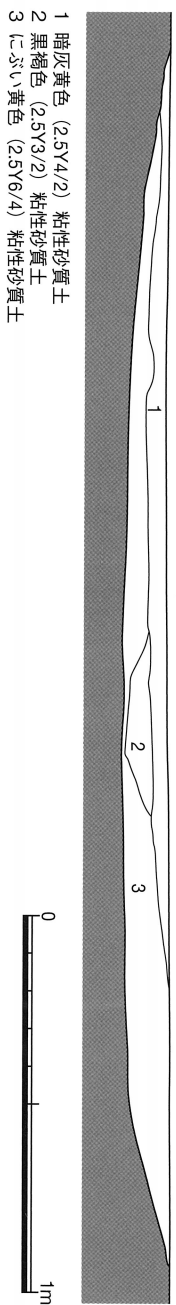
土坑 (SK1020) (第454・455図)

検出場所 2区 ε-IV・O-18グリッド

形態・規模 平面形状は、N69° Wに長軸をもつ不整楕円形で、底面の北半に東西方向を長軸とした長

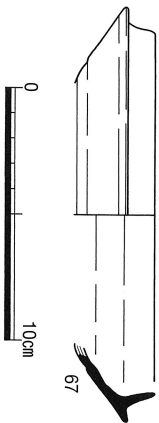


W

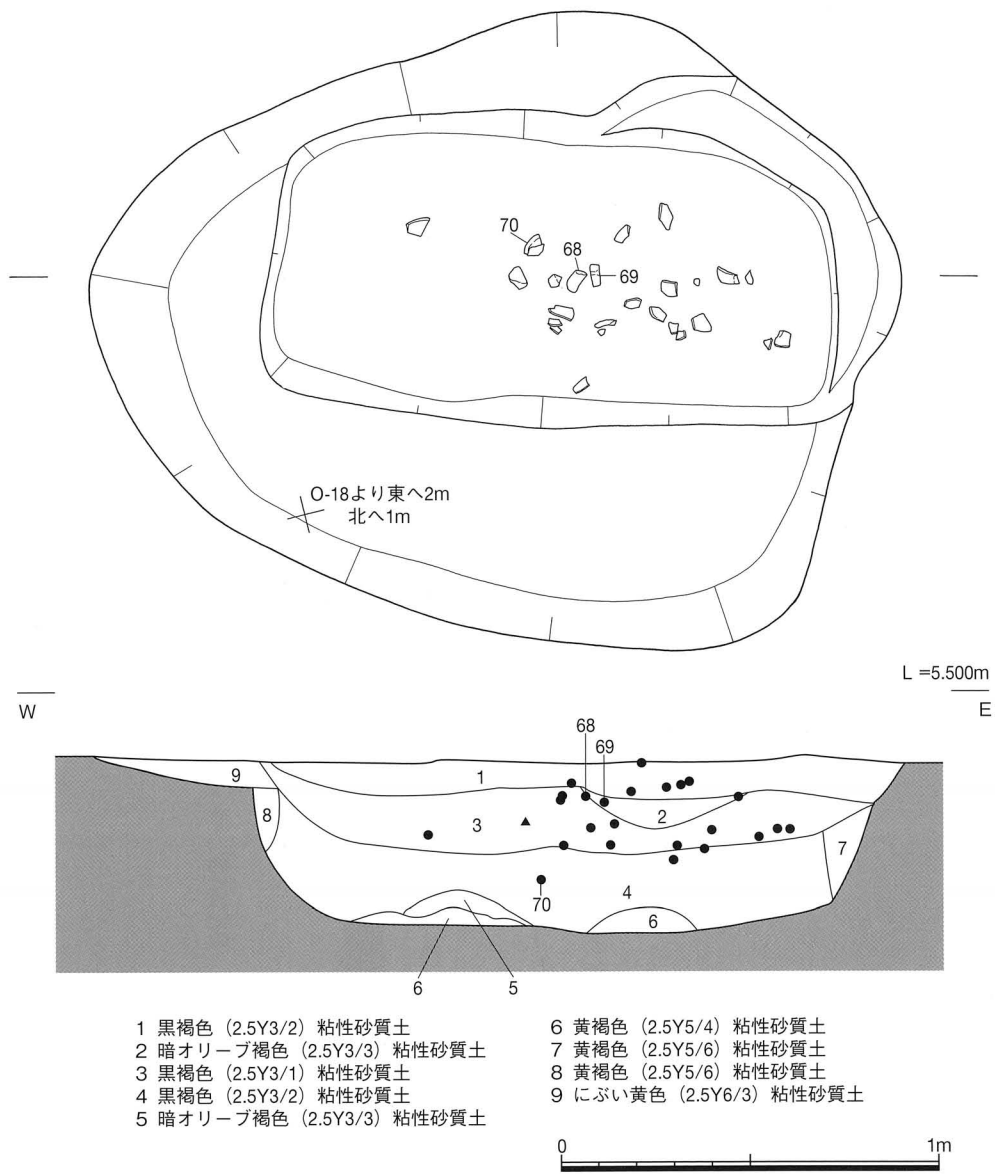


- 1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘性砂質土
- 2 黒褐色 (2.5Y3/2) 粘性砂質土
- 3 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘性砂質土

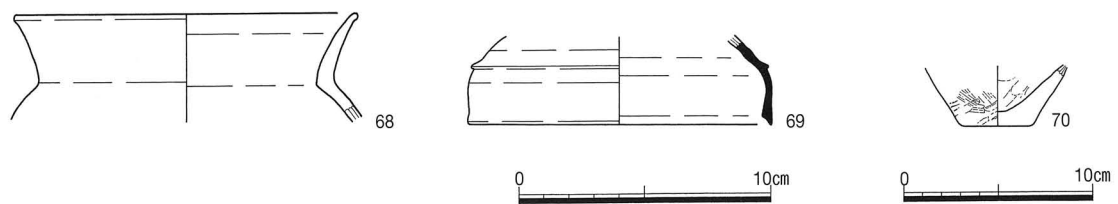
第452図 SK1013 平・断面図



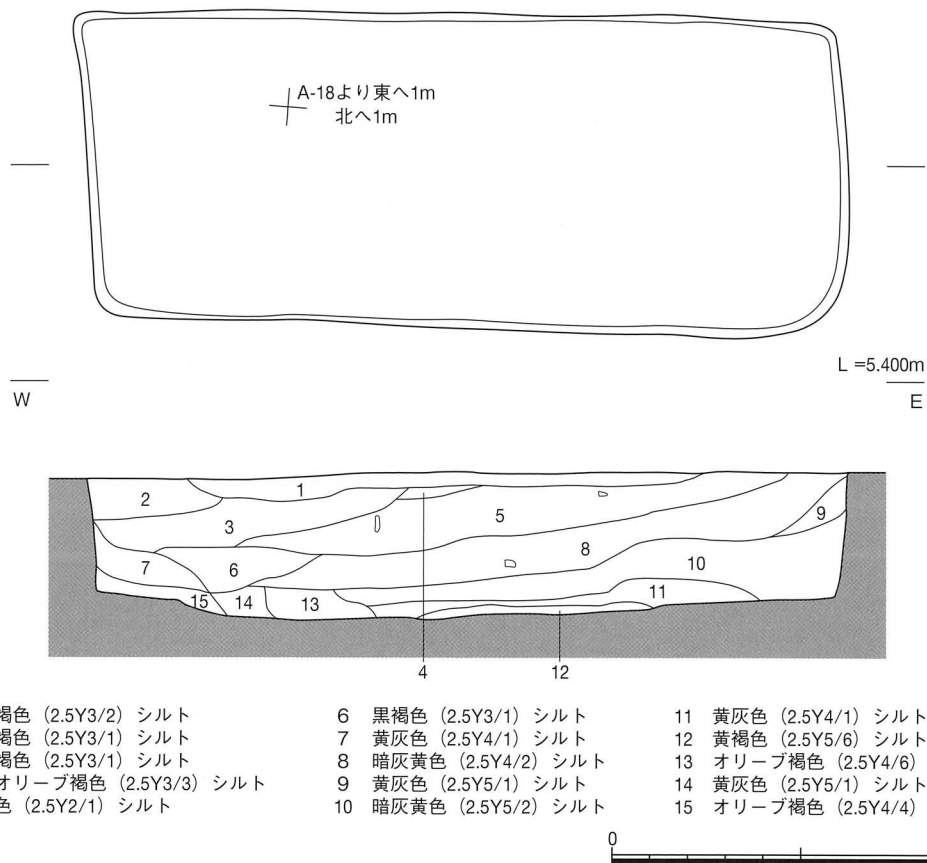
第453図 SK1013 出土遺物



第454図 SK1020 遺物出土状況図・断面図



第455図 SK1020 出土遺物



第456図 SK1026 平・断面図

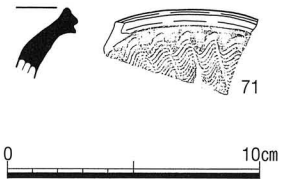
方形を呈する深い部分がある。長軸2.13m×短軸1.65m、深度は0.45mである。

土層 黒褐色、暗オリーブ褐色などの粘性砂質土を9層に細分した。

遺物出土状況 遺物は長方形の部分から出土している。断面図を見ると、遺構の上層に大部分の遺物が分布する。

出土遺物 68は土師器の甕の口縁部である。69は須恵器の杯蓋である。70は弥生土器の甕の底部小破片である。

時期 古墳時代後期と考えられる。



第457図 SK1026 出土遺物

土坑 (SK1026) (第456・457図)

検出場所 2区 a-IV・A-18グリッド

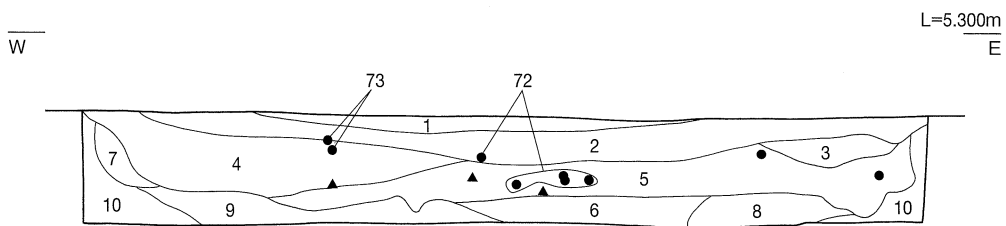
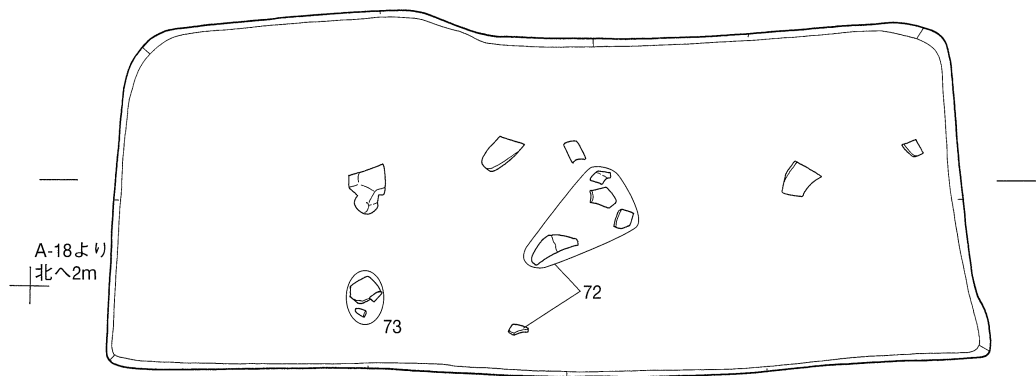
形態・規模 平面形状は、N88° Eに長軸をもつ長方形である。長軸2.00m×短軸0.83m、深度は0.39mである。

土層 黒褐色、暗オリーブ褐色などのシルトを15層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 71は須恵器の甕の口縁部小破片である。

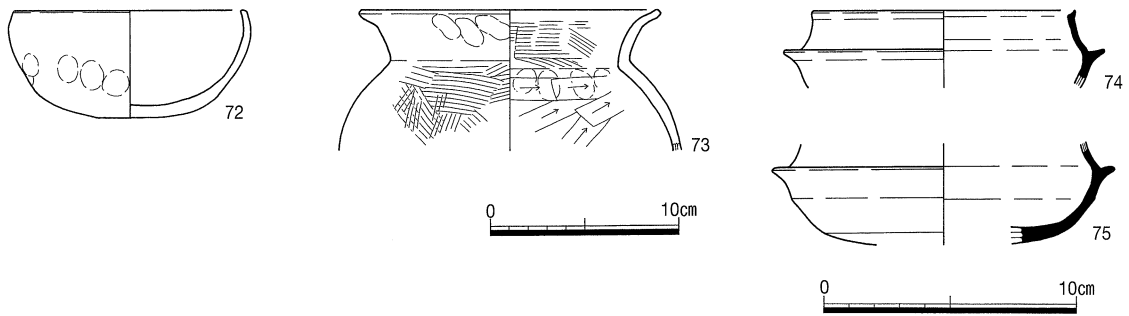
時期 古墳時代後期と考えられる。



- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト | 6 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト |
| 2 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト | 7 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト |
| 3 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト | 8 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト |
| 4 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト | 9 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト |
| 5 黄灰色 (2.5Y5/1) シルト | 10 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト |



第458図 SK1027 遺物出土状況図・断面図



第459図 SK1027 出土遺物

土坑 (SK1027) (第458・459図)

検出場所 2区 a-IV・A-18グリッド

形態・規模 平面形状は、N88°Eに長軸をもつ長方形である。長軸2.23m×短軸0.95m、深度は0.30mである。SK1027と並行に掘られ、対をなしている。

土層 黄灰色、黒褐色などのシルトを10層に細分した。

遺物出土状況 遺物は遺構の中央部から東にかけて出土した。断面図によると、中層の4～5層に集中する。

出土遺物 72は土師器の椀である。73は土師器の甕である。74、75は須恵器の杯身である。

時期 古墳時代後期 (TK47併行期) と考えられる。

⑦柱穴

柱穴 (SP1030) (第460・461図)

検出場所 2区 a-IV・M-19グリッド

形態・規模 平面形状は、ほぼ円形である。長軸0.26m×短軸0.25m、深度は0.09mである。

土層 粘質土を含む黄褐色のシルトを2層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 76は鉄製品の釘である。

時期 不明である。

柱穴 (SP1049) (第462・463図)

検出場所 2区 a-IV・S-18グリッド

形態・規模 平面形状は、東西方向に長軸をもつ楕円形である。長軸0.38m×短軸0.36m、深度は0.33mである。

土層 黒褐色、暗オリーブ褐色などのシルトで、粘質土を含む。5層に細分した。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 77は砥石である。

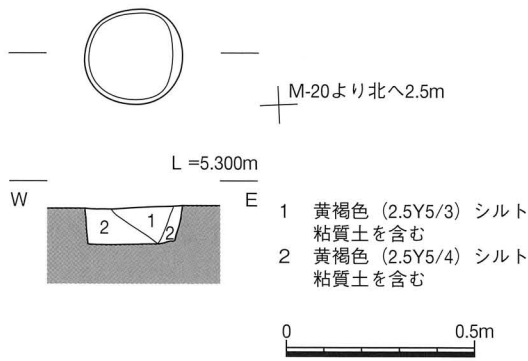
時期 不明である。

⑧自然流路

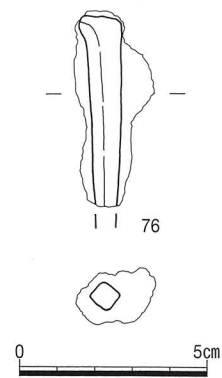
自然流路 (SR1002) (第464～475図・付図25・27)

検出場所 1区 δ-IV・S-18、19、20、T-19、20、ε-IV・A-19、20、B-20、ε-V・A、B-1グリッド

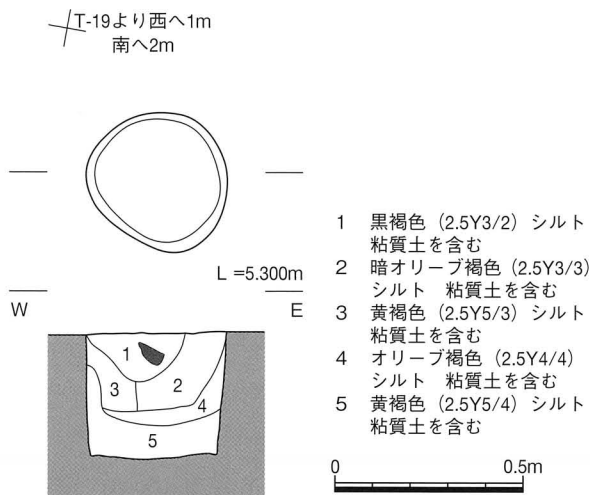
形態・規模 N40°Eを軸に南西から北東方向へ延びる自然流路である。残存する延長距離は18.00mで、最大幅5.10m、深さ1.20mを測る。断面形状は逆三角形および逆蒲鉾形である。断面図によると、底面の高さは南西側 (AB) が北東側 (EF) より僅かに低くなっており、北東から南西への流れであったと推測される。SRとしたが、眉山から北へ延びる埋没尾根上を横切るように掘削されており、人工的に掘られた溝状遺構の可能性が高い。環濠としての機能も想定される。また、遺構内で柱穴 (EP) 8基を検出した。



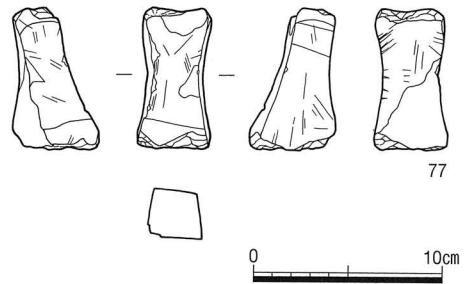
第460図 SP1030 平・断面図



第461図 SP1030 出土遺物



第462図 SP1049 平・断面図



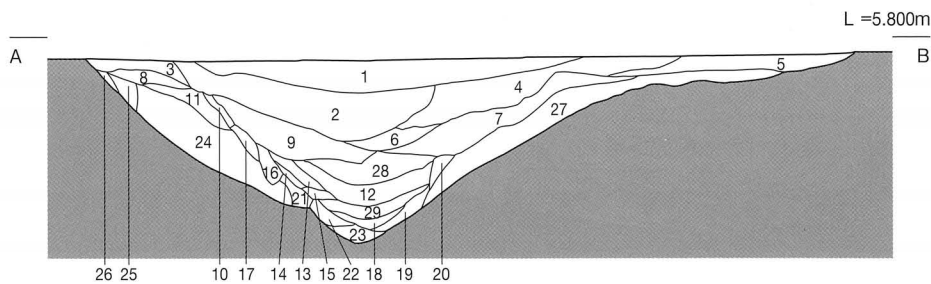
第463図 SP1049 出土遺物

土層 黒褐色、オリーブ褐色のシルト、黒褐色、黄灰色の粗砂層など38層に細分した。遺構内柱穴（EP）はEP 1～3において、にぶい黄褐色、暗褐色などの粘質土を含むシルトを2～3層に細分した。

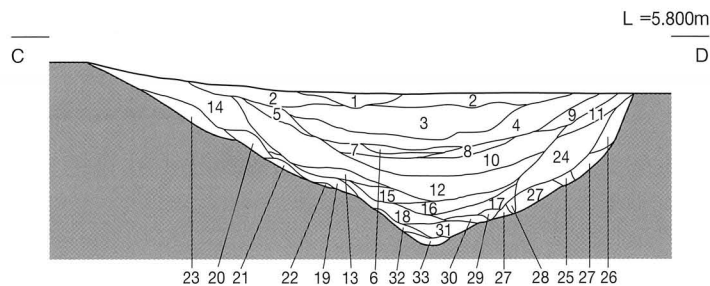
遺物出土状況 SR1002は広範囲から多量の遺物が出土したため、北東部からA～Dに区分して取り上げた。AはSR1002の北東部の北岸に近い位置に集中して分布する。Bは流路の中央部から北側にかけて、やや散漫に分布する。C、DはSR1002の中央部に帯状に集中する。垂直分布からは、Aでは上層にまとまって分布するが、Bでは上層出土の一群とは別に、下層にまとまりが見える。Cでは中層に大部分が分布し、下層と上層に散漫な分布がある。DではCと同様に中層での分布が密であり、上層に散漫な分布が見られ、下層の一部にも密な部分がある。大半の遺物は、上層から出土した弥生時代後期後半のものであるが、最下層では弥生時代中期後半の土器も見られる。

出土遺物 78～86は、Aの範囲から出土した遺物である。78～80は壺である。81は甕である。82は高杯の脚部である。83は結晶片岩製の打製石庖丁である。84～86は敲石である。86は両側面に敲打痕、表面に擦痕が残るが、裏面は割れている。

87～126は、Bから出土した遺物である。87～95は壺である。96～111は甕である。112は鉢の底部



- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 黒色 (2.5Y2/1) シルト | 16 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト |
| 2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト | 17 黄灰色 (2.5Y6/1) シルト |
| 3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト | 18 黒褐色 (2.5Y3/1) 粗砂 |
| 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト | 19 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト |
| 5 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト | 20 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト |
| 6 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト | 21 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト |
| 7 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト | 22 黄灰色 (2.5Y4/1) 粗砂 |
| 8 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト | 23 黒褐色 (2.5Y3/2) 粗砂 |
| 9 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト | 24 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト |
| 10 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト | 25 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト |
| 11 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト | 26 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト |
| 12 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト | 27 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト |
| 13 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト | 28 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト |
| 14 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト | 29 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) 細砂 |
| 15 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト | |



- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 黒色 (2.5Y2/1) シルト | 18 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) 粘質土 |
| 2 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト | 19 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質土 |
| 3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト | 20 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト |
| 4 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト | 21 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘土 |
| 5 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト | 22 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘土 |
| 6 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト | 23 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト |
| 7 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト | 24 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト |
| 8 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト | 25 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト |
| 9 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト | 26 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト |
| 10 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト | 27 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘土 |
| 11 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト | 28 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト |
| 12 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト | 29 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘土 |
| 13 黄褐色 (2.5Y5/3) 粘質土 | 30 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト |
| 14 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト | 31 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) 細砂 |
| 15 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質土 | 32 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘土 |
| 16 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘質土 | 33 黄灰色 (2.5Y4/1) 粗砂 |
| 17 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質土 | |

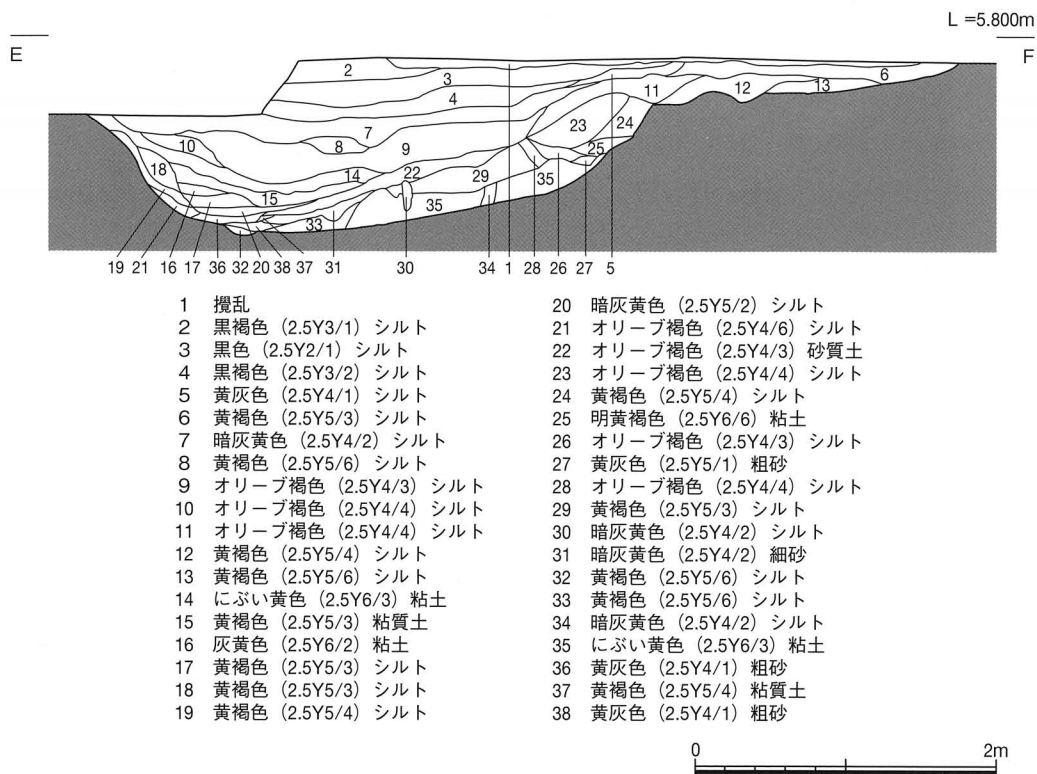


第464図 SR1002 断面図(1)

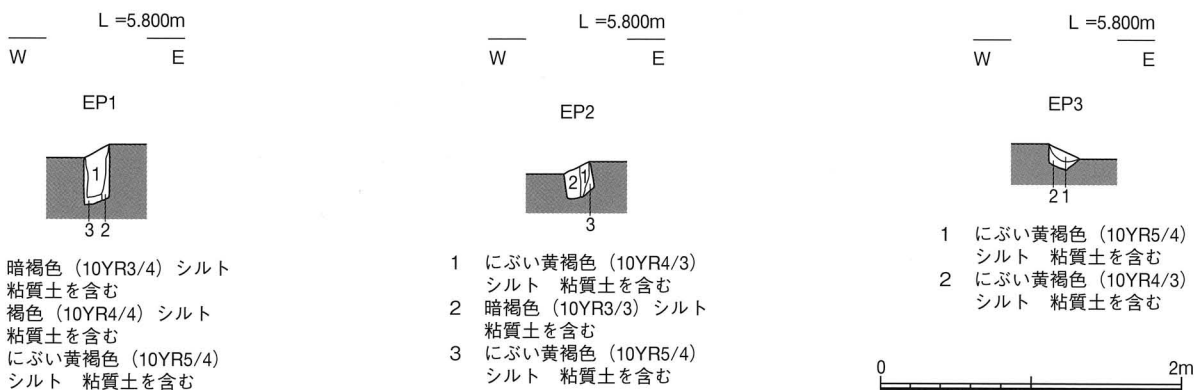
破片である。113～122は高杯である。122は高台部外面に線刻がある。123は磨製石庖丁である。124は石杵である。下部に朱が付着する。125、126は須恵器の杯身である。

127～184は、Cから出土した遺物である。127～140は壺である。141～155は甕である。156～158は鉢である。159～176は高杯である。177、178は石鏃である。179は打製石庖丁である。180は磨製石斧である。181は砥石である。182、183は敲石である。184は土師器の甑の把手である。

185～195は、Dから出土した遺物である。185～189は壺である。190は甕の口縁部である。191は鉢



第465図 SR1002 断面図(2)



第466図 SR1002EP 断面図

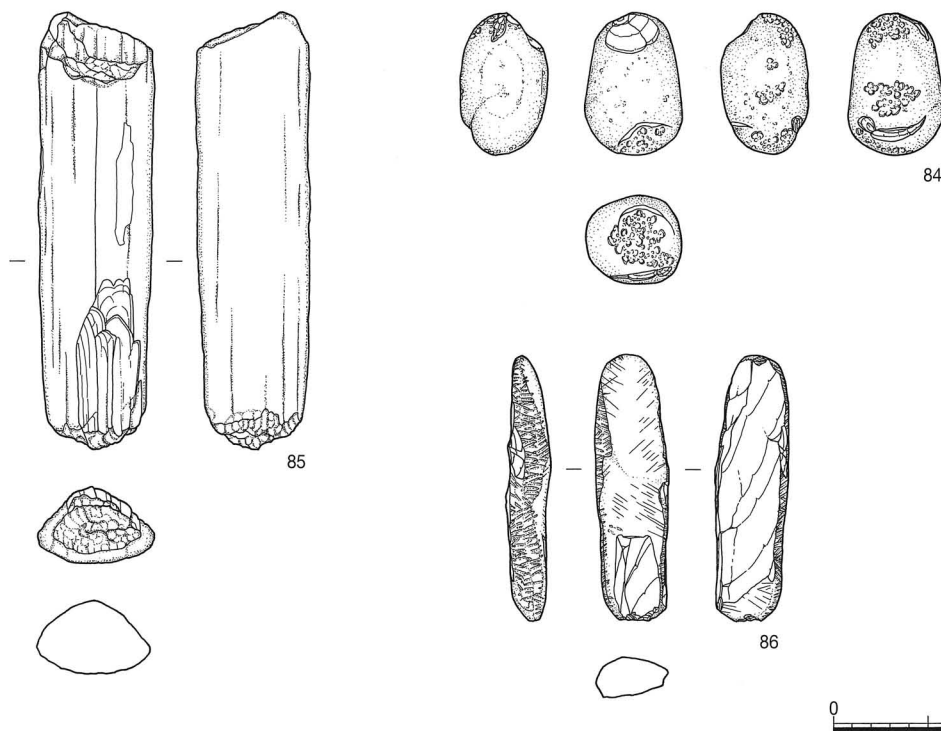
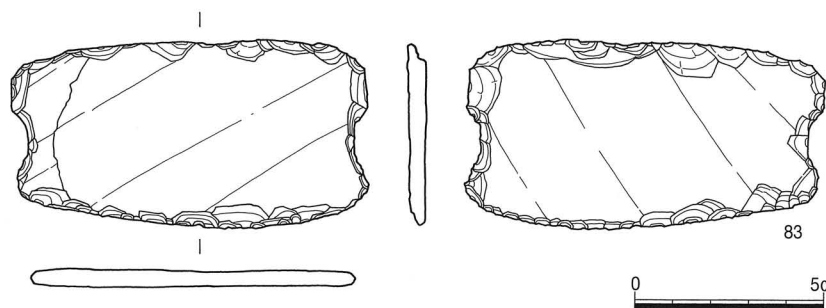
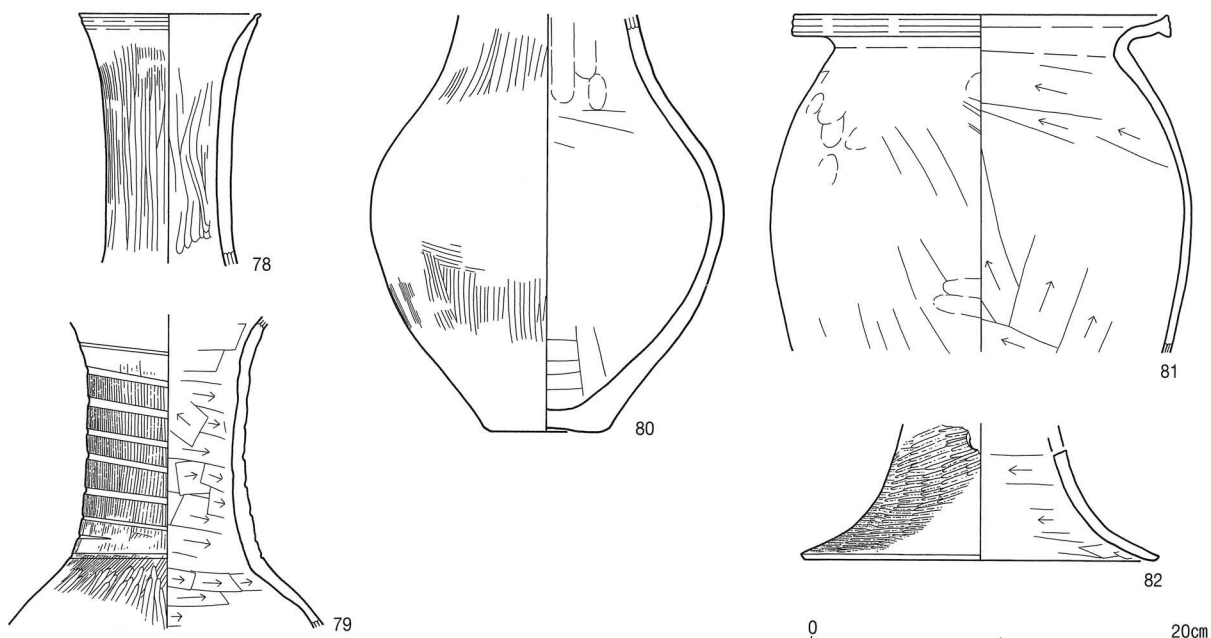
である。192～194は高杯である。195は土錘である。

時期 弥生時代中期後半から古墳時代前期初頭と考えられる。

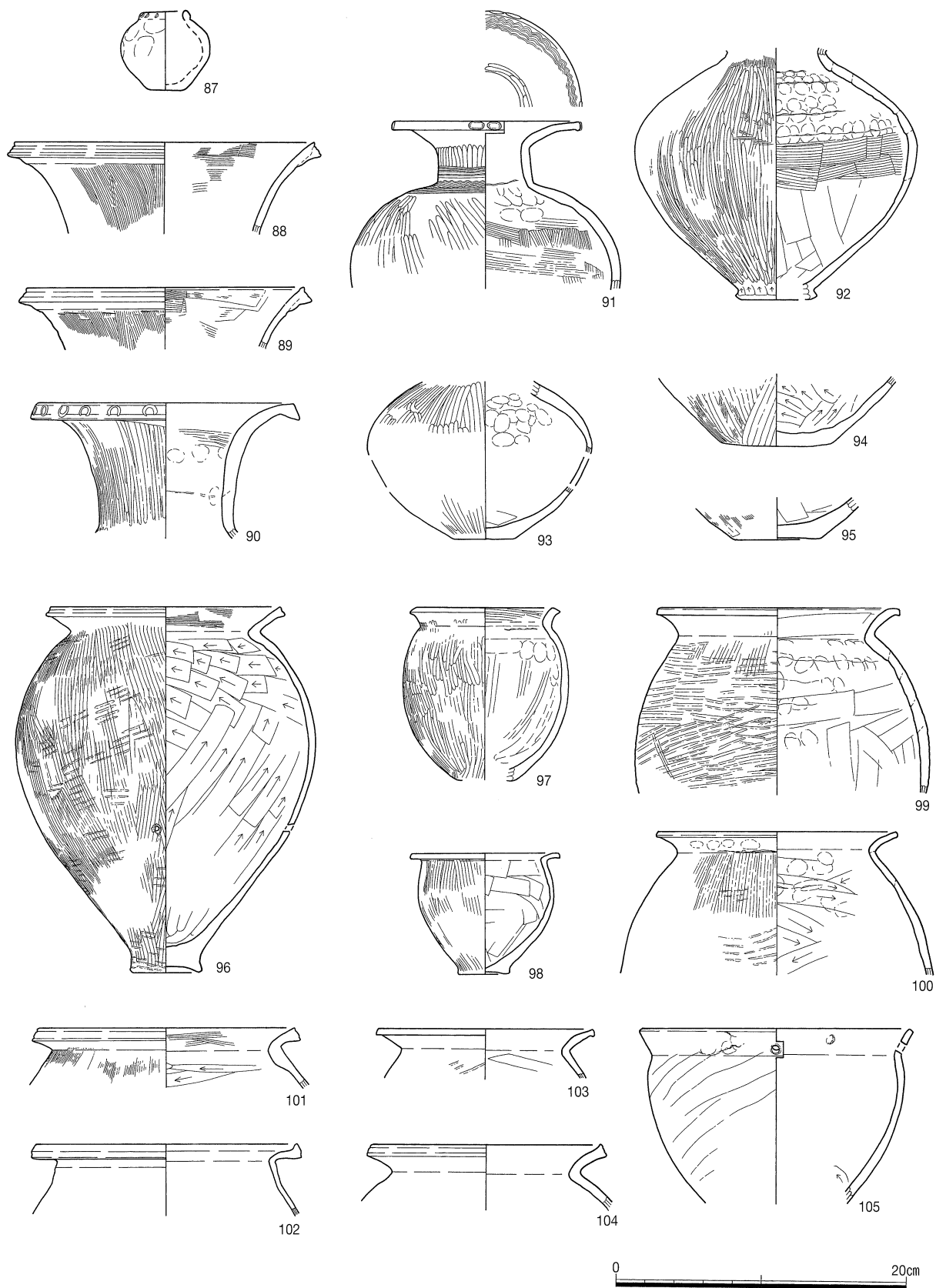
自然流路 (SR1004) (第476～480図・付図26)

検出場所 2区・3区 a-IV・A～C-17～19およびB-20グリッド

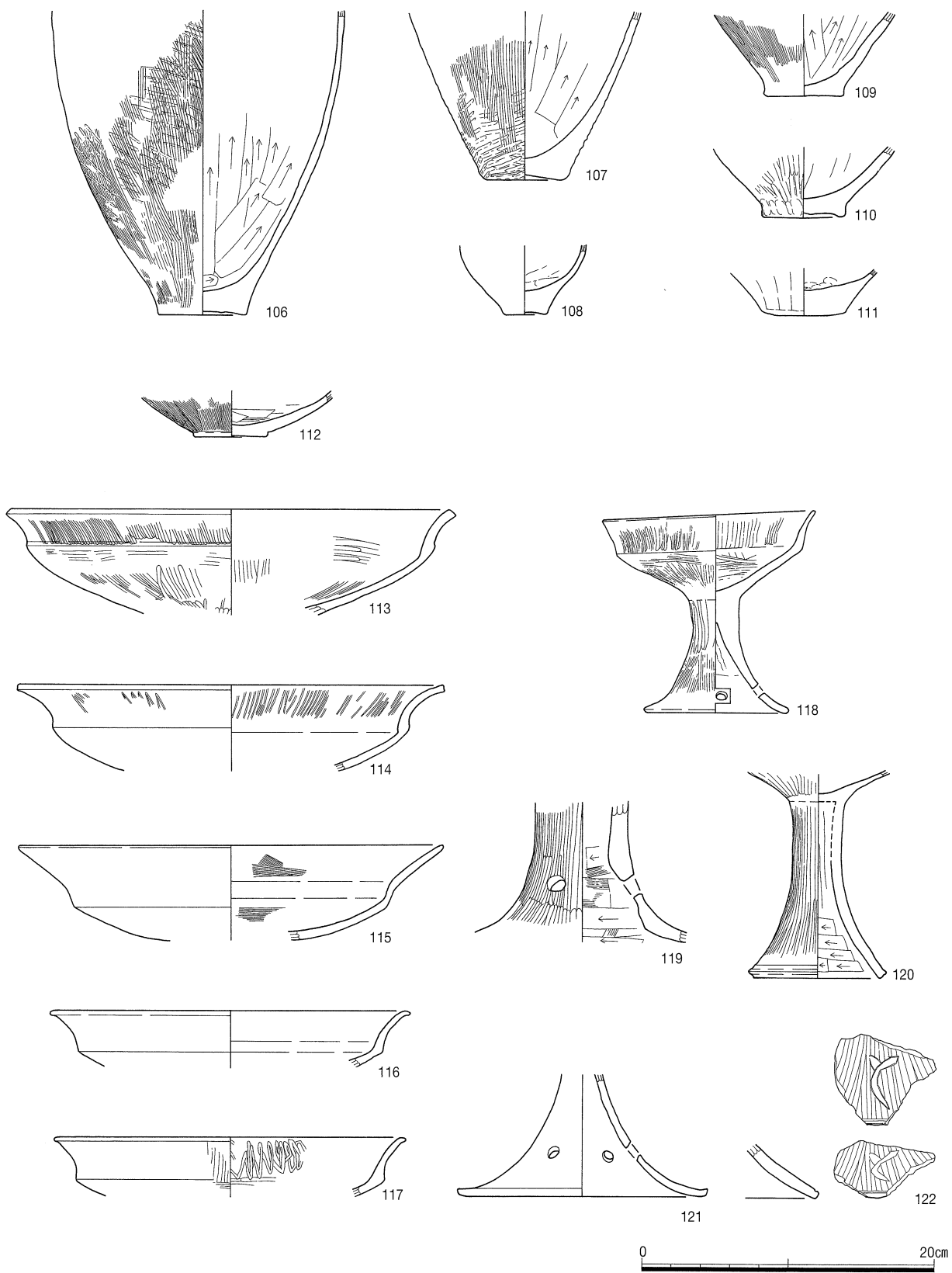
形態・規模 調査区の北側を東西に延びる自然流路で、大部分が調査区外に位置するため、平面形状は不明。残存する延長距離は9.40mで、最大幅7.20m、深さ1.15mを測る。断面形状は北側が調査区外に



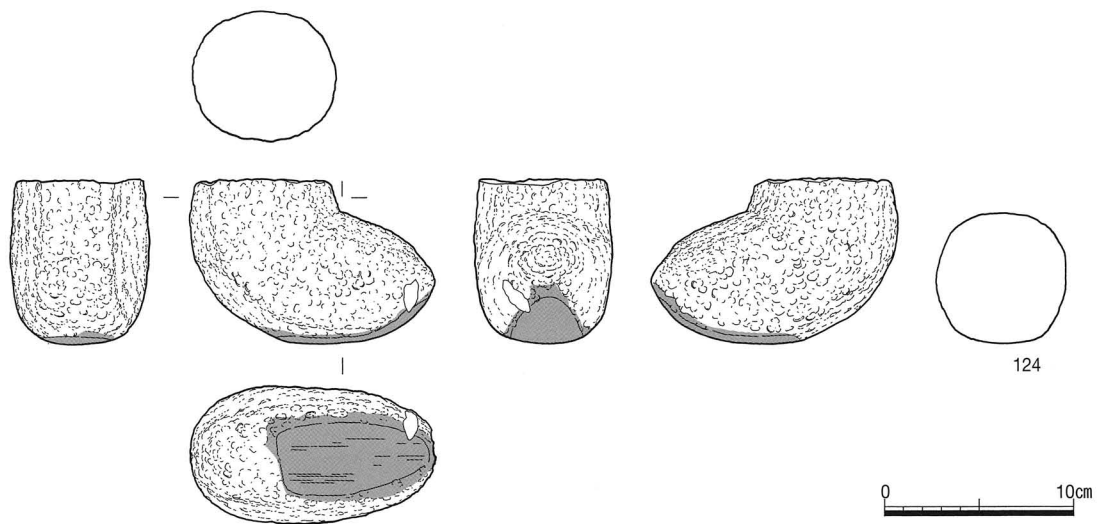
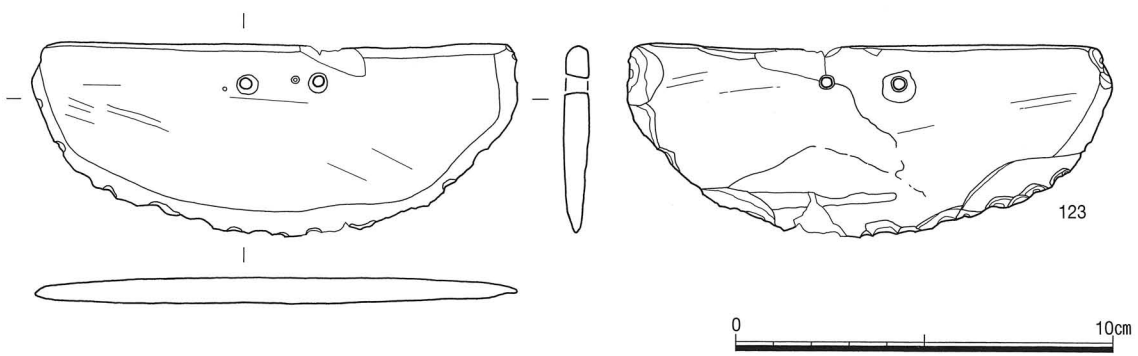
第467图 SR1002A 出土遺物



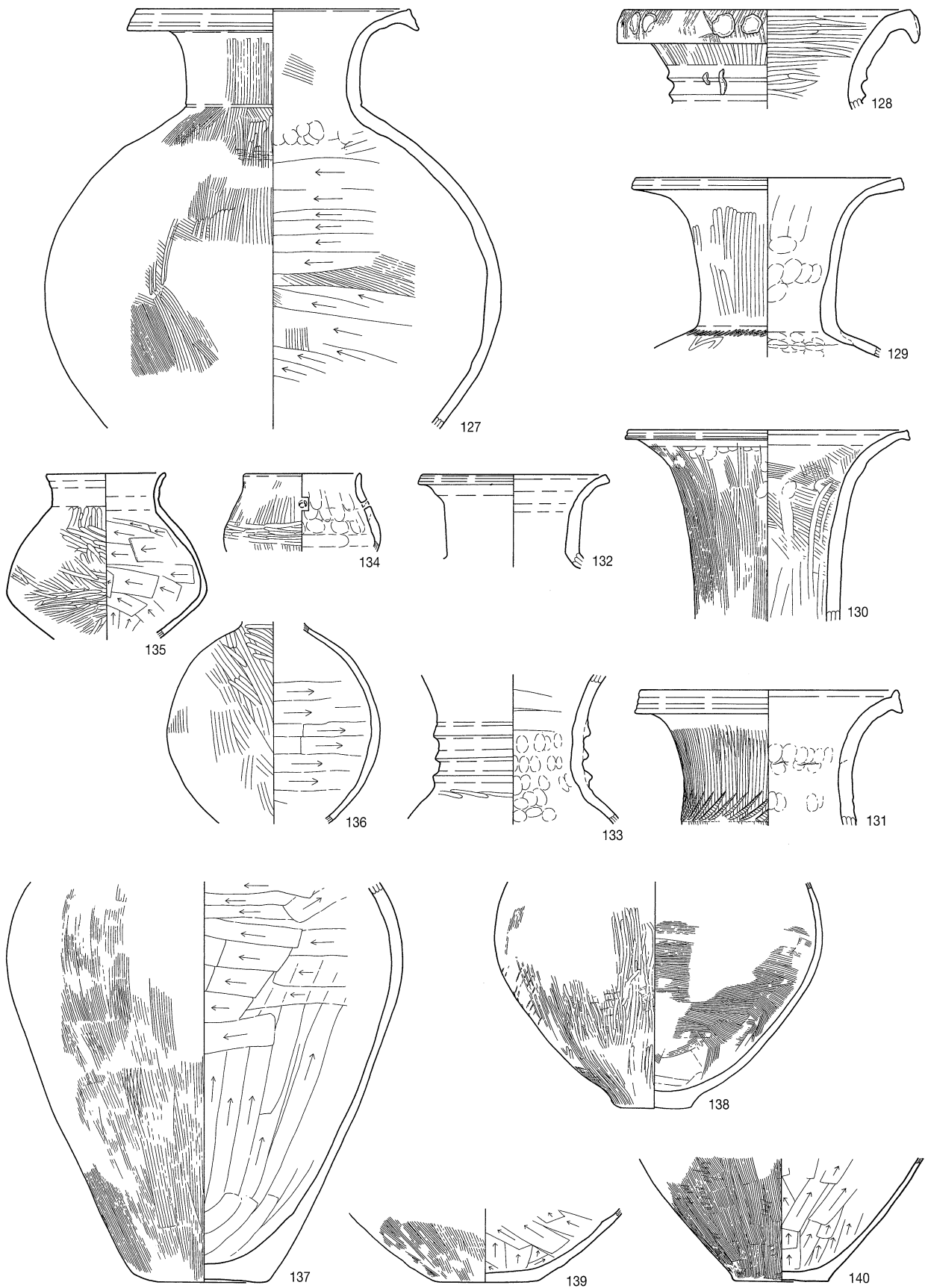
第468図 SR1002B 出土遺物(1)



第469图 SR1002B 出土遺物(2)

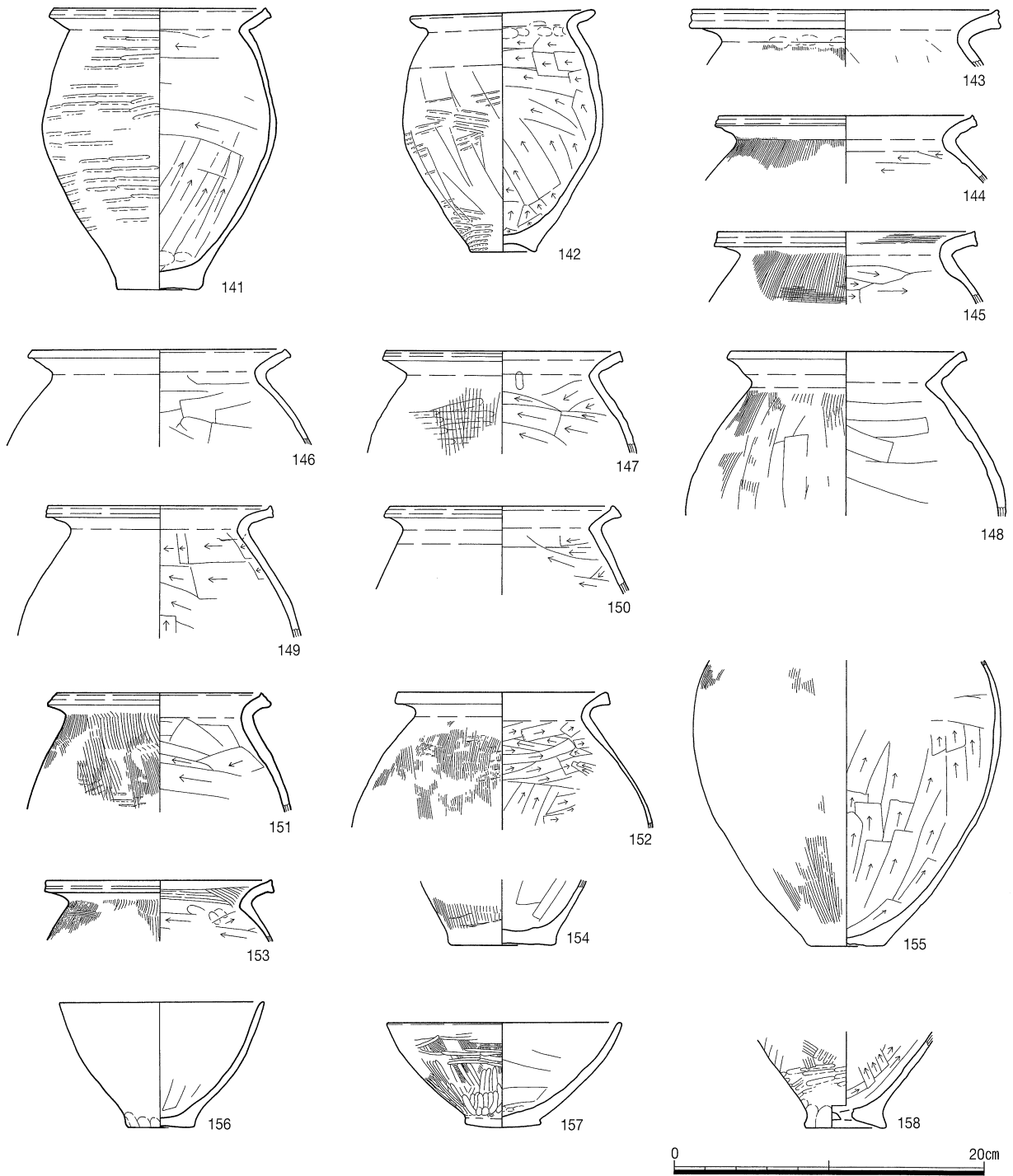


第470図 SR1002B 出土遺物(3)

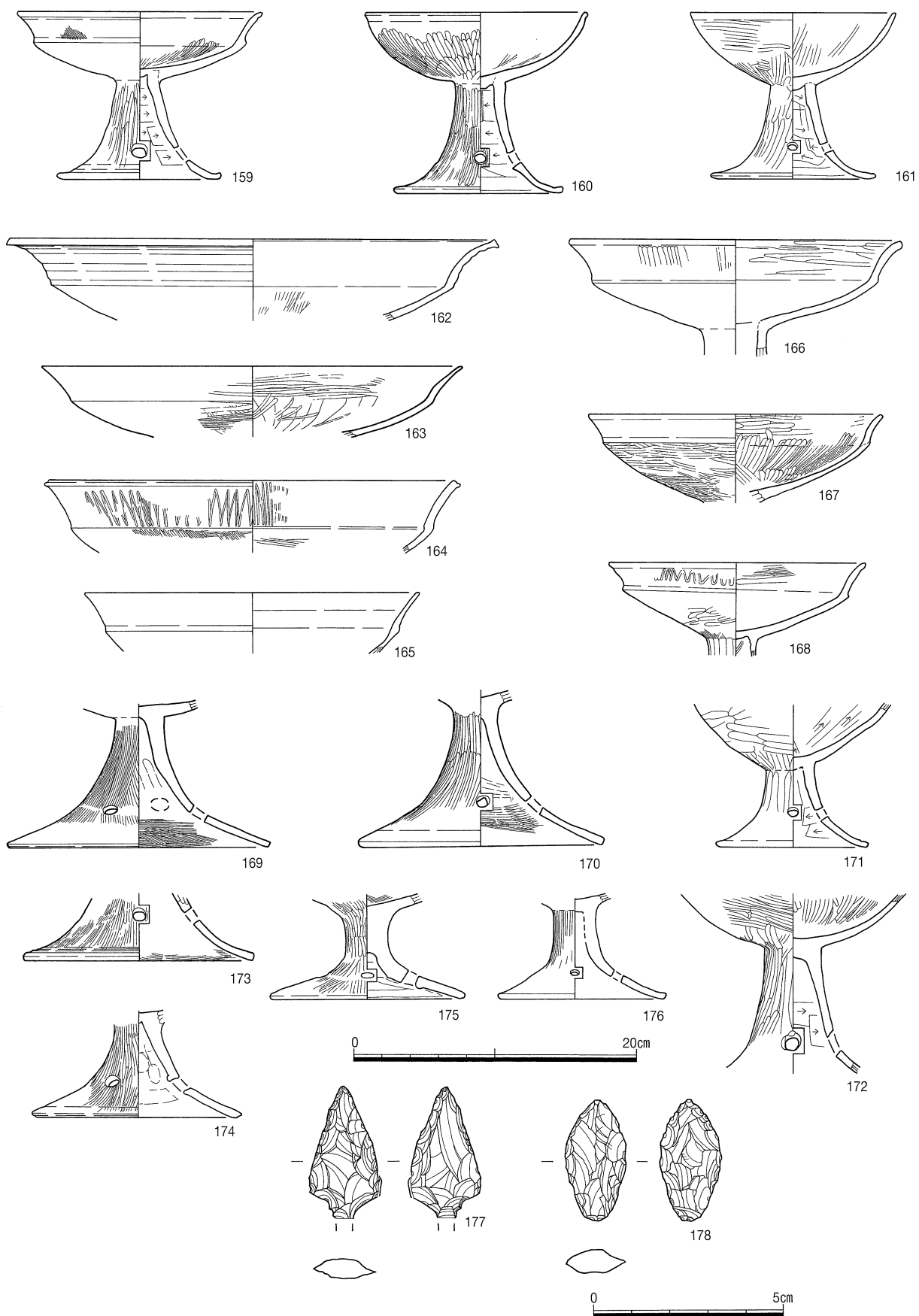


第471图 SR1002C 出土遺物(1)

0 20cm



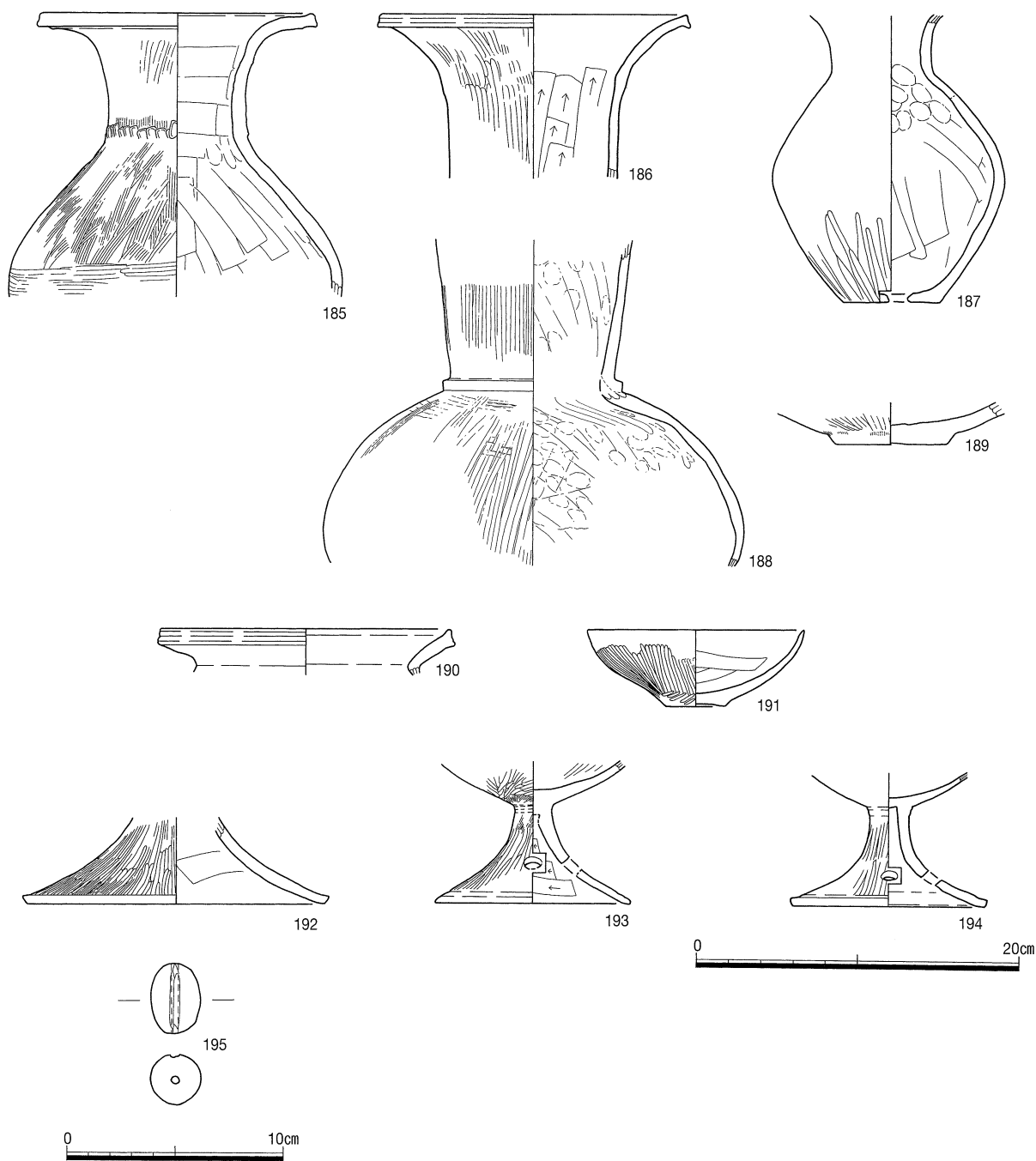
第472図 SR1002C 出土遺物(2)



第473图 SR1002C 出土遺物(3)



第474図 SR1002C 出土遺物(4)

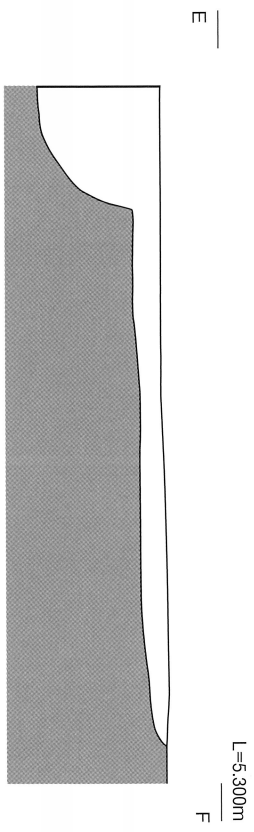
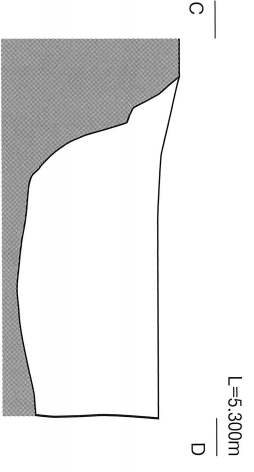
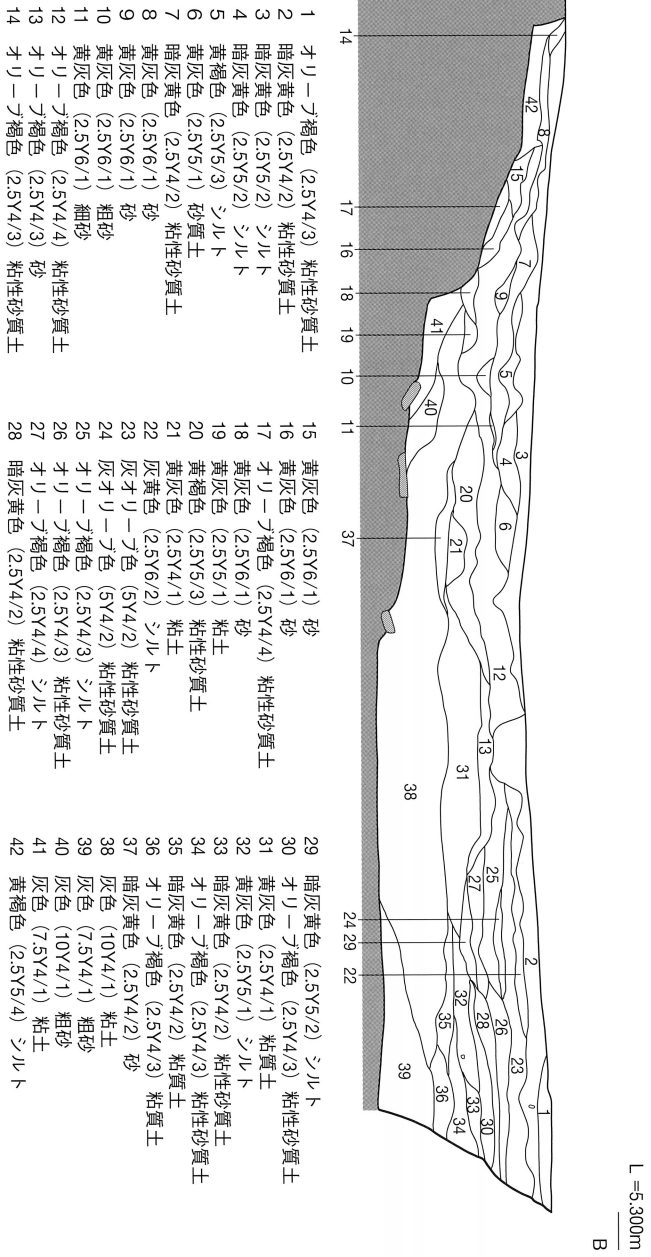


第475図 SR1002D 出土遺物

位置するため不明だが、南側は緩やかな下り斜面の途中に段を形成する。

土層 オリーブ褐色、暗灰黄色などのシルト、粘性砂質土。黄灰色の砂、粗砂などを42層に細分した。基本的にはシルトと粘性砂質土層に砂、粗砂層が部分的に入る。

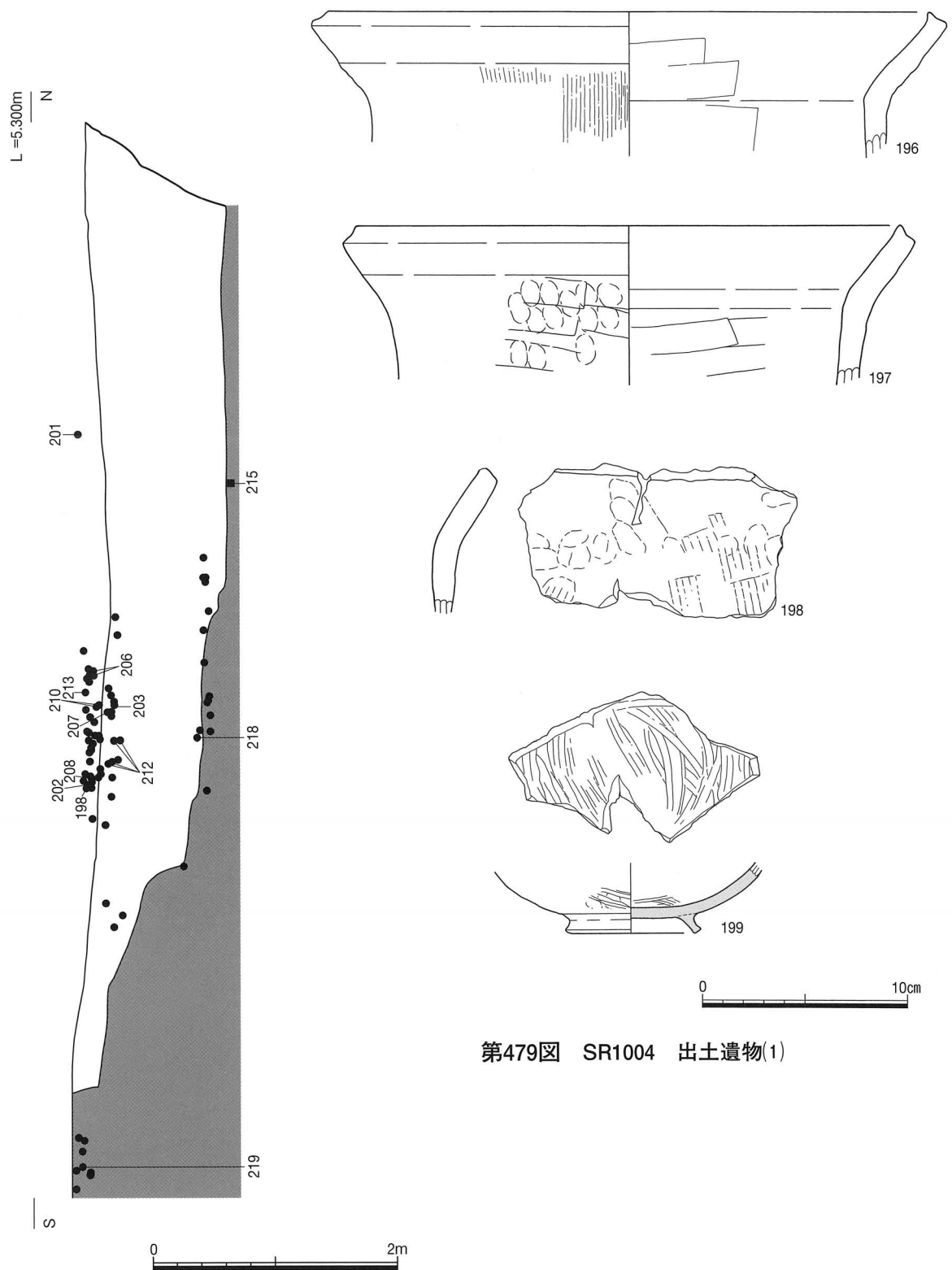
遺物出土状況 南岸斜面と流路底面の平坦面との傾斜変換点部分に、結晶片岩の集石が見られる。調査区内の状況から、集石は南東側へ広がっていると推測される。流路の中央に近い集石北側では木製祭祀具、板材などが出土している。遺物の垂直分布図を見ると、遺物の大半は自然流路の検出面の上下に集中しており、流路が埋没する最終段階の遺物と考えられるが、集石と同じ高さにおいても遺物の分布



第476図 SR1004 断面図

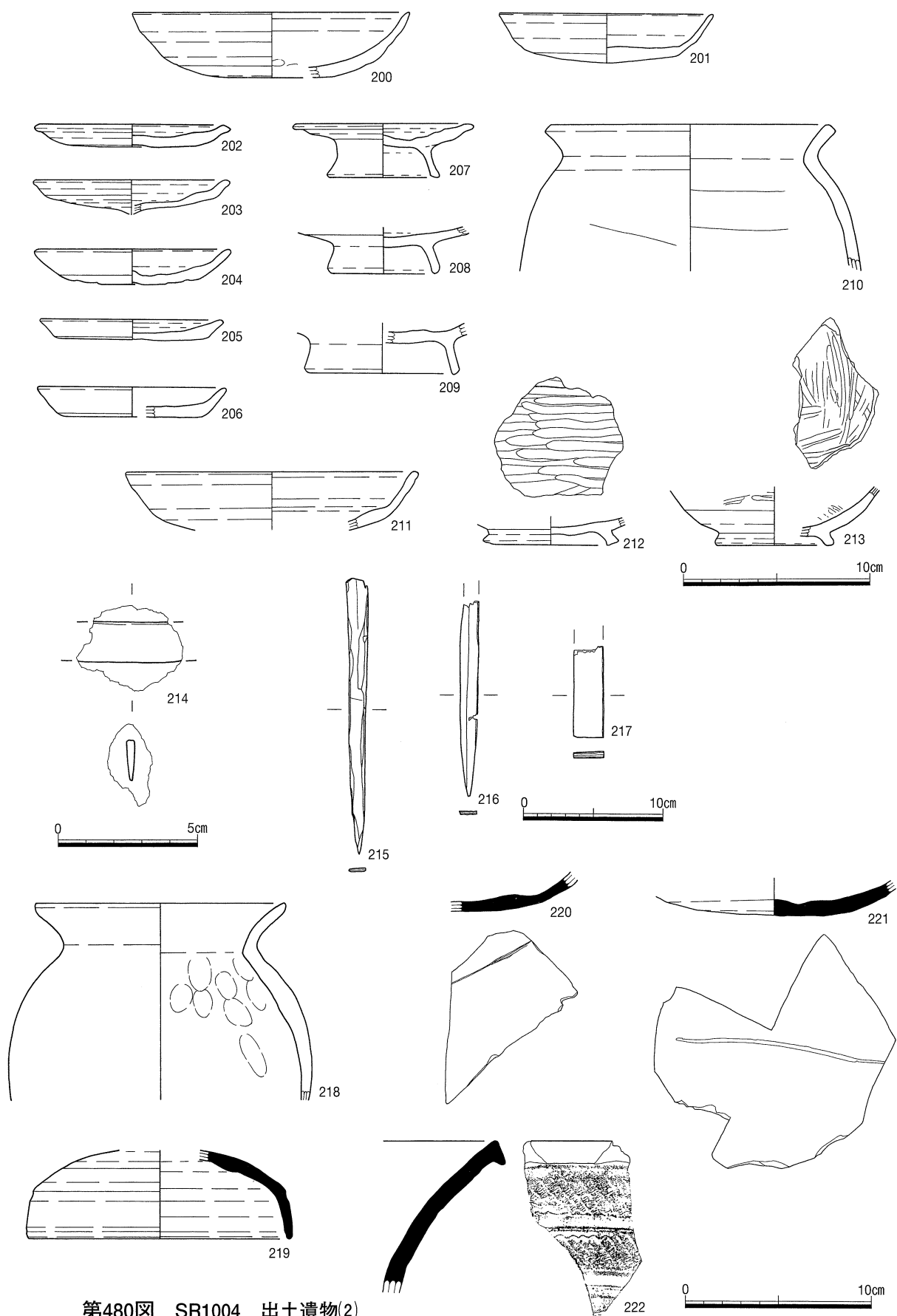


第477図 SR1004 遺物出土状況平面図

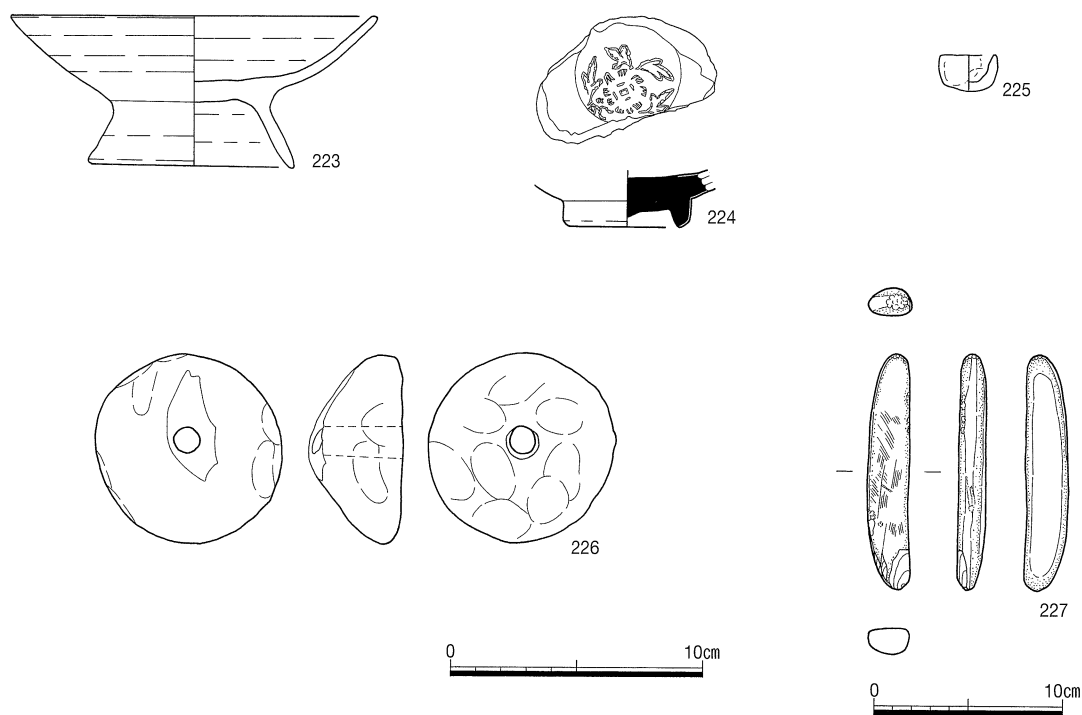


第479図 SR1004 出土遺物(1)

第478図 SR1004 遺物出土状況断面図



第480图 SR1004 出土遺物(2)



第481図 包含層出土遺物

が見られる。

出土遺物 196～198は土師質土器の鍋である。199は瓦器碗の底部破片である。200、201は土師器の杯である。202～209は土師器の皿で、207～209は高台が付く。210は土師器の甕である。211は黑色土器B類の杯である。212、213は黑色土器B類の碗の底部破片である。214は鉄製品の刀子の破片である。215、216は木製祭祀具の斎串である。217は板材である。218は土師器の甕である。219は須恵器の杯蓋である。220、221は須恵器の杯身で、底部外面に刻書がある。222は須恵器の甕である。なお、写真で掲載した228は、鹿の肩甲骨である。端部に解体痕が見られるが、保存状態は良好である。

時期 古墳時代後期から12世紀と考えられる。

⑨包含層出土遺物（第481図）

223は土師器の杯で高台が付く。224は陶器の碗である。225はミニチュア土器である。226は紡錘車である。227は敲石である。両端に敲打痕があり、一端が欠損している。

2 まとめ

南庄遺跡では上層が後世の削平を受けていたため、同一遺構面において複数時期の遺構が混在して検出された。ここでは各遺構ごとに時期を整理して、まとめとする。

① SA（掘立柱建物）

SAは本遺跡の北端で4棟がまとまって検出された。4棟のSA（掘立柱建物）のうち、2棟（SA1001、1002）はEP出土の遺物から、9世紀後半から10世紀と考えられる。他の2棟も切り合いはなく、同時期のものと推測される。南側の名東遺跡では、この時期の建物は検出されておらず、集落は北側へ展開すると考えられる。

② SB（竪穴住居）

SBは遺跡の南端で1棟検出した。約7m四方の方形の竪穴住居と推定されるが、南西部の大部分が調査区外にあたるため、竈は検出されなかった。時期は古墳時代後期である。南側の名東遺跡では当該時期の住居は検出されておらず、過去の調査成果を勘案すると北東方向への集落の広がりが予想される。

③ SD（溝状遺構）

SDは25条検出されたが、遺物が出土したのは8条である。SD1002、1003、1005、1020、1022で弥生時代に属する遺物が出土している。このうち、まとまった資料が出土したのはSD1020のみである。SD1020は、遺跡の北側を南西から北東方向に流れている。古墳時代後期の遺物と弥生時代後期の遺物が混在することから、古墳時代後期の段階においてSDが埋没する過程で、弥生時代の遺物が混入したと考えられる。

SD1002、1003は、この地域の条里であるN10°Wに沿った直線状を呈することから、道路遺構の側溝が残存したもの、もしくは古代の条里の畦畔に伴う溝と考えられる。道路遺構と考える場合、2条の溝の間隔を考慮すると路面幅は約5mとなる。徳島市矢野遺跡では、15番札所国分寺の東側において2条の道路遺構が検出されているが、その道路幅は最大9.1mと5.1mである（（財）徳島県埋蔵文化財センター 2002）。一方、徳島市敷地遺跡では古代の畦畔のうち、幅5mを超えるものが存在することから（（財）徳島県埋蔵文化財センター 2008）、現時点ではどちらの可能性もあり、北側の自然流路SR1004に繋がっていたと推測される。

④ SG（柵列）

SGは6基検出された。このうちSG1001～1005は2区の南側で近接して検出された。SG1001と1002には切り合い関係があり、1002が新しい。SG1006はSA1001の西側で検出された。西壁とほぼ並行で、切り合い関係からSAが新しいことがわかる。SAの一部である可能性が考えられる。

⑤ SK（土坑）

SKは36基が検出された。このうち3基において遺物が出土した。SK1020、1026、1027は平面形状が長方形の土坑で、古墳時代後期と考えられる。断面形状が、ほぼ垂直に掘り込まれたものであることから、土壙墓の可能性が考えられる。このような長方形土坑は、南庄遺跡や名東遺跡の範囲を超えて吉野川流域で検出されるが、出土する遺物が少なく時期は特定されていない。この他、平面形状が楕円形のSK1013も古墳時代後期と考えられる。

⑥ SP (柱穴)

SPは65基検出されたが、遺物がまとまって出土したものはなかった。

⑦ SR (自然流路)

自然流路もしくは大規模な溝状遺構とみられるSRは、4条が検出された。SR1001～1003は遺跡の南端に、SR1004は北端に位置する。

最も多くの遺物が出土したSR1002は、調査区の南西から北東方向に流れている。弥生時代中期後半から古墳時代初頭にかけて機能したものと考えられる。自然流路としているが、眉山から北へ延びる埋没尾根上を横切るように掘削されており、人工的に掘られた溝状遺構で、環濠としての機能も考えられる。

SR1004は東西方向の流れであるが、調査区内では南側の岸のみが検出されたため、流路や深さは判明していない。かなり大規模な流路と考えられる。2区の調査区では南の岸に沿って集石遺構が検出され、その周囲には土器類や木製品、鹿の骨などの有機物が残存していた。遺物は大きく2時期に分けられる。岸や流路の底面からは古墳時代後期の土器や木製祭祀具の斎串が出土している。遺構が埋没する最終段階からは10世紀から12世紀の遺物が出土したため、集石が機能していた時期は10世紀以前と推測される。

集石を構成する石は結晶片岩が多く、積み上げた様子は確認できないが、出土状況平面図(第477図)を見ると、調査区の東側には南岸に掘り込まれた部分があり、大きな礫が分布する様子がわかる。護岸や船着き場などの構造物の存在も想定されるが、解体痕のある鹿の肩甲骨の断片や木製祭祀具の斎串が出土したことから、祭祀の場としての性格が考えられる。

時期	SA	SB	SD	SK	SR
弥生時代後期			1005 1020		1002
古墳時代後期		1001	1020	1013 1020 1026 1027	
古代	1001 1002		1002 1003		1004

第10表 南庄遺跡 時期別遺構一覧表

⑧まとめ(付図28・29・30 第10表)

弥生時代の遺構としては遺跡の南北両側で僅かにSDとSRの計3条を検出したのみで、集落の周辺に位置していた可能性が高い。SR1002は地形や遺物の出土状況を考慮すると、南西から北東方向への流れと考えられるため、集落は遺跡の南西方向に位置していると推測される。

古墳時代後期になると、遺跡の南端でSBが検出され、北半に土壙墓と見られる長方形土坑が分布する。特にSK1026、1027は2基が並列する。SD1020は弥生時代の遺物を含むが、この段階で埋没した遺構である。

古代の遺構としては遺跡の北端に自然流路が存在し、9世紀の段階ではSRに隣接してSAが分布する。また、この付近の条里方向であるN10°Wに沿って直線状に掘られた2条SD1002、1003がある。SAの西側を北へ延び、SRに合流していたと推測される。SR内からは集石が検出され、その周囲から

斎串や解体痕の残る鹿の肩甲骨などが出土しているため、祭祀関連遺構であった可能性が高いと考えられる。2条の平行するSDは、幅が約5m程度であることから、道路遺構の側溝のみが残存したもの、もしくは坪界の畦畔の両側に掘られた溝の可能性が考えられる。集石遺構が古代の船着き場のような施設と仮定すれば、そこへ通じる道路と考えることも可能であるが、SRの規模が未知であるため、船着き場を想定することは、現段階では困難であると考えられる。

参考文献

- (財) 徳島県埋蔵文化財センター 1995 『名東遺跡』
(財) 徳島県埋蔵文化財センター 2000 『鮎喰遺跡』
(財) 徳島県埋蔵文化財センター 2002 『矢野遺跡』
(財) 徳島県埋蔵文化財センター 2004 『大柿遺跡(Ⅱ)』
(財) 徳島県埋蔵文化財センター 2008 『敷地遺跡(Ⅰ)』
重根弘和 2005 「中世の備前焼」『備前市歴史民俗資料館紀要』7 備前市歴史民俗資料館
菅原康夫・梅木謙一編 2000 『弥生土器の様式と編年 四国編』木耳社
杉山秀宏 1988 「古墳時代の鉄鏃について」『檀原考古学研究所論集』第八
中世土器研究会編 1995 『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社
奈良国立文化財研究所 1994 『木器集成図録・近畿古代篇』
日本貿易陶磁研究会 1985 『貿易陶磁研究 NO.1 - NO.5』六一書房
吉成承三 2007 「四国の土製甕・羽釜・鍋 - 古代末から中世の土製煮炊具の様相 -」
『中近世土器の基礎研究』21 日本中世土器研究会



觀 察 表



第11表 南庄遺跡 遺構一覧表

SA

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	間数 (梁)×(桁)	梁間 (cm)	桁行 (cm)	面積 (㎡)	棟方向	備考
SA1001	2007	2	SA1003	S18・19・R18・19	1×3	255	680	17.34	N11°W	
SA1002	2007	2	SA1002	T18・19	1×1	198	398	7.88	N	
SA1003	2007	3	SA1004	R20・S20	1×2	289	614	17.74	N30°E	
SA1004	2007	3	SA1001	A19・20	1×2	240	329	7.90	N38°E	

SA内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内 遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SA1001	2007	2	EP 1	SP2011	S19	31	29	21	
			EP 2	SP2014	S19	30	29	13	
			EP 3	SP2015	R19	28	22	24	
			EP 4	SP2028	R18・19	39	36	12	
			EP 5	SP2016	R18	33	30	26	
			EP 6	SP2085	S18	36	29	25	
			EP 7	SP2012	S18	38	35	38	
SA1002	2007	2	EP 1	SP2006	T19	40	37	17	
			EP 2	SP2010	S19・T19	30	28	10	
			EP 3	SP2008	S18・T18	33	29	20	
SA1003	2007	3	EP 1	SP2110	R20	32	30	12	
			EP 2	SP2115	R20	40	32	14	
			EP 3	SP2111	R20	36	33	14	
			EP 4	SP2106	S20	40	37	22	
SA1004	2007	3	EP 1	SP2101	A20	38	34	11	
			EP 2	SP2102	A20	35	30	10	
			EP 3	SP2103	A19・20	35	32	18	
			EP 4	SP2095	A19	28	26	12	
			EP 5	SP2094	A20	33	28	22	

SB

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SB1001	2007	1	SB2001	Q20・R19・20	735	730	29	西側欠

SB内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内 遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SB1001	2007	1	ED 1	SB2001-ED 1	Q20・R19・20	1390	45	10	
			EK 1	SB2001-EK 1	Q20・R20	124	85	17	
			EP 1	SB2001-EP 1	R20	55	53	46	
			EP 2	SB2001-EP 2	Q20	59	57	36	

SD

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	延長 (cm)	幅 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
SD1001	2007	1	SD2023	Q20・Q1	115	90	20	N87°E	
SD1002	2007	1・2	SD2009	Q20・R20・S20・T20・H18・I18・J18・K18・L18・M18・B19・C19・D19・E19・F19・G19・H19・A20・B20・C20・Q1・R1	8120	120	37	N10°W	
SD1003	2007	1・2	SD2005	M18・19・N18・19・O18・P18・Q18・R18・S18・G19・H19・I19・J19・K19・L19・C20・D20・E20・F20・G20・H20	5640	140	36	N10°W	

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	延長 (cm)	幅 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
SD1004	2007	1	SD2024	S18・19・T18・19・A18・B18	1730	395	29	N20° W	
SD1005	2007	1	SD2025	S18・T18	425	115	14	N24° W	
SD1006	2007	1	SD2019	B18・C18・19・D19・20・E19・20・F20	2440	75	29	N36° E	SK1009・SD1004に切られる
SD1007	2007	1	SD2022	C20・D19・20	550	50	12	N43° W	
SD1008	2007	1	SD2015	E18・19・F19	1150	60	22	N73° E	
SD1009	2007	1	SD2014	E18・F18・19	305	40	17	N80° E	
SD1010	2007	1	SD2021	F19・20	330	60	35	N70° E	
SD1011	2007	1	SD2020	F19・20	330	90	16	N54° W	SD1012に切られる
SD1012	2007	1	SD2018	F19・20・F1・G20・G1	900	80	13	N79° E	
SD1013	2007	1	SD2017	G19・20・G1	885	40	26	N81° E	
SD1014	2007	1	SD2016	G19・20・G1	680	50	17	N79° E	
SD1015	2007	1	SD2013	G18	440	25	9	N81° E	
SD1016	2007	1・2	SD2012	F18・G18・H18・I18	1330	50	7	北N12° W ・南N8° E	
SD1017	2007	2	SD2010	K18・19・L18・19		160	17	N74° W	
SD1018	2007	2	SD2011	K20	200	60	21	N76° W	
SD1019	2007	2	SD2008	P19・20	710	45	11	N88° W	
SD1020	2007	2・3	SD2006	O18・P18・Q18・19・R19・20・S19・20・T20・A20	2900	310	81	N32° E	
SD1021	2007	2	SD2007	P19・Q19	470	55	16	N10° W	
SD1022	2007	2	SD2004	R18・S18	595	45	12	N11° E	
SD1023	2007	2	SD2003	S18	320	40	12	N78° E	
SD1024	2007	2・3	SD2002	A18・19・20	1040	100	21	N80° E	
SD1025	2007	3	SD2001	A20・B20				N45° W	

SG

遺構番号	調査年度	調査区	グリッド	規模 (cm)	軸方向	備考
SG1001	2007	2	K19・L19	490	N58° W	
SG1002	2007	2	K19・L18・19	715	N57° W	
SG1003	2007	2	K19・L18・19	770	N61° W	
SG1004	2007	2	K19・K20	675	N57° W	
SG1005	2007	2	J20・K20	320	N58° W	
SG1006	2007	2	R18・S18	485	N12° W	

SG内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内 遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
SG1001	2007	2	EP 1	SP2043	L19	30	27	8	N58° W	
			EP 2	SP2045	L19	32	30	13		
			EP 3	SP2047	L19	32	23	12		SG1002EP 5 に切られる
			EP 4	SP2049	K19・L19	33	24	16		SG1002EP 6 に切られる
			EP 5	SP2058	K19	30	15	6		SG1002EP 7 に切られる
			EP 6	SP2056	K19	27	19	11		SG1002EP 8 に切られる
SG1002	2007	2	EP 1	SP2040	L18	29	27	14	N57° W	
			EP 2	SP2041	L18	40	37	15		
			EP 3	SP2042	L18・19	46	35	8		
			EP 4	SP2046	L19	32	30	12		SG1001EP 2 に切られる
			EP 5	SP2048	L19	30	23	15		
			EP 6	SP2050	K19	28	26	16		
			EP 7	SP2057	K19	56	29	21		
			EP 8	SP2055	K19	60	28	13		
SG1003	2007	2	EP 1	SP2037	L18	36	24	15	N61° W	
			EP 2	SP2039	L18	30	28	18		
			EP 3	SP2044	L19	33	28	9		
			EP 4	SP2052	K19	25	24	6		
			EP 5	SP2053	K19	21	21	22		
SG1004	2007	2	EP 1	SP2051	K19	31	28	25	N57° W	
			EP 2	SP2054	K19・20	25	23	13		
			EP 3	SP2069	K20	54	15	20		
			EP 4	SP2068	K20	54	34	17		
			EP 5	SP2067	K20	48	27	20		

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内 遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
SG1005	2007	2	EP 1	SP2070	K20	50	31	23	N58° W	
			EP 2	SP2071	K20	50	32	21		
			EP 3	SP2072	J20	32	30	16		
			EP 4	SP2073	J20	40	28	22		
			EP 5	SP2074	J20	35	25	21		
SG1006	2007	2	EP 1	SP2084	S18	33	20	15	N12° W	SG1001EP 6 に切られる
			EP 2	SP2017	R18	36	33	44		
			EP 3	SP2029	R18	24	15	25		SG1001EP 4 に切られる

SK

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	長軸方向	備考
SK1001	2007	1	SK2028	P20・Q20・P1	155	105	14	N45° W	
SK1002	2007	1	SK2027	Q20	235	105	10	N4° E	西側欠・SB1001に切られる
SK1003	2007	1	SK2026	B19	280	103	47	真北	
SK1004	2007	1	SK2029	C18・19	120	82	13	N24° E	
SK1005	2007	1	SK2022	D19・20・E20	200	90	56	N32° E	
SK1006	2007	1	SK2023	D19・E19	240	70	59	N29° E	
SK1007	2007	1	SK2024	E19	85	70	10	N29° E	西側欠
SK1008	2007	1	SK2021	E19・F19	226	61	13	N3° W	
SK1009	2007	1	SK2020	F20・F1	290	160	50	N2° E	東側欠
SK1010	2007	1	SK2018	G18	248	87	40	N9° W	
SK1011	2007	1	SK2017	G18	48	43	11	N86° W	
SK1012	2007	1	SK2019	G20	138	90	30	N10° W	SD1013に切られる
SK1013	2007	2	SK2015	I18・19	320	141	12	N83° E	
SK1014	2007	2	SK2014	J19・20・K19・20	190	67	21	N10° W	
SK1015	2007	2	SK2013	L20	210	46	11	N61° W	
SK1016	2007	2	SK2011	M19	92	70	12	N46° E	
SK1017	2007	2	SK2010	N20	78	64	16	N30° W	
SK1018	2007	2	SK2009	O20	127	67	10	N80° W	
SK1019	2007	2	SK2008	O19	127	92	10	N79° E	
SK1020	2007	2	SK2012	O18	213	165	45	N69° W	
SK1021	2007	2	SK2007	Q19	88	58	15	N7° W	
SK1022	2007	2	SK2006	R19・S19	190	98	25	N33° W	
SK1023	2007	2	SK2005	S18	100	65	16	N14° E	
SK1024	2007	2	SK2004	S18・T18	144	95	23	N13° E	
SK1025	2007	2	SK2003	T18	104	62	47	N30° E	
SK1026	2007	2	SK2002	A18	200	83	39	N88° E	
SK1027	2007	2	SK2001	A18	223	95	30	N88° E	
SK1028	2007	2	SK2016	T19・A19	234	60	30	N1° E	東側欠
SK1029	2007	3	SK2034	Q19・20	147	108	10	N40° E	
SK1030	2007	3	SK2033	Q20・R20	220	200	10	N86° E	東側欠
SK1031	2007	3	SK2032	S20	80	52	12	N82° W	
SK1032	2007	3	SK2035	R20・S20	375	140	10	N44° E	東側欠
SK1033	2007	3	SK2031	A19・20	170	82	12	真北	SA1004EP 3 に切られる
SK1034	2007	3	SK2030	A19	61	52	12	N78° E	西側欠
SK1035	2007	3	SK2037	B20	78	58	40	N10° W	
SK1036	2007	3	SK2036	B20	164	113	39	N18° W	

SP

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SP1001	2007	1	SP2100	P20	25	23	21	
SP1002	2007	1	SP2099	P20	35	33	65	
SP1003	2007	1	SP2098	P1	25	23	23	
SP1004	2007	1	SP2097	S20	31	29	19	
SP1005	2007	1	SP2096	E20	24	22	16	
SP1006	2007	1	SP2093	E20	46	44	22	
SP1007	2007	1	SP2092	E19・20	55	27	12	
SP1008	2007	1	SP2091	F20	33	28	28	
SP1009	2007	1	SP2090	F20	30	25	16	SP1008に切られる
SP1010	2007	1	SP2089	F20	36	32	23	
SP1011	2007	1	SP2088	F20	30	30	24	SP1010に切られる

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SP1012	2007	1	SP2087	F20	75	39	26	
SP1013	2007	1	SP2086	F18	22	19	13	
SP1014	2007	2	SP2082	H18	36	33	20	
SP1015	2007	2	SP2080	H18	30	28	26	
SP1016	2007	2	SP2079	H18	35	26	17	
SP1017	2007	2	SP2081	H18	33	24	20	
SP1018	2007	2	SP2083	J19・20	63	49	6	
SP1019	2007	2	SP2078	J18	22	20	9	
SP1020	2007	2	SP2076	J18・K18	53	34	7	
SP1021	2007	2	SP2077	J18・K18	35	29	15	
SP1022	2007	2	SP2075	K18	35	26	7	
SP1023	2007	2	SP2066	K20	28	26	9	
SP1024	2007	2	SP2059	K19・L19	30	26	11	SG1001EP 5 に切られる
SP1025	2007	2	SP2060	L19	30	28	20	
SP1026	2007	2	SP2038	L18	70	42	11	
SP1027	2007	2	SP2061	L19	26	24	9	
SP1028	2007	2	SP2062	L19	28	25	7	
SP1029	2007	2	SP2063	L19・20・M19・20	51	48	24	
SP1030	2007	2	SP2064	M19	26	25	9	
SP1031	2007	2	SP2065	M20	26	26	17	
SP1032	2007	2	SP2036	N18	63	46	24	
SP1033	2007	2	SP2035	N18	35	33	16	
SP1034	2007	2	SP2034	N18	33	31	20	
SP1035	2007	2	SP2031	N18	30	30	20	
SP1036	2007	2	SP2032	N18	35	31	26	SP1037に切られる
SP1037	2007	2	SP2033	N18	38	33	21	
SP1038	2007	2	SP2025	N19	28	28	19	
SP1039	2007	2	SP2026	N19	37	33	25	
SP1040	2007	2	SP2024	N20	40	32	17	
SP1041	2007	2	SP2023	N20	34	30	19	
SP1042	2007	2	SP2022	O20	63	61	22	
SP1043	2007	2	SP2021	O20	52	48	16	
SP1044	2007	2	SP2020	O20	36	34	10	
SP1045	2007	2	SP2027	O18	39	37	25	
SP1046	2007	2	SP2019	P19	47	46	36	
SP1047	2007	2	SP2018	P19	31	30	15	
SP1048	2007	2	SP2030	Q18・R18	29	29	17	
SP1049	2007	2	SP2013	S18	38	36	33	
SP1050	2007	2	SP2009	S18・T18	35	33	19	
SP1051	2007	2	SP2007	T18	24	22	36	
SP1052	2007	2	SP2005	A18	30	27	23	
SP1053	2007	2	SP2004	A18	34	30	31	SK1027に切られる
SP1054	2007	2	SP2003	A18	27	16	20	側溝に切られる
SP1055	2007	2	SP2002	A18	29	25	11	
SP1056	2007	2	SP2001	A18・19	47	46	25	
SP1057	2007	3	SP2114	Q20	51	47	22	
SP1058	2007	3	SP2113	Q20	50	47	15	
SP1059	2007	3	SP2112	Q20	52	45	11	
SP1060	2007	3	SP2116	R20	54	40	10	
SP1061	2007	3	SP2108	R20	43	38	14	
SP1062	2007	3	SP2109	R20・S20	50	44	16	
SP1063	2007	3	SP2107	S20	46	39	13	
SP1064	2007	3	SP2105	S20	27	25	33	
SP1065	2007	3	SP2104	T20	32	28	36	

SR

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	延長 (cm)	幅 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
SR1001	2007	1	SR2004	S19・S20・T20・S1・T1	1070	360	30		
SR1002	2007	1	SR2003	S18・19・20・T19・20・A19・20・B20・A1・B1	1800	510	120	N40°E	
SR1003	2007	1	SR2005	A18・B18・19・C18	1240	510	27		
SR1004	2007	2・3	SR2001	A17・18・19・B17・18・19・20・C17・18・19	940	720	115		

SR内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内 遺構番号	旧遺構番号	グリッド	延長 (cm)	幅 (cm)	深度 (cm)	備考
SR1002	2007	1	EP 1	SR2003EP 3	S19	23	20	35	
			EP 2	SR2003EP 2	S19	24	20	20	
			EP 3	SR2003EP 1	S19	20	18	13	
			EP 4	SR2003EP 4	T19	26	23	20	
			EP 5	SR2003EP 5	T20	19	18	5	
			EP 6	SR2003EP 6	T20	20	16	10	
			EP 7	SR2003EP 7	A20	28	27	11	
			EP 8	SR2003EP 8	A20	47	43	22	

ST

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
ST1001	2007	1	ST2001	A19・B19	155	145	—	N56°E	

SX

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SX1001	2007	1	SX2003	F20・G20・F1・G1	620	565	7	東側欠
SX1002	2007	2	SX2002	L18	185	175	12	西側欠

第12表 南庄遺跡 土器・土製品観察表

掲載 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	質量 (口径)	質量 (胴径・口径)	質量 (最大径)	質量 (器高)	質量 (底径)	質量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
1	黒色 土器	椀	2区	SA1001EP7	15.9			図上復元 (5.2)	6.6	0.7	全体の1/8	外面：口縁部回転ナデ、体部回転ナデのちへラミガキ(幅3mm)。底部、高台部回転ナデ。貼付高台 内面：へラミガキ(幅2~3mm)。 外面：高台部ヨコナデ。貼付高台 内面：回転ナデのちへラミガキ(幅約2mm)。 外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天頂部回転へラクスリ。 内面：口縁部、体部回転ナデのちへラミガキ。	焼成：良。密度：良。反転復元。口縁部と底部は接合しない。黒色土器A類。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：口縁部-5YR6/4に多い 様。底部-2.5Y3/1黒褐色。 内面：5Y2/黒。
2	黒色 土器	椀	2区	SA1002EP3				1.5	6.6	0.9	底部1/4	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天頂部回転へラクスリ。 内面：口縁部、体部回転ナデのちへラミガキ(幅約2mm)。 外面：口縁部、体部回転ナデ、沈線1条。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。反転復元。黒色土器B類。	石英、長石、黒色斑粒 法量：0.1~4.6mm	外面：5PB6/1青灰。 内面：5PB5/1青灰。
3	須恵器	杯蓋	1区	SB1001	14.3			4.7			全体の2/3	外面：口縁部、体部回転ナデ、沈線1条。 内面：回転ナデ、沈線1条。 外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。反転復元。	石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.5mm	外面：N5/O9K。 内面：N6/O9K。
4	須恵器	杯蓋	1区	SB1001	(14.6)			(3.9)			全体の1/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。口縁部打ち欠き。	石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.5mm	外面：N5/O9K。 内面：N5/O9K。
5	須恵器	杯身	1区	SB1001	(12.8)			4.5	(6.4)		全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。	石英、長石 法量：0.1~3.3mm	外面：N7/O9K白。 内面：N7/O9K白。
6	須恵器	杯身	1区	SB1001	(13.8)			(4.5)	(12.8)		全体の1/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。一部反転復元。	石英、長石、結晶片岩、黒色斑粒 法量：0.1~3.6mm	外面：5PB6/1青灰。 内面：5PB7/1明青灰。
7	須恵器	杯身	1区	SB1001							全体の4/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、絹雲母 法量：0.1~1.5mm	外面：N5/O9K。 内面：N5/O9K。
8	須恵器	杯身	1区	SB1001	(12.8)			(4.2)	(8.4)		全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、金 法量：0.1~6.0mm	外面：7.5YR6/4に多い様。 内面：7.5YR6/4に多い様。
9	土師器	壺	1区	SB1001	(18.4)	(15.3)	(25.2)	(26.0)			全体の1/3	外面：口縁部ハケ(4条/cm)のちナデ。頸部ハケ(4条/cm)。体部ハケ(3条/cm)。 外面：口縁部ヨコナデ。体部上ハケ10条/cm。体部下ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。体部上ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。体部下ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。体部上ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。体部下ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~6.5mm	外面：7.5YR6/4に多い様。 内面：7.5YR6/4に多い様。
10	土師器	壺	1区	SB1001		26.0	33.3	23.3			全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ハケ10条/cm。体部下ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。体部上ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。体部下ハケ(3条/cm)のちへラミガキ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：10YR6/4に多い様。 内面：7.5YR6/4に多い様。
11	土師器	把手	1区	SB1001							把手のみ	外面：体部ハケ(8条/cm)。把手部エビオサエ、エビナデ。	焼成：良。密度：良。断面美則。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：10YR6/4に多い様。 内面：7.5YR6/4に多い様。
12	土師器	把手	1区	SB1001	長さ6.2	幅9.8	高さ4.7				把手のみ	外面：体部ハケ(8条/cm)。把手部エビオサエ、エビナデ。	焼成：良。密度：精。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR6/4に多い様。 内面：5YR6/4に多い様。
26	須恵器	杯蓋	1・2区	SD1003	12.4			(5.0)			全体の1/4	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天頂部回転へラクスリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、長石 法量：0.1~5.0mm	外面：N8/O9K白。 内面：N8/O9K白。
28	弥生 土器	高杯	1区	SD1005				(8.8)			全体の3/4	外面：胴部へラミガキ(幅3mm)。 内面：胴部エビナデ、絞り痕。	焼成：良。密度：良。反転復元。一部合成。透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.4mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
30	土師器 土器	皿	1区	SD1011	(10.2)			(1.2)			全体の3/5	外面：回転ナデ、高台の場合あり。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。底部穿孔あり(φ6.5mm)。	長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：10YR7/4に多い黄褐色。 内面：10YR6/4に多い黄褐色。
31	土師器	椀	2・3区	SD1020	10.0			5.1	8.0		ほぼ完形	外面：口縁部、体部エビオサエ、エビナデ。底部ナデ。 内面：エビオサエのちへラミガキ。 外面：口縁部ヨコナデ。体部エビオサエのちナデ(摩滅)。底部ナデ。 内面：エビオサエのちへラミガキ。	焼成：良。密度：良。反転復元。一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：10YR6/4に多い黄褐色。 内面：10YR6/4に多い黄褐色。
32	土師器	椀	2・3区	SD1020	8.2		10.1	4.8	6.4		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部エビオサエのちナデ(摩滅)。底部ナデ。 内面：エビオサエのちへラミガキ。	焼成：やや不良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.5mm	外面：7.5YR6/4に多い様。 内面：7.5YR5/4に多い様。

掲載 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (胴径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
33	土師器	甕	2・3 区	SD1020	(13.2)	(12.0)	(16.3)	(11.7)			全体の1/6	外面：口縁部ヨコナテ。頸部エビオサエの ちヨコナテ。体部ハケ(4条/cm)。 内面：口縁部ヨコナテ。頸部隆起のため調 整不明瞭。坂ナテもしくはハケ。体部エビオサ エのちエビオサエ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑 粒、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4に白い橙。
34	土師器	甕	2・3 区	SD1020	(14.8)	(12.8)		(7.3)			口縁部1/8	外面：口縁部、頸部ヨコナテ。体部ハケ。 内面：口縁部、頸部ヨコナテ。体部ハケ エのちエビオサエ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 頸部外面に爪跡2ヶ所あり。	石英、赤色斑粒 法量：0.1~2.2mm	外面：5.YR8/4斑橙。 内面：5.YR7/4に白い橙。
35	土師器	甕	2・3 区	SD1020	16.5	14.1		(6.6)			口縁部~ 頸部1/5	外面：口縁部ヨコナテのち坂ナテ。頸部エ ビオサエのち坂ナテ。体部坂ナテ。 内面：口縁部、頸部ヨコナテ。体部ハケ エのち坂ナテ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。 一部合成。	石英、赤色斑粒 法量：0.1~3.0mm	外面：5.YR5/6弱赤褐。 内面：5.YR5/6弱赤褐。
36	土師器	甕	2・3 区	SD1020	(14.6)	(12.2)		(6.8)			全体の1/5	外面：口縁部ヨコナテ。体部隆起のため調 整不明瞭。エビオサエ(幅3mm)。 内面：口縁部ヨコナテ。体部隆起のため調 整不明瞭。坂ナテ(幅1.4cm)	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。 外面浮屠。	石英、結晶片岩 法量：0.1~3.0mm	外面：5.YR6/6橙。 内面：5.YR6/6橙。
37	土師器	甕	2・3 区	SD1020	15.8	12.6		(6.5)			全体の1/10 以下	外面：口縁部ヨコナテ。頸部カタキのちハ ケ(3条/cm)のちヨコナテ。体部カタキの ちハケ(3条/cm)。 内面：口縁部坂ナテ。体部ハケエのち 坂ナテ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~9.0mm	外面：7.5YR6/4に白い橙。 内面：口縁部-5.YR6/4に白 橙。体部-10YR5/1弱灰。
38	土師器	把手	2・3 区	SD1020			(3.5)				把手のみ	外面：エビオサエ、エビオサエ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：10YR7/2に白い黄橙。
39	須恵器	杯蓋	2・3 区	SD1020	(15.9)		4.7		天頂径 6.0		天頂部完形	外面：口縁部、体部下回転ナテ。体部上、 体部上、天頂部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、赤色斑粒 法量：0.1~3.0mm	外面：N6/0灰。 内面：2.5YR5/2灰赤。
40	須恵器	杯蓋	2・3 区	SD1020	12.6		4.5				全体の4/5	外面：口縁部、体部下回転ナテ。体部上、 天頂部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：粗。 一部合成。	石英、結晶片岩 法量：0.1~3.5mm	外面：N6/0灰。 内面：N5/0灰。
41	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020	(10.9)		4.4		(5.2)		全体の1/2	外面：口縁部、体部下回転ナテ。体部上、 底面回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 底面外面へラ記号あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑 粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：N5/0灰。 内面：N5/0灰。
42	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020	11.1		5.4		11.5		全体の7/10	外面：口縁部、体部上回転ナテ。体部下、 底面回転ヘラケズリ。 内面：口縁部、体部回転ナテ。 エのちエビオサエ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、結晶片岩、黒色斑 粒 法量：0.1~2.0mm	外面：N5/0灰。 内面：N6/0灰。
43	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020	(12.0)	(14.2)		(5.2)			全体の1/5	外面：口縁部、体部上回転ナテ。体部下、 底面回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1~2.0mm	外面：N5/0灰。 内面：N5/0灰。
44	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020	12.0		(4.8)				全体の1/3	外面：口縁部、体部上回転ナテ。体部下、 底面回転ヘラケズリ。 内面：口縁部、体部回転ナテ。 エのちエビオサエ。	焼成：良。密度：粗。	石英、長石、結晶片岩、絹雲母、 黒色斑粒 法量：0.1~3.0mm	外面：5.PB5/1青灰。 内面：5.PB5/1青灰。
45	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020	11.6		13.6	(4.15)	11.5		全体の1/8	外面：口縁部、体部上回転ナテ。体部下、 底面回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、黒色斑 粒 法量：0.1~4.0mm	外面：2.5Y7/1灰白。 内面：7.5Y6/1灰。
46	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020	11.0		13.0	5.1	9.1		全体の1/2	外面：口縁部、体部上回転ナテ。体部下、 底面回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：N6/0灰。 内面：5.PB6/1青灰。
47	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020			12.2	4.1	8.8		全体の1/5	外面：口縁部、体部上回転ナテ。体部下、 底面回転ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑 粒、絹雲母、黒色斑粒 法量：0.1~1.5mm	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
48	須恵器	杯身	2・3 区	SD1020			(16.0)	(3.0)	(13.4)		全体の1/5	外面：体部上回転ナテ。体部下、底面回転 ヘラケズリ。 内面：回転ナテ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、長石、黒色斑粒 法量：0.1~3.0mm	外面：N7/0灰白。 内面：N6/0灰。
49	須恵器	甕	2・3 区	SD1020		7.8	17.9	(14.9)			全体の3/4	外面：頸部回転ナテのち波状文。体部上回 転ナテ、沈線1条、回転ヘラケズリ。体部 一部合成。 内面：頸部、体部回転ナテ。底面エビオサ エ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。 一部外面に自然軸付着。 体部上部穿孔1ヶ所あり(外 内)。	石英、結晶片岩、絹雲母、黒色 斑粒 法量：0.1~4.5mm	外面：5.PB5/1青灰。 内面：5.PB5/1青灰。

掲載 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (口径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
50	弥生 土器	甕	2・3 区	SD1020	18.6	15.3		(3.6)			口縁部~ 頸部1/5	外面：口縁部、頸部ナゾ。体部ヘラケナズリ。 内面：口縁部、体部ナゾ。 外面：体部下タタキ(3条/1.1cm)のうちナゾ (優越が著しい)。 内面：体部下ヘラケナズリのうちハケ(5条/ cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：10YR7/3にぶい黄橙。
51	弥生 土器	甕	2・3 区	SD1020			3.4	3.8			底部完形	外面：体部下ヨコナゾ。 内面：体部下エビナゾ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：10YR5/4にぶい黄橙。 内面：10YR5/4にぶい黄橙。
52	弥生 土器	甕	2・3 区	SD1020			(2.0)	4.0			底部完形	外面：体部下ヨコナゾ。 内面：体部下エビナゾ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR7/6橙。
53	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			(4.1)	5.0			底部完形	外面：体部下タタキ(4条/cm)のうちエビナ ナズリ。エビナゾ。 内面：体部下ヘラケナズリ。 外面：体部下タタキ(4条/cm)のうちエビナ ナズリ。 内面：体部下ヘラケナズリ。 外面：体部下タタキ(4条/cm)のうちエビナ ナズリ。 内面：体部下ヘラケナズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 体部外面黒染あり。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR7/4にぶい橙。 内面：7.5YR7/4にぶい橙。
54	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			(3.4)	5.9			底部完形	外面：体部下タタキ(3条/cm)のうちナゾ。 内面：体部下エビナゾ。 外面：体部下タタキ(3条/cm)のうちナゾ。 内面：体部下エビナゾ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 体部外面黒染あり。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
55	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			(3.7)	3.6			底部完形	外面：体部下タタキ(3条/cm)のうちナゾ。 内面：体部下エビナゾ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/2灰褐。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
56	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			(3.5)	5.2			底部完形	外面：体部下板ナゾ(幅1.2cm)。 内面：体部下板ナゾ(幅1.2cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/2灰褐。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
57	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			(3.0)	5.4			底部完形	外面：体部下板ナゾ(幅1.5cm)。 内面：体部下板ナゾ(幅1.5cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
58	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			(2.5)	4.5			底部完形	外面：体部下エビナゾ。 内面：底部エビナゾ。 外面：体部下エビナゾのうちナゾ。 内面：体部下ヘラケナズリのうちエビナゾ。 外面：体部下エビナゾのうちナゾ。 内面：体部下ヘラケナズリのうちエビナゾ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面の一部黒染あり。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
59	弥生 土器	鉢	2・3 区	SD1020			2.5	5.2			底部完形	外面：体部下エビナゾ。杯部上ナゾのうち ラミナギキ。 内面：口縁部ヨコナゾ。杯部上厚縁のため 調整不明瞭。ハケ?	焼成：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~5.5mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
60	弥生 土器	高杯	2・3 区	SD1020	(29.3)			(4.15)			全体の1/9	外面：口縁部ヨコナゾ。杯部上ナゾのうち ラミナギキ。 内面：口縁部ヨコナゾ。杯部上厚縁のため 調整不明瞭。ハケ?	焼成：良。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
61	弥生 土器	高杯	2・3 区	SD1020			7.3				全体の3/10	外面：脚部上ヘラミナギキ(幅3mm)。 内面：脚部下ヘラミナギキ(6条/cm)。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色珪 粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/6明褐。 内面：7.5YR5/4にぶい橙。
62	弥生 土器	高杯	2・3 区	SD1020			6.8				全体の1/5	外面：脚部厚縁のため調整不明瞭。ヘラミ ナギキの痕跡あり。 内面：杯部ナゾ。脚部ヘラケナズリのうちナゾ。 外面：口縁部、体部回転ナゾ。底部回転ヘ ラ切り。 内面：回転ナゾ。	焼成：不良。密度：粗。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
63	土師器	杯	2・3 区	SD1020	10.2		2.0	7.8			全体の3/5	外面：口縁部、体部回転ナゾ。底部回転ヘ ラ切り。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~2.5mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
65	土師器	把手	2・3 区	SD1024			(6.8)				把手のみ	外面：ヨコナゾ。 内面：ヨコナゾ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~10.0mm	外面：7.5YR8/2灰白。 内面：7.5YR8/2灰白。
67	須恵器	杯形	2区	SK1013	(14.3)		(3.2)				全体の1/6	外面：口縁部、体部上回転ナゾ。体部下回 転ヘラケナズリ。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、絹雲母、黒色珪粒 法量：0.1~0.8mm	外面：N7/0灰白。 内面：N7/0灰白。
68	土師器	甕	2区	SK1020	(13.6)		(11.7)	(4.3)			口縁部1/5	外面：ヨコナゾ。 内面：ヨコナゾ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、0.1~3.2mm 石英、長石、赤色珪粒 法量：0.1~3.5mm	外面：10YR7/4にぶい黄橙。 内面：2.5YR3/淡黄。
69	須恵器	杯蓋	2区	SK1020	(12.0)		(3.5)				口縁部1/5	外面：ヨコナゾ。 内面：ヨコナゾ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
70	弥生 土器	甕	2区	SK1020			(3.2)	3.9			全体の3/4	外面：体部下タタキ(3条/cm)のうちナゾ(8条 /cm)。底部エビナゾエ、エビナゾ。 内面：エビナゾエ、エビナゾ。 外面：頸部細波状文(9条/cm)。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：精。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~1.5mm	外面：7.5YR4/2灰褐。 内面：2.5YR4/黄灰。
71	須恵器	甕	2区	SK1026			2.8				口縁部1/10	外面：頸部細波状文(9条/cm)。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹 雲母 法量：0.1~1.5mm	外面：7.5YR5/1灰。 内面：N6/0灰。

掲載 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (口径・増径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調査技法	特徴	含有物	色調
72	土師器	椀	2区	SK1027	12.4			5.7	4.1		ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。体部、底部ナデ、 コビオサエ。内面：口縁部ヨコナデ。体部、 底部ナデ。外面：口縁部ヨコナデ。頸部 ユビオサエのちヨコナデ。体部ハケ(4条/cm)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(5条/cm)。 (やや厚縁)。体部上ユビオサエのち ラケナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい。 内面：7.5YR6/6。
73	土師器	壺	2区	SK1027	(16.0)	(12.7)		(7.4)			全体の1/7	外面：口縁部ハケ(7条/cm)のちナデのち沈 線(厚縁状)、体部ハケ(7条/cm)のちへ ラミガキ(幅4mm)。幅1.5cm、ヘラケナ デ。体部ハケ(7条/cm)のちナデ。頸部 ハケ(7条/cm)のちナデ。体部ハケ(幅 4.5mm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~6.0mm	外面：5.YR6/6。 内面：5.YR6/3にぶい。
74	須恵器	杯身	2区	SK1027	(10.4)			(3.1)			全体の1/6	外面：口縁部ヨコナデ。体部下、底部回転 ヘラケナデ。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 体部外面自然釉付着。 一部合成。	石英、長石、絹葉母 法量：0.1~0.8mm	外面：5PB6/1青灰。 内面：5PB6/1青灰。
75	須恵器	杯身	2区	SK1027				(4.0)	(9.4)		全体の1/8	外面：口縁部ヨコナデキ、沈線2条。頸部 ヘラミガキ(幅3mm)。内面：口縁部ヨコ ナデ。体部ハケ(幅1.5cm)、ヘラケナ デ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石、絹葉母、黒色塵粒 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR7/4にぶい。 内面：7.5YR8/4。薄黄。
78	弥生 土器	壺	1区	SR1002	(9.6)			(13.2)			口縁部~ 頸部7/8	外面：頸部ヘラミガキ(幅5mm)。体部ヨ コナデ(厚縁状)、体部ハケ(7条/cm)のち ヘラミガキ(幅4mm)。幅1.5cm、ヘラケ ナデ。体部ハケ(7条/cm)のちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~4.5mm	外面：5.YR6/6。 内面：5.YR6/3にぶい。
79	弥生 土器	壺	1区	SR1002		(10.3)		(16.4)			頸部2/3	外面：頸部ヘラミガキ(幅5mm)。体部ヨ コナデ(厚縁状)、体部ハケ(7条/cm)のち ヘラミガキ(幅4mm)。幅1.5cm、ヘラケ ナデ。体部ハケ(7条/cm)のちナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~11.5mm	外面：5.YR7/3にぶい。 内面：5.YR7/4にぶい。
80	弥生 土器	壺	1区	SR1002				(22.0)	6.6		体部~底部 3/5	外面：頸部ヘラミガキ(幅5mm)。体部ヨ コナデ(厚縁状)、体部ハケ(7条/cm)のち ヘラミガキ(幅4mm)。幅1.5cm、ヘラケ ナデ。体部ハケ(7条/cm)のちナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~10.0mm	外面：7.5YR6/6。 内面：7.5YR6/4にぶい。
81	弥生 土器	壺	1区	SR1002	(19.8)			(17.8)			口縁部1/6	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ユビオ サエのち板ナデ。内面：口縁部、頸部ヨ コナデ。体部ヘラケ ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色塵粒、絹葉母 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい。 内面：7.5YR6/4にぶい。
82	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(7.1)	(19.0)		全体の1/5	外面：脚部上ヒタケキ(3~4条/cm)。脚部 下ヨコナデ。内面：脚部上ヘラケナ デ。板ナデ(幅1.5cm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 透かし孔の痕跡あり。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~10.0mm	外面：7.5YR8/6。 内面：7.5YR6/6。
87	弥生 土器	ミニナ ユツ壺	1区	SR1002	3.0			5.5	2.4		ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(6~8条 /cm)内面：口縁部ハケ(12条/cm)のちナ デ。頸部ユビオサエのちナデ。底部ユビ オサエのちナデ。底部ユビオサエ のちナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~3.0mm	外面：5.YR6/6。 内面：5.YR6/6。
88	弥生 土器	壺	1区	SR1002	21.6			6.3			全体の1/15	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(9条/cm) 内面：口縁部ハケ(12条/cm)のちナ デ。接合痕あり。頸部ハケ(6条/cm)のちナ デ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~3.0mm	外面：2.5YR5/6明赤。 内面：5.YR6/6。
89	弥生 土器	壺	1区	SR1002	(20.2)			(4.3)			口縁部1/4	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(9条/cm) 内面：口縁部、頸部ハケ(7条/cm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色塵粒、絹葉母 法量：0.1~2.0mm	外面：5.YR5/4にぶい。 内面：10YR4/3にぶい。 黄。
90	弥生 土器	壺	1区	SR1002	(18.5)	(9.2)		(9.2)			全体の4/5	外面：口縁部ナデ、竹管文。頸部ヘラミガ キ(幅2.5mm)。内面：厚縁のため調整不明。 口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちナ デ。頸部ユビオサエのちナデ。ヘラミガ キの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部反転復元。 頸部内面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~6.5mm	外面：5.YR6/6。 内面：5.YR6/6。
91	弥生 土器	壺	1区	SR1002	12.9			(11.5)			全体の 1/3?	外面：口縁部ヨコナデ。頸部上ヘラミガ キ(幅2.5mm)。頸部下、底部直線文。体 部下ヘラミガキ。内面：口縁部上直線文。 口縁部下ヘラミガキ。頸部ヨコナデ。体 部上ヘラミガキ。体部ユビオサエ、 ハケ(7~9条/cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 円形浮文(2個1対)4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹 葉母 法量：0.1~7.0mm	外面：7.5YR4/3。 内面：7.5YR2/1。

標榜 番号	分類	名称	調査区	出土遺構 (口径)	法量 (径深/径)	法量 (最大径)	法量 (総量)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
92	弥生 土器	壺	1区	SR1002	(6.8)	(19.4)	(17.3)	(5.6)		全体の1/3	外面：頸部ハケ(14条/cm)。体部上ハケ(14条/cm)のうちヘラミガキ(幅3mm)。体部中ヘラミガキ(幅3mm)。体部下ヘラミガキ(幅3mm)。体部上エボサエ、接合痕あり。体部中ハケ(6条/cm)。体部下板ナデ。	密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：10YR6/3にぶい黄褐。 内面：10YR5/3にぶい黄褐。
93	弥生 土器	壺	1区	SR1002		15.4	10.8	4.4		全体の1/4	外面：体部ヘラミガキ(幅約3mm)。底部ナデ。 内面：体部上エボサエ。体部下板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部合成。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5YR5/4にぶい赤褐。 内面：7.5YR5/1褐成。
94	弥生 土器	壺	1区	SR1002			(5.0)	(7.8)		全体の2/3	外面：体部ヘラミガキ(13条/cm)のうちヘラミガキ(幅3mm)。 内面：ヘラミガキ、エボサエ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 体部~底部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：5YR6/6褐。 内面：2.5Y5/3黄褐。
95	弥生 土器	壺	1区	SR1002			(2.8)	(6.0)		底部1/2	外面：体部下蓋縁のため僅かにハケ(10条/cm)の痕跡あり。底部ナデ。 内面：板ナデ(幅1.6cm)。	密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母、黒色珪粒 法量：0.1~5.0mm	外面：10YR5/3にぶい黄褐。 内面：10YR5/4にぶい黄褐。
96	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(16.4)	(13.0)	(20.6)	25.1	4.9	全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヘラミガキ(幅2~3mm)のうちヨコナデ。体部ヘラミガキ(幅2~3mm)。 内面：口縁部ヘラミガキ(幅2mm)。体部エボサエ、エボサエのうちヘラミガキ(幅3~4mm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面黒斑あり。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：10YR6/4にぶい黄褐。 内面：10YR6/4にぶい黄褐。
97	弥生 土器	甕	1区	SR1002	10.4	9.0	11.4	(11.9)	4.1	全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヘラミガキ(幅2~3mm)のうちヨコナデ。体部ヘラミガキ(幅2~3mm)。 内面：口縁部ヘラミガキ(幅2mm)。体部エボサエ、エボサエのうちヘラミガキ(幅3~4mm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面黒斑あり。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：5YR6/6褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
98	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(10.3)	(8.7)	8.3	3.6		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部ハケ(6条/cm)の底ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部、底部板ナデ(幅1.2mm)。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：5YR6/6褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
99	弥生 土器	甕	1区	SR1002	15.7	13.5	19.6	(12.8)		口縁部~ 体部上4/5	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部上タタキ(5条/cm)のうちハケ(5条/cm)。 内面：口縁部ヨコナデ、頸部板ナデ。体部エボサエのち板ナデ。体部エボサエのち板ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい黄褐。 内面：10YR6/4にぶい黄褐。
100	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(16.6)	(13.6)	(9.8)			全体の1/6	外面：口縁部、頸部エボサエのち板ナデ。体部タタキのうちハケ(5条/cm)。 内面：口縁部、頸部板ナデ。体部上エボサエのうちヘラミガキ。体部下ヘラミガキ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 体部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~2.8mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR5/4にぶい黄褐。
101	弥生 土器	甕	1区	SR1002	17.7			(4.2)		口縁部完形	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(6条/cm)。 内面：口縁部ヨコナデ、頸部ヘラミガキ。	焼成：良。密度：良。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：5YR6/6褐。 内面：10YR5/3にぶい黄褐。
102	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(18.0)	(15.0)	(18.6)	(4.9)		口縁部1/6	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部頸縁のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部頸縁のため調整不明。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部黒斑付着。	石英、赤色珪粒 法量：0.1~2.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR6/4にぶい黄褐。
103	弥生 土器	甕	1区	SR1002	15.1	11.6	3.4			口縁部1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(3条/cm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：5YR6/4にぶい黄褐。 内面：5YR6/4にぶい黄褐。
104	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(15.8)	(13.0)	(16.5)	(4.5)		口縁部1/3	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部頸縁のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部頸縁のため調整不明。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：7.5YR7/6褐。 内面：7.5YR7/6褐。
105	弥生 土器	鉢	1区	SR1002	(18.8)	(17.1)	(17.65)	(12.1)		全体の1/3	外面：口縁部、頸部エボサエのちナデ。体部ナデ。 内面：口縁部、頸部、体部上ナデ。体部下ヘラミガキ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部合成。 口縁部穿孔1ヶ所あり(内→外)。体部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~5.5mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口徑)	法量 (腹径・厚径)	法量 (最大径)	法量 (底径)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
106	弥生土器	甕	1区	SR1002				(20.7)		5.1	底部～底部1/3	外面：体部タタキ(5条/3.4cm)のうちハナ(7条/cm)、底部下ハラケズリ。内面：体部下ハラケズリ。底部ハラケズリ。エビオサエ。	焼成：良。一部反転復元。一部反転復元。外面残付着。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：10YR5/3に多い黄褐色。 内面：10YR6/3に多い黄褐色。
107	弥生土器	甕	1区	SR1002				(11.4)		5.4	底部1/3	外面：体部タタキ(5条/2.7cm)のうちハナ(7条/cm)、ハラケズリ。内面：体部タタキのため調整不明瞭。内面：体部下エビオサエ。	焼成：良。密度：良。反転復元。外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/6褐色。 内面：7.5YR6/6褐色。
108	弥生土器	甕	1区	SR1002				(4.7)		3.1	底部近形	外面：体部タタキ(5条/2.7cm)のうちハナ(7条/cm)、ハラケズリ。内面：体部タタキのため調整不明瞭。内面：体部下エビオサエ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～7.6mm	外面：5YR6/8褐色。 内面：2.5YR5/2暗灰黄。
109	弥生土器	甕	1区	SR1002				(5.6)		5.4	底部近形	外面：体部下ハラミガキ。内面：体部下ハラケズリ。	焼成：良。密度：良。底部外面残付着。	石英、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/4に多い褐色。 内面：7.5YR6/4に多い褐色。
110	弥生土器	甕	1区	SR1002				(5.9)		5.7	底部近形	外面：体部ハラミガキ(幅3～5mm)。体部下エビオサエ。内面：体部下板ナナ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：5YR6/6褐色。 内面：5YR6/6褐色。
111	弥生土器	甕	1区	SR1002				3.2		5.6	全体の1/10	外面：体部下板ナナ。底部ナナ。内面：底部エビオサエのうちナナ。	焼成：やや不良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：7.5YR6/4に多い褐色。 内面：10YR6/4に多い黄褐色。
112	弥生土器	鉢?	1区	SR1002				(3.2)		5.1	底部近形	外面：体部下ハラ(13条/cm)。底部ナナ。内面：底部板ナナ(幅1.6mm)。	焼成：やや不良。密度：良。一部反転復元。外面残付着。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：10YR6/4に多い黄褐色。 内面：7.5YR6/4に多い褐色。
113	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(29.8)		(30.6)	(6.2)			口縁部のみ2/3	外面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。杯部下ハラミガキ(幅3mm)。内面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅3.8mm)。杯部下ハラミガキ(幅3mm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。口縁部外面残付着。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～6.5mm	外面：5YR7/6褐色。 内面：5YR7/6褐色。
114	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(28.8)			(5.9)			口縁部2/9	外面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。杯部下ハラミガキ(幅2.5cm)。内面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～1.0mm	外面：5YR6/6褐色。 内面：5YR6/6褐色。
115	弥生土器	高杯	1区	SR1002	29.0			6.5			全体の1/8	外面：厚みが薄く調整不明。内面：ハラ(6～8条/cm)のうちナナ(厚減のため調整不明)。	焼成：不良。密度：良。反転復元。	石英、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：5YR6/6褐色。 内面：5YR6/6褐色。
116	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(24.5)			(3.9)			全体の1/6	外面：口縁部ヨコナナ。杯部厚減のため調整不明。内面：杯部厚減のため調整不明。	焼成：やや不良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/6褐色。 内面：5YR6/6褐色。
117	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(24.0)			(4.1)			全体の1/8	外面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。杯部下ハラミガキ(幅2.5cm)。内面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～3.5mm	外面：10YR6/4に多い黄褐色。 内面：2.5YR3/1黒褐色。
118	弥生土器	高杯	1区	SR1002	14.6			13.8		9.9	ほぼ近形	外面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。杯部下ハラミガキ(幅2.5cm)。内面：口縁部ヨコナナ。杯部上ハラミガキ(幅2.5cm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：5YR6/6褐色。 内面：2.5YR6/8褐色。
119	弥生土器	高杯	1区	SR1002				9.6			脚部2/3	外面：脚部ハラミガキ(幅約3mm)。内面：脚部上ハラケズリ。脚部下ハラケズリのうちハラケ(8条/cm)。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～3.5mm	外面：7.5YR6/6明褐色。 内面：7.5YR6/4に多い褐色。
120	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(14.2)		9.4	脚部近形	外面：杯部下ハラミガキ。脚部上ハラミガキ(幅約3mm)。内面：杯部下ナナ。脚部上ハラミガキ(幅約3mm)。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。	石英、長石、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：5YR6/6褐色。 内面：5YR6/6褐色。
121	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(17.1)			全体の1/2	外面：厚減のため調整不明。内面：厚減のため調整不明。	焼成：やや不良。密度：粗。反転復元。透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：5YR6/6褐色。 内面：5YR6/6褐色。

標本番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (口径・残高)	法量 (最大径)	法量 (結構)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
122	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(3.9)			不明	外面：胴部ヘラミガキ(幅4mm)、脚部下ヨコナデ、沈線1条。 内面：胴部ヘラケズリ、ハテのちナデ。	焼成：良。密度：良。 断面垂直。 外面に線刻あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR5/3にぶい橙。 内面：7.5YR4/3焼。
123	須恵器	杯身	1区	SR1002	(13.0)			(3.3)			口縁部1/5	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1~1.5mm	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
126	須恵器	杯身	1区	SR1002	13.4			(3.3)			口縁部~ 体部1/6	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1~1.0mm	外面：N6/6灰。 内面：N6/6灰。
127	弥生土器	壺	1区	SR1002	(19.2)	(12.2)	(32.2)	(29.8)			体部1/3	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハテ(5条/cm)。体部上タタキのちハテ(5条/cm)のちヘラミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヨコナデのちハテ(5条/cm)。体部エビスサエ、ハテ(5条/cm)のちヘラケズリ。	焼成：やや不良。密度：粗。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒 法量：0.1~7.0mm	外面：7.5YR7/4にぶい橙。 内面：2.5YR6/8焼。
128	弥生土器	壺	1区	SR1002	(21.4)			(7.0)			全体の1/3	外面：口縁部ヘラ庄痕文、円形浮文(2幅1対)。頸部ヨコナデ、ヘラミガキ(幅3mm)ヨコナデ、断面三角形突帯(2条)、楕状浮文(本1対)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヘラミガキ(幅3.5mm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：7.5YR7/4にぶい橙。 内面：10YR7/4にぶい黄橙。
129	弥生土器	壺	1区	SR1002	19.4	9.6		12.7			頸部2/3	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ヘラミガキ(幅約3mm)、体部上、木口刺突文。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部エビスサエのちエビスナデ。頸部下エビスサエ、接合痕あり。体部エビスサエ。	焼成：不良。密度：粗。 一部反転復元。 一部合成。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5.YR6/6焼。 内面：5.YR5/6刺帯。
130	弥生土器	壺	1区	SR1002	20.2	10.2		(13.5)			口縁部4/5	外面：口縁部エビスサエのちヨコナデ。頸部上エビスサエのちハテ(7条/cm)。頸部下ハテ(7条/cm)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部エビスサエのちハテ(12条/1.8cm)、(5条/cm)のちヘラミガキ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒煙あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~9.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5.YR6/6焼。
131	弥生土器	壺	1区	SR1002	19.0	5.9		(9.6)			口縁部ほぼ 完形	外面：口縁部ヨコナデ。頸部エビスサエのちナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5.YR6/6焼。 内面：5.YR5/6刺帯。
132	弥生土器	壺	1区	SR1002	13.0	10.0	13.6	(6.6)			口縁部5/6	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.7mm	外面：5.YR7/6焼。 内面：5.YR7/6焼。
133	弥生土器	壺	1区	SR1002		(11.0)		(10.6)			頸部4/5	外面：頸部ナデ、肘付突帯3条。体部上ヘラミガキ(幅4mm)。 内面：頸部上板ナデ(幅1.5cm)。頸部下、体部上エビスサエのちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR5/4にぶい橙。
134	弥生土器	壺	1区	SR1002	8.4	8.35	11.2	(5.5)			口縁部~ 体部1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ヨコナデのちヘラミガキ(幅2~3mm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部エビスサエ、エビスナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 透し孔あり(1ヶ所わずかに残る)。 外面黒煙あり。 外面残付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：5.YR6/6焼。 内面：5.YR6/6焼。
135	弥生土器	壺	1区	SR1002	(8.4)	(7.7)	(14.2)	(11.7)			全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラミガキ(幅3mm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
136	弥生土器	壺	1区	SR1002			15.2	14.3			体部1/3	外面：体部ヘラミガキ(幅3~4mm)。 内面：体部上刺帯のため調整不明。体部中ヘラケズリ。体部下ヘラケズリのち板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：10YR5/2刺帯。 内面：10YR4/1刺帯。
137	弥生土器	壺	1区	SR1002			(28.0)	(28.4)	9.6		全体の2/3	外面：体部ハテ(7条/cm)。底部ナデ。 内面：体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 一部~底部外面黒煙あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：5.YR6/6焼。 内面：2.5Y5/7刺帯。

標記 番号	分類	名称	調査区	出土運構	法量 (口径)	法量 (頸径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
138	弥生 土器	壺	1区	SR1002			(23.2)	(16.0)	5.3		全体の2/3	外面：体部タタキ(3条/cm)のうちハケのうちヘラミガキ(幅2mm)。底部ナデ。内面：体部上ナデ。体部下ハケ(13条/cm)。底部エビオサエ、エビナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。外面黒煙あり。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~4.4mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。内面：7.5YR5/3にぶい褐。
139	弥生 土器	壺	1区	SR1002				(5.2)	(7.6)		底部1/2	外面：体部ハケ(7条/cm)のうちナデ。底部ナデ。ヘラナデ。内面：ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。内面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：5.YR6/6褐。内面：10YR4/1褐灰。
140	弥生 土器	壺	1区	SR1002				(8.7)	6.8		全体の3/4	外面：体部下タタキ(3条/cm)のうちハケ(8条/cm)。底部タタキ(3条/cm)のうちナデ。内面：体部下ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：10YR5/2灰黄褐。内面：10YR6/3にぶい黄褐。
141	弥生 土器	甕	1区	SR1002	14.2	11.6	15.1	18.0	5.4		全体の3/5	外面：口縁部ヨコナデ。体部、底部タタキ(2条/cm)のうちナデ。内面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部上ヘラナデのうちナデ。体部下ヘラナデ。底部エビオサエのうちナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。内面：5.YR6/4にぶい褐。
142	弥生 土器	甕	1区	SR1002	11.9	9.6	12.9	15.5	4.3		全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(4条/1.4cm)のうち板ナデ。底部ナデ。内面：口縁部ヨコナデ。頸部エビオサエのうちナデ。体部、底部ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。外面黒煙あり。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~9.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。内面：7.5YR5/4にぶい褐。
143	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(19.8)	(15.9)		(3.7)			全体の1/5	外面：口縁部ヨコナデ。頸部エビオサエ、エビナデ。体部ハケ(13条/cm)。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。ため調整不明。ヘラナデの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~9.0mm	外面：5.YR5/6明赤褐。内面：7.5YR6/6橙。
144	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(16.3)			(4.4)			口縁部1/2	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(8条/cm)。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：10YR6/4にぶい黄褐。内面：10YR6/4にぶい黄褐。
145	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(16.6)	(13.6)		(4.6)			口縁部のみ 1/4	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(6条/cm)。内面：口縁部ヨコナデのうちハケ(6条/cm)。頸部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。外面の一部煤付着。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：10YR7/2にぶい黄褐。内面：10YR8/2灰白。
146	弥生 土器	甕	1区	SR1002	16.9	13.7		(6.2)			口縁部1/5	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部厚減のため調整不明。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデ。	焼成：やや不良。密度：粗。反転復元。口縁部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5.YR5/6明赤褐。内面：7.5YR6/6橙。
147	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(15.0)	(12.4)	(15.4)	(6.5)			口縁部1/4	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキのうちハケ。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。頸部内面に工具痕あり。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~2.3mm	外面：5.YR7/6橙。内面：5.YR7/6橙。
148	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(15.0)	(12.2)		(10.5)			口縁部1/4	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデのうちハケ。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。体部内外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：5.YR7/6橙。内面：5.YR7/6橙。
149	弥生 土器	甕	1区	SR1002	14.6	11.4		(8.4)			口縁部1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラナデ。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。口縁部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。内面：7.5YR5/4にぶい褐。
150	弥生 土器	甕	1区	SR1002	(14.6)	(12.8)		(5.6)			口縁部2/5	外面：口縁部、頸部、体部ヨコナデ。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：2.5YR6/8橙。内面：5.YR6/8橙。
151	弥生 土器	甕	1区	SR1002	14.3	12.0		(7.7)			口縁部1/2	外面：口縁部ヨコナデ、頸部ハケ(6条/cm)、体部タタキ(3条/cm)のうちハケ(6条/cm)。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部上板ナデ。体部下ヘラナデ(幅1.8cm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR7/6橙。内面：7.5YR6/4にぶい橙。
152	弥生 土器	甕	1区	SR1002	13.8	11.3		(8.8)			全体の2/3	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(3条/cm)のうちハケ(9条/cm)。内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/3にぶい褐。内面：7.5YR5/3にぶい褐。
153	弥生 土器	甕	1区	SR1002	14.6	11.7		(4.0)			全体の5/6	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(7条/cm)。内面：口縁部ヨコナデ。頸部エビオサエ、ヘラナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。外面口縁部~体部と内面口縁部煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑紋、絹雲母 法量：0.1~7.6mm	外面：2.5YR5/6明赤褐。内面：7.5YR6/6橙。

標記 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (胴径・胴径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
154	弥生 土器	甕	1区	SR1002				(4.2)	7.0		底部完形	外面：体部ハケ。底部ハケのうちナデ。 内面：体部板ナデ。底部ユビナデ。 外面：体部ハケ(7条/cm)。底部ハラケス リ。 内面：ハラケスリ。	焼成：良。密度：良。 内外面黒付着。 密度：良。 一部反転復元。合成。 外面黒付着。	石英、長石、結晶片岩 法量：0.1~5.6mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：10YR4/2灰黄褐。 内面：10YR4/2灰黄褐。
155	弥生 土器	甕	1区	SR1002			19.8	(18.3)	4.8		体部~底部 1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部壁減のため調 整不明。底部ユビナデ。体部ヨコナデ。 内面：ハラケスリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
156	弥生 土器	鉢	1区	SR1002	(13.1)			8.1	4.3		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ハケ(12条 /cm)のうちハラミガキ(幅2~5mm)。体 部下ハラミガキ。底部ナデ。 内面：口縁部、体部下板ナデ。 ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。 外面の一部黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
157	弥生 土器	鉢	1区	SR1002				6.7	4.9		全体の2/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ハケ(12条 /cm)のうちハラミガキ(幅2~5mm)。体 部下ハラミガキ。底部ナデ。 内面：口縁部、体部下板ナデ。底部ユビナ デ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 底面穿孔あり(外→内)。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
158	弥生 土器	鉢	1区	SR1002				(5.7)	5.2		底部完形	外面：口縁部ヨコナデ。口縁部下段縁1条。 杯部上ハラミガキ(幅1mm)。杯部下段 縁のため調整不明。脚部上ハラミガキ(幅 3mm)。脚部下ヨコナデ。杯部下ハラミガキ (幅3mm)。脚部上ハラケスリ。脚部下ヨ コナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
159	弥生 土器	高杯	1区	SR1002	(17.3)			11.8	(11.6)		全体の3/5	外面：口縁部ヨコナデ。杯部ハラミガキ(幅 3~5mm)。脚部各部分ナデ。脚部上ハラミ ガキ(幅1.5~2mm)。脚部下ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部壁減のため調 整不明。僅かにハラミガキの痕跡あり。脚部 上ハラケスリ。脚部下板ナデ。	焼成：良。 一部反転復元。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑 粒、絹雲母 法量：0.1~4.6mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
160	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				15.7	12.0	7.7	全体の2/3	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上段縁1条。 ハラミガキ(幅3mm)。脚部上ハラミガキ (幅3mm)。脚部下ナデ。 内面：杯部ハラミガキ(幅3mm)。脚部上 ユビナデのうちハラケスリ。脚部下ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 一部合成。 口縁部外面黒斑あり。 透かし孔4ヶ所あり。(外→内)。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑 粒、絹雲母 法量：0.1~4.6mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
161	弥生 土器	高杯	1区	SR1002	(14.5)			(11.7)	(11.7)		全体の1/2	外面：口縁部ヨコナデ。杯部ハラミガキ(幅 3mm)。脚部上ハラミガキ(幅3mm)。脚部上 ユビナデのうちハラケスリ。脚部下ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 一部合成。 口縁部外面黒斑あり。 透かし孔4ヶ所あり。(外→内)。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑 粒、絹雲母 法量：0.1~4.6mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
162	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(34.6)	(5.7)		全体の1/9	外面：口縁部ヨコナデ。杯部壁減のため調 整不明。ハラミガキの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：2.5YR3/6明赤褐。
163	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(29.4)	(5.0)		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ハラミガキ(幅 2mm)。杯部下ハラミガキ(幅2mm)。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヨコナデの ちハラミガキ(幅2mm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~4.6mm	外面：5YR5/4にぶい赤褐。 内面：5YR6/4にぶい橙。
164	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				29.2	(5.1)		口縁部1/4	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ハラミガキ(幅 2mm)。杯部下ハラミガキ(幅2mm)。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヨコナデの ちハラミガキ(幅1~2mm)。杯部下ナデ のうちハケ(4条/0.6cm)。	焼成：良。密度：良。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
165	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(23.6)	(4.3)		口縁部1/4	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~8.0mm	外面：5YR7/4にぶい橙。 内面：10YR6/3にぶい黄橙。
166	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(8.2)			杯部 ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ハラミガキ。 杯部下段縁のため調整不明。杯部上ハラミガキ。 杯部下 段縁のため調整不明。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹 雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。

探掘 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (胴径・頸径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
167	弥生 土器	高杯	1区	SR1002	20.8			(6.2)			全体の3/4	外面：口縁部ヨコナテ。杯部ヘラミガキ(幅5mm)。内面：口縁部エボサエのちヨコナテ。杯部ヘラミガキ(幅5mm)。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~3.2mm	外面：5 YR6/4にぶい橙。 内面：5 YR6/6橙。	
168	弥生 土器	高杯	1区	SR1002	(18.0)			(6.5)			全体の2/3	外面：口縁部ヨコナテ。杯部上ヘラミガキ。杯部下ヘラミガキ。内面：口縁部、杯部上ヘラミガキ。杯部下厚減のため調整不明。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~3.5mm	外面：5 YR5/6明赤褐。 内面：10YR5/4にぶい黄褐。	
169	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				10.0	18.5		全体の1/3	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ(幅2.5mm)。杯部下ヘラミガキのちヨコナテ。洗線3条。内面：杯部下ヘラミガキ(幅6条/cm)のちヘラミガキ。脚部上エボサエのちエボサエ。脚部下ヘラミガキ(幅6条/cm)。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：10YR6/3にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。	
170	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(11.0)	17.35		脚部9/10	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ(幅2.5mm)。杯部下ヘラミガキのちヨコナテ。洗線3条。内面：杯部ナテ。脚部上ヘラミガキ(幅5条/cm)。脚部下ヘラミガキのちヨコナテ。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/3にぶい橙。	
171	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(10.1)	(10.3)		全体の1/2	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ。脚部下ヨコナテ。内面：杯部、脚部上ヘラミガキ。脚部下ヨコナテ。	石英、赤色珪粒、絹雲母、黒色 珪粒 法量：0.1~3.0mm	外面：5 YR7/4にぶい橙。 内面：5 YR7/6橙。	
172	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(12.6)			全体の1/3	外面：杯部下、脚部上ヘラミガキ(幅4mm)。杯部上ヘラミガキ(幅4mm)。脚部上ヘラミガキのちナテナ。内面：杯部ヘラミガキ(幅4mm)。脚部上ヘラミガキ(幅4mm)。脚部上ヘラミガキのちナテナ。	石英、赤色珪粒、絹雲母、黒色 珪粒 法量：0.1~3.0mm	外面：5 YR7/4にぶい橙。 内面：5 YR7/6橙。	
173	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(4.7)	16.2		脚部2/5	外面：脚部上ヘラミガキ(幅1~2mm)。脚部下ヘラミガキ(幅1~2mm)。洗線3条。内面：脚部上ヘラミガキ(幅10条/1.7cm)。脚部上ヘラミガキのちナテナ。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5 YR6/6橙。 内面：5 YR6/6橙。	
174	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				7.5	14.8		全体の1/4	外面：脚部上ヘラミガキ(幅3mm)。洗線1条。内面：脚部上ヘラミガキ(幅3mm)。脚部上ヘラミガキのちナテナ。脚部上ヘラミガキのちナテナ。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：7.5YR6/3にぶい橙。 内面：7.5YR6/3にぶい橙。	
175	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(7.4)	13.8		脚部2/3	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ(幅2~4mm)。脚部下ヨコナテ。内面：杯部下ヘラミガキ(幅3~4mm)。脚部上エボサエ。脚部中板ナテ。脚部下ヨコナテ。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：5 YR6/6橙。 内面：5 YR6/6橙。	
176	弥生 土器	高杯	1区	SR1002				(7.4)	(11.5)		脚部2/3	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ。脚部下厚減のため調整不明。内面：杯部ナテ。脚部中板ナテ。脚部下ヨコナテ。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：5 YR5/6明赤褐。 内面：5 YR6/6橙。	
184	土師器	把手	1区	SR1002	長さ5.8	幅5.4	高さ6.5				把手のみ	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ。脚部下厚減のため調整不明。内面：杯部ナテ。脚部中板ナテ。脚部下ヨコナテ。	石英、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~5.5mm	外面：5 YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR6/8明橙。	
185	弥生 土器	壺	1区	SR1002	17.3	8.4	20.5	(17.5)			口縁部~ 体部1/2	外面：口縁部ヨコナテ。頸部上ヘラミガキ(幅2~4mm)。頸部下ヘラミガキ(幅7条/cm)のち貼付突起。体部上ヘラミガキ(幅7条/cm)。体部下ヘラミガキ(幅2~3.5mm)。内面：口縁部ヨコナテ。頸部板ナテ。体部エボサエ、エボサエのち板ナテ。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：5 YR6/6橙。 内面：5 YR6/6橙。	
186	弥生 土器	壺	1区	SR1002	19.4	10.3		(10.1)			口縁部1/4	外面：口縁部ヨコナテ。頸部ナテ(幅2.5~4cm)。内面：口縁部ナテ。頸部ヘラミガキ。	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：10YR6/4にぶい黄褐。 内面：5 YR6/6橙。	
187	弥生 土器	壺	1区	SR1002	6.3	14.35	(17.6)	5.85			(ほぼ)完成形	外面：頸部、体部上厚減のため調整不明。体部下ヘラミガキ(幅4.5mm)。底部ナテ。内面：頸部ナテ。体部上エボサエ。体部下板ナテ。	石英、結晶片岩、赤色珪粒 法量：0.1~3.7mm	外面：2.5YR/3淡黄。 内面：2.5YR/2R白。	
188	弥生 土器	壺	1区	SR1002	(10.1)	(25.9)	(20.0)				全体の4/5	外面：頸部ヘラミガキ(幅4mm)、ヨコナテ。体部タタキのちヘラミガキ(幅4mm)。内面：頸部、体部エボサエ、エボサエ	石英、結晶片岩、赤色珪粒、絹雲母 法量：0.1~10.0mm	外面：5 YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR/1暗灰。	

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (口径)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
188	弥生土器	壺	1区	SR1002					(2.6)	7.7			底部1/2	外面：体部ハケ(9~10条/cm)のちヘラミカキ(幅3~4mm)。底部ナデ。内面：厚縁のため調整不明。僅かにヘラミカキの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。反転復元。外面黒煙あり。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：5YR5.6明赤褐。内面：7.5YR4.2灰褐。
190	弥生土器	甕	1区	SR1002	18.4	13.8			2.9				口縁部2/3	外面：ヨコナデ。内面：ヨコナデ。	焼成：やや不良。密度：粗。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：5YR4.6赤褐。内面：5YR6.6橙。
191	弥生土器	鉢	1区	SR1002	(13.3)				4.7	3.7			全体の3/4	外面：口縁部ヨコナデ。体部ヘラミカキ。底部ナデ。内面：口縁部ヨコナデ。体部下板ナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。	石英、長石、絹雲母 法量：0.1~3.5mm	外面：5YR4.6赤褐。内面：5YR4.6赤褐。
192	土師器	高杯	1区	SR1002					5.3	19.0			脚部1/3	外面：脚部上ヘラミカキ(幅1~3mm)。脚部下ヨコナデ。内面：脚部上板ナデのちナデ。脚部下ヨコナデ。	焼成：やや不良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~9.5mm	外面：10YR6.3にぶい黄橙。内面：10YR6.4にぶい黄橙。
193	弥生土器	高杯	1区	SR1002					(8.8)	(12.0)			全体の1/3	外面：杯部、脚部ハケのちヘラミカキ。脚部上沈線3条。脚部下沈線2条。内面：杯部ヘラミカキ。脚部上ヘラミカキ。脚部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。透かし孔4ヶ所あり。脚部内外面残付着。	石英、長石、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：5YR5.6明赤褐。内面：5YR5.6明赤褐。
194	弥生土器	高杯	1区	SR1002					(8.2)	12.2			底部2/3	外面：杯部ヘラミカキ(幅3mm)。脚部ヘラミカキ(幅3mm)。脚部下ヨコナデ。内面：杯部厚縁のため不明。ヘラミカキの痕跡あり。脚部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、長石、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：5YR6.6橙。内面：5YR6.6橙。
195	土製品	土埴	1区	SR1002	長さ3.3	幅2.3	高さ2.3	孔径0.35					完形	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(5条/cm)のちナデ。内面：頸部、体部板ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~1.4mm	外面：10YR2.1黒。内面：10YR6.4にぶい黄橙。
196	土師質土器	鍋	2・3区	SR1004	(29.3)				(7.1)				口縁部1/9	外面：口縁部ヨコナデ。体部エビオサエのち板ナデ(幅1.5cm)。内面：口縁部ヨコナデ。体部板ナデ(幅1.5cm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：10YR7.2にぶい黄橙。内面：10YR6.2灰黄褐。
197	土師質土器	鍋	2・3区	SR1004	(27.8)				(7.7)				全体の1/9	外面：口縁部エビオサエ、ヨコナデ。体部エビオサエ、ヨコナデのちハケ(3条/cm)。	焼成：良。密度：良。内外面残付着。	石英、長石、絹雲母、花崗岩 法量：0.1~5.5mm	外面：10YR5.2灰黄褐。内面：10YR3.1黒褐。
198	土師質土器	鍋	2・3区	SR1004					(7.3)				不明	外面：口縁部エビオサエ、ヨコナデ。体部エビオサエ、ヨコナデのちハケ(3条/cm)。	焼成：やや不良。密度：良。内外面残付着。	石英、長石、結晶片岩 法量：0.1~3.0mm	外面：5Y3.1オリーブ黒。内面：2.5Y6.1黒灰。
199	瓦器	椀	2・3区	SR1004					(3.4)	6.5	1.0		底部4/5	外面：体部エビオサエのちヘラミカキ(幅3.5mm)。底部、高台部ヨコナデ。貼付高台。内面：ヘラミカキ(幅2~4mm)。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、長石、結晶片岩 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR6.3にぶい橙。内面：7.5YR6.3にぶい橙。
200	土師器	杯	2・3区	SR1004	(14.8)				3.5	(10.0)			全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。内面：口縁部、体部回転ナデ。エビオサエ、添付着。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5YR6.4にぶい橙。内面：7.5YR6.3にぶい橙。
201	土師器	杯	2・3区	SR1004	(11.4)				2.65	7.9			全体の1/4	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：5YR6.4にぶい橙。内面：7.5YR6.4にぶい橙。
202	土師器	皿	2・3区	SR1004	(9.6)		(10.4)		1.2	(7.0)			全体の1/4	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。板目圧痕。内面：口縁部、体部回転ナデ、底部ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：7.5YR8.3黄橙。内面：5YR8.3黄橙。
203	土師器	皿	2・3区	SR1004	(10.4)				(1.8)	(9.2)			全体の1/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデのちナデ。	焼成：良。密度：精。反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：10YR5.2灰黄褐。内面：10YR5.2灰黄褐。
204	土師器	皿	2・3区	SR1004	(10.4)				1.9	(7.8)			全体の1/3	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：5YR7.4にぶい橙。内面：5YR7.3にぶい橙。
205	土師器	皿	2・3区	SR1004	9.8				1.1	8.1			ほぼ完形	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。内面：板目圧痕。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色塵粒、絹雲母 法量：0.1~2.5mm	外面：5YR5.6明赤褐。内面：5YR6.6橙。

標榜 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 (口径)	法量 (口径)	法量 (最大径)	法量 (器高)	法量 (底径)	法量 (高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
206	土師器	皿	2・3区	SR1004	(10.0)			1.6	(7.5)			全体のみ2区	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：5 YR6/6橙。 内面：7.5 YR6/4にぶい橙。
207	土師器	高台付皿	2・3区	SR1004	9.6			2.9	(6.0)	1.8	高台部以外部分ナゾ。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5 YR5/2R褐。 内面：7.5 YR5/2R褐。	
208	土師器	高台付皿	2・3区	SR1004				2.5	6.0	1.5	全体のみ2区	焼成：やや不良。密度：精。 高台部外面焼付着。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1~3.0mm	外面：5 YR6/4にぶい橙。 内面：7.5 YR5/3にぶい橙。	
209	土師器	高台付皿	2・3区	SR1004				2.7	8.2	1.7	底部1/2	外面：体部、底部回転ナゾ。高台部ナゾ。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。 内外面焼付着。	石英、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：5 YR6/6橙（高台部） YR7/2にぶい黄橙。 内面：5 YR6/6橙。
210	土師器	甕	2・3区	SR1004	(15.5)	(13.6)		(8.8)			全体のみ6区	外面：口縁部、頸部ヨコナゾ。体部ナゾ（外面に凹形の焼付着により調整不明）。 内面：ヨコナゾ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。 内外面焼付着。	石英、長石、結晶片岩、赤色燧石、絹雲母、砂岩 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5 YR6/2R褐。 内面：7.5 YR6/2R褐。
211	黒色土器	杯	2・3区	SR1004	(15.5)			(3.1)			口縁部1/5	外面：回転ナゾ。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 黒色土器B類。	長石、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：N2/0黒。 内面：N2/0黒。
212	黒色土器	碗	2・3区	SR1004				(1.5)	7.2	0.8	底部空形	外面：ナゾ。 内面：ナゾ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 黒色土器B類。	石英、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：N3/0暗灰。 内面：N3/0暗灰。
213	黒色土器	碗	2・3区	SR1004				(3.1)	6.3	0.6	底部1/4	外面：体部回転ナゾのちへラミガキ（幅約2.5mm）。底部回転ナゾ。高台部回転ナゾ。 内面：回転ナゾのちへラミガキ（幅2~4mm）。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 黒色土器B類。	石英、絹雲母 法量：0.1~2.0mm	外面：N3/0暗灰。 内面：N2/0黒。
218	土師器	甕	2・3区	SR1004	(13.4)			(10.5)			口縁部1/4	外面：壁線のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナゾ。体部ナゾのちへラミガキ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色燧石 法量：0.1~3.5mm	外面：5 YR6/4にぶい橙。 内面：2.5 Y5/1黄灰。
219	須恵器	杯蓋	2・3区	SR1004	14.1			(4.7)			全体のみ5区	外面：口縁部、体部下回転ナゾ。体部上、大径部回転ナゾ。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1~2.0mm	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
220	須恵器	杯身	2・3区	SR1004				(2.1)			底部1/4	外面：体部回転ナゾ。底部回転ナゾ。 内面：回転ナゾのちナゾ。	焼成：良。密度：精。 底部外面にへラ記号あり。	石英、長石、黒色燧石 法量：0.1~3.0mm	外面：7.5 Y6/1灰。 内面：7.5 Y7/1灰白。
221	須恵器	杯身	2・3区	SR1004				(1.9)			全体のみ3/4	外面：回転ナゾ。 内面：体部回転ナゾ。底部回転ナゾのちへラミガキ。	焼成：やや不良。密度：良。 底部外面にへラ記号あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色燧石 法量：0.1~2.5mm	外面：5 Y7/1灰白。 内面：5 Y7/1灰白。
222	須恵器	甕	2・3区	SR1004				(8.1)			不明	外面：回転ナゾ、欄指文。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：精。	石英、絹雲母、黒色燧石 法量：0.1~2.0mm	外面：N3/0暗灰。 内面：10 Y5/1灰。
223	土師器	高台付皿	2区	包含層	14.4			6.0	8.1	2.5	全体のみ9/10	外面：口縁部、体部、底部回転ナゾ。高台部回転ナゾ。 内面：回転ナゾ。	焼成：良。密度：良。	石英、長石、結晶片岩、赤色燧石 法量：0.1~6.8mm	外面：5 YR7/6橙。 内面：5 YR7/6橙。
224	陶器	碗	1区	包含層				2.3	5.0	1.1	底部1/2	外面：口縁部、体部、底部回転ナゾ。高台部回転ナゾ。削り出し高台。 内面：回転ナゾ。模様あり。 内外面焼付あり。	焼成：良。密度：精。 一部反転復元。 内外面焼付あり。	石英、絹雲母 法量：0.1~1.0mm	外面：8 Y6.5/3Sグレイみの黄緑。 内面：7.5 YR6/6橙赤褐。
225	土師器	ミニナエテ土器	2区	包含層	(2.2)			1.4	1.9		全体のみ2/3	外面：ヨビオサエ、ユビナゾ。 内面：ヨビオサエ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒面あり。	石英、絹雲母 法量：0.1~1.5mm	外面：10 YR6.4にぶい黄橙。 内面：10 YR6.4にぶい黄橙。
226	土製品	紡錘車	1区	包含層	長さ7.5	幅7.4	高さ3.8				ほぼ空形	外面：ヨビオサエ。	石英、赤色燧石、絹雲母 法量：0.1~1.5mm		

第13表 南庄遺跡 石器・石製品観察表

掲載 番号	名称	調査区	出土遺構	法量 長さ (cm)	法量 幅 (cm)	法量 厚さ (cm)	法量 重さ (g)	石材	平面形態	欠損部位	備考
13	石庖丁	1区	SB1001	7.3	12.35	1.0	149.4	結晶片岩	平刃 単刃	完形	
14	石庖丁 (未製品)	1区	SB1001	12.8	6.3	1.9	165.4	結晶片岩			
15	石庖丁 (未製品)	1区	SB1001	6.8	10.8	1.9	92.4	結晶片岩	単刃		
16	石庖丁 (未製品)	1区	SB1001	8.1	6.1	0.8	49.8	結晶片岩			
17	砥石	1区	SB1001	(9.6)	(6.75)	(3.0)	(187.3)	砂岩		上側 右側 下側	被熱により変色
18	砥石	1区	SB1001	6.5	7.0	4.8	318.1	砂岩		右側 下側 左側	被熱により変色
19	台石	1区	SB1001	45.1	17.5	7.2	8.65kg	結晶片岩			
20	石核	1区	SB1001	48.1	27.05	7.4	15.5kg	結晶片岩			
21	石核	1区	SB1001	71.8	26.8	6.7	16.0kg	結晶片岩			
22	石核	1区	SB1001	36.7	24.9	5.7	8.8kg	結晶片岩			
23	石鏃	1区	SD1002	2.0	1.45	0.25	0.4	サヌカイト	凹基	完形	
24	スクレイパー	1区	SD1002	4.85	7.0	1.1	32.3	サヌカイト		完形	
25	凹石	1区	SD1002	10.9	8.7	5.45	703.3	結晶片岩		完形	
27	石鏃	1区	SD1003	3.0	2.0	0.55	2.7	サヌカイト	凸基	先端	
29	台石	1区	SD1008	44.7	20.7	4.3	5.53kg	結晶片岩			
64	石鏃	2区	SD1022	2.0	1.25	0.25	0.6	サヌカイト	凹基	完形	
77	砥石	2区	SP1049	7.5	3.9	4.6	121.0	滑石		完形	
83	打製石庖丁	1区	SR1002	5.0	9.5	0.5	41.0	結晶片岩	平刃 複刃	完形	
84	敲石	1区	SR1002	7.5	5.1	4.7	241.9	砂岩		上側	
85	敲石	1区	SR1002	23.2	6.15	4.0	846.0	結晶片岩		上側	
86	敲石	1区	SR1002	14.1	3.85	2.35	172.1	泥岩		下側	
123	磨製石庖丁	1区	SR1002	(5.2)	(12.8)	(0.65)	(76.0)	結晶片岩	凸刃		
124	石杵	1区	SR1002	13.0	7.35	8.75	1093.6	砂岩		上側	朱付着
177	石鏃	1区	SR1002	(3.5)	(1.9)	0.55	3.1	サヌカイト	凸基	基部	
178	石鏃	1区	SR1002	3.2	1.6	0.65	2.9	サヌカイト	有茎	完形	
179	打製石庖丁	1区	SR1002	6.0	18.7	1.8	231.2	結晶片岩	平刃 複刃	完形	
180	磨製石斧	1区	SR1002	10.8	5.0	1.9	201.8	砂質片岩?		完形	
181	砥石	1区	SR1002	14.15	6.35	5.0	742.1	砂岩		左側	
182	敲石	1区	SR1002	10.35	5.25	1.0	98.1	結晶片岩		完形	
183	敲石	1区	SR1002	13.3	7.1	4.2	669.0	石英		完形	赤色の付着物あり
227	敲石	1区	包含層 (R-18)	12.55	2.35	1.5	71.9	砂岩		完形	

第14表 南庄遺跡 鉄器・金属製品観察表

掲載 番号	名称	調査区	出土遺構	法量 長さ (cm)	法量 幅 (cm)	法量 厚さ (cm)	法量 重さ (g)	備考
66	釘	2区	SG1002EP 1	6.1	1.25	1.6	17.2	
76	釘	2区	SP1030	(5.2)	(2.15)	(1.5)	(11.8)	
214	刀子	2区	SR1004	3.6	2.9	1.55	13.9	

第15表 南庄遺跡 木器・木製品観察表

掲載 番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 長さ (cm)	法量 幅 (cm)	法量 厚さ (cm)	型式	木取り	表面の状態	特徴1 (残存部に関する情報)	特徴2 (形状に関する情報)	備考
215	祭祀具	斎串	2区	SR1004	19.7	1.2	0.25	CI	板目	やや滑らか	ほぼ完形	表裏両面を細かく削り成形。上端は丸く成形。	
216	祭祀具	斎串	2区	SR1004	(14.0)	1.25	0.25	C	板目	やや滑らか	上端部欠損。	下部先端を細く尖らせている。	
217	部材	板	2区	SR1004	(6.5)	2.1	0.45		板目	やや滑らか	上端部欠損。		

写真図版



調査前風景



作業風景

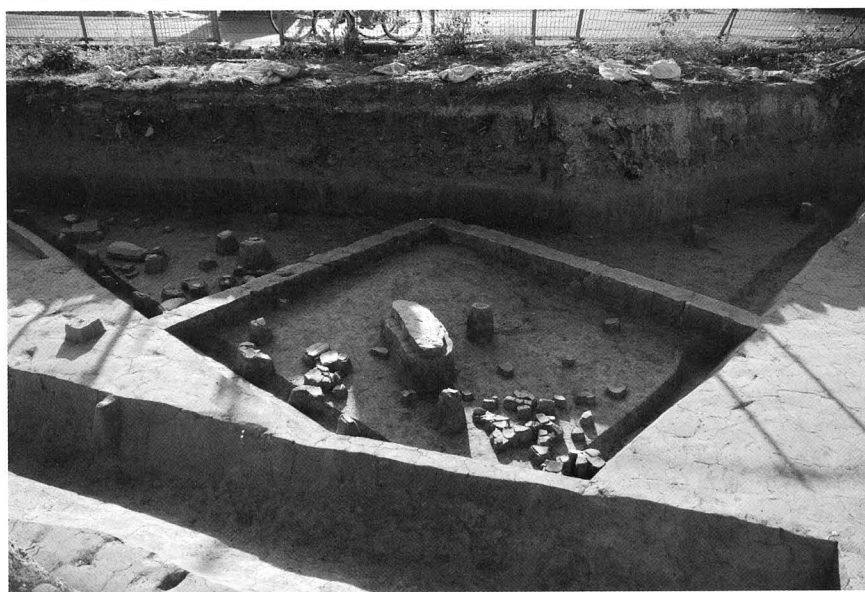


1区(南側)完掘状況
(北から撮影)





1区（北側）完掘状況
（北から撮影）



1区 SB1001遺物出土状況
（東から撮影）



1区 SB1001完掘状況
（北から撮影）

1区 SD1002完掘状況
(南東から撮影)



1区 SD1011遺物出土状況



1区 SK1006遺物出土状況
(北東から撮影)





1区 SR1002土層堆積狀況



1区 SR1002遺物出土狀況



1区 SR1002石杵出土狀況

1区 SR1002完掘状況
(北東から撮影)



2区 完掘状況(北から撮影)

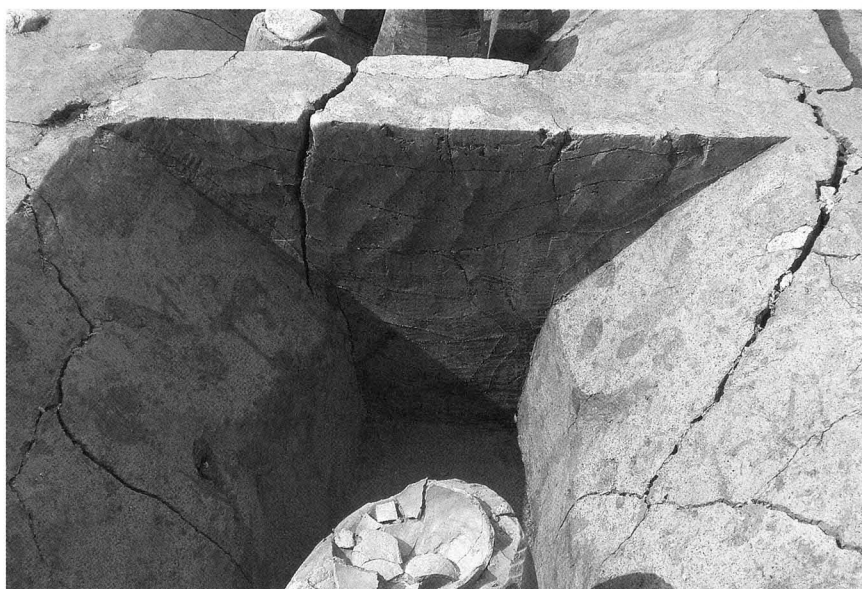


2区 SA1001完掘状況
(北から撮影)





2区 SD1002・1003完掘状況
(北西から撮影)



2区 SD1020土層堆積状況



2区 SD1020遺物出土状況
(北東から撮影)

2区 SG1001~1005完掘状況
(北から撮影)



2区 SK1026・1027完掘状況
(西から撮影)



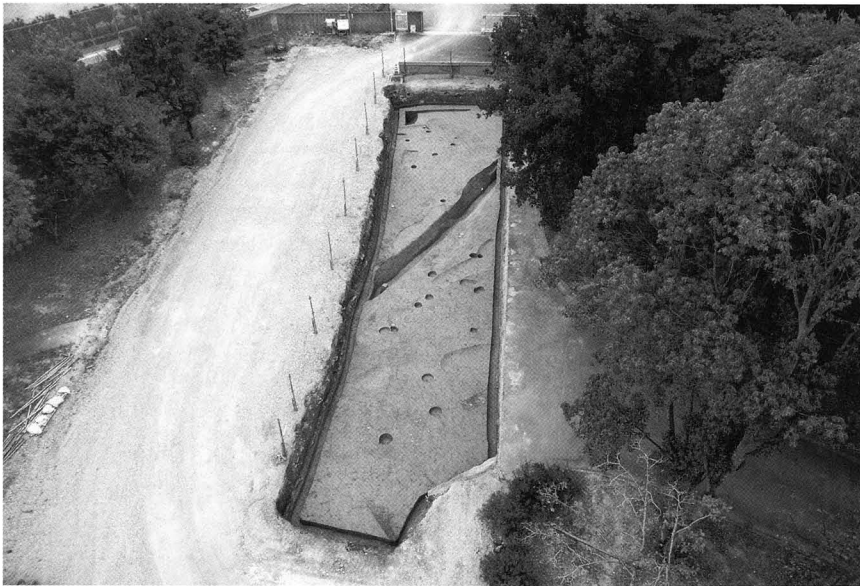
2区 SR1004遺物出土状況①
(北から撮影)



図版61



2区 SR1004遺物出土状況②
(北から撮影)



3区 完掘状況(南から撮影)



3区 SA1004完掘状況
(北東から撮影)



3



4



5



8



9



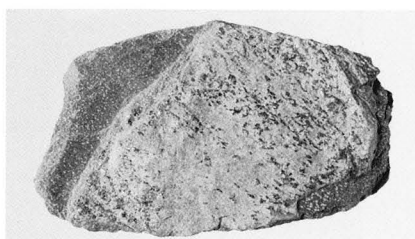
10



11



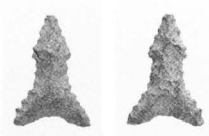
SB1001出土



13

出土遺物(1)

图版 63



23



24



25

SD1002出土



26

SD1003出土



27



30

SD1011出土



31

SD1020出土



39

出土遺物(2)



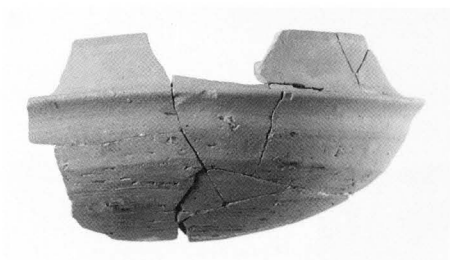
40



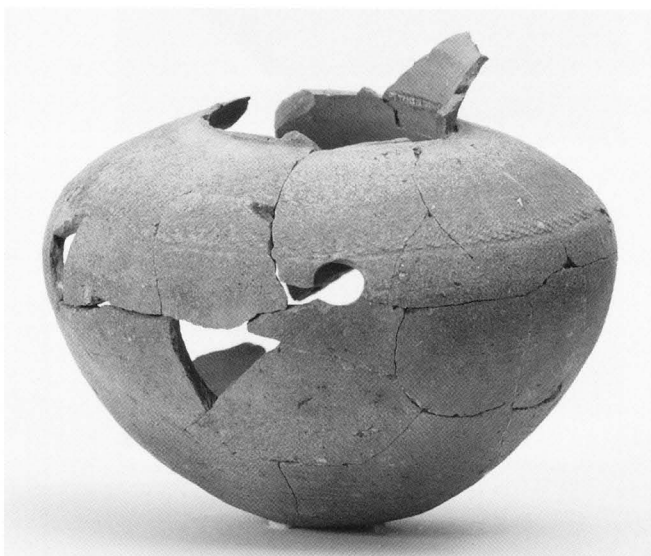
42



41



43



49



46



51



52

SD1020出土
出土遺物(3)

图版 65



54



53



55



56



57



59



58



62



61

SD1020出土

出土遺物(4)



64

SD1022出土



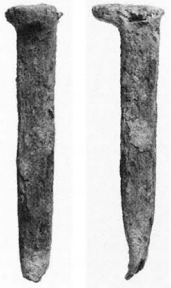
70

SK1020出土



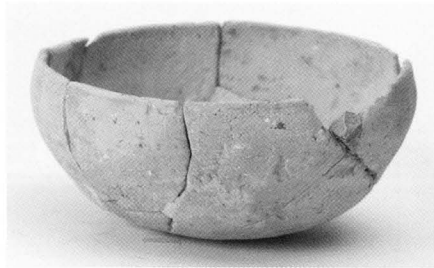
71

SK1026出土



66

SG1002出土



72

SK1027出土



73



76

SP1030出土



77

SP1049出土



78

SR1002A出土

出土遺物(5)



79

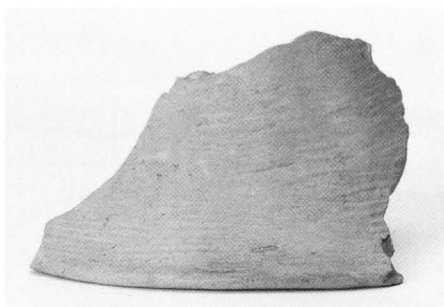
图版 67



80



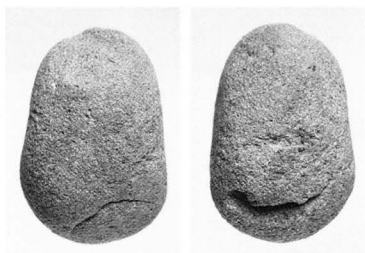
81



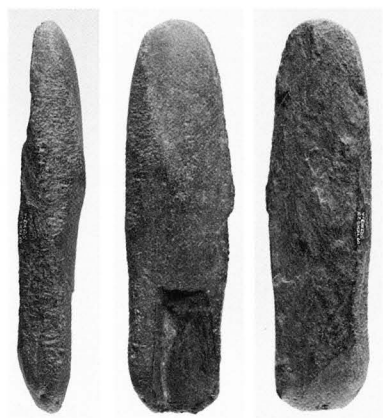
82



83



84



86



85

SR1002A出土

出土遺物(6)



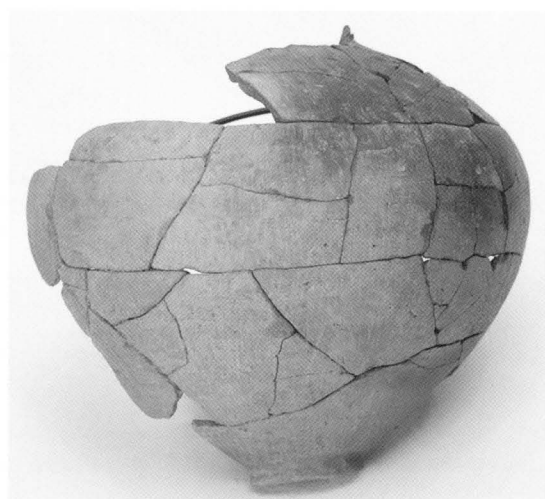
87



90



91



92



96

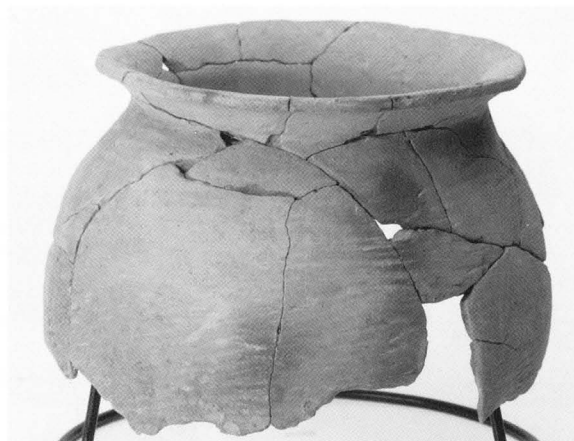
SR1002B出土

出土遺物(7)

图版 69



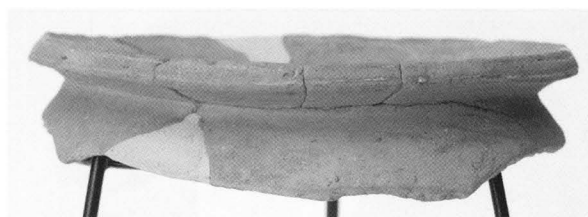
98



99



106



101



108



105



109

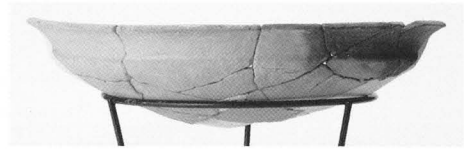


110

SR1002B出土
出土遺物(8)



112



113



117



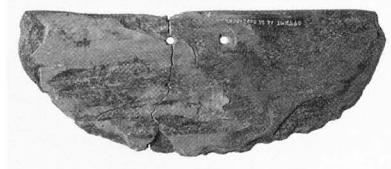
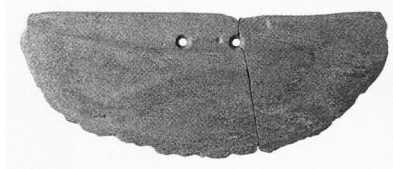
118



122



120



123

SR1002B出土

出土遺物(9)

图版 71



124

SR1002B出土



128



127



130

SR1002C出土



131

出土遺物(10)



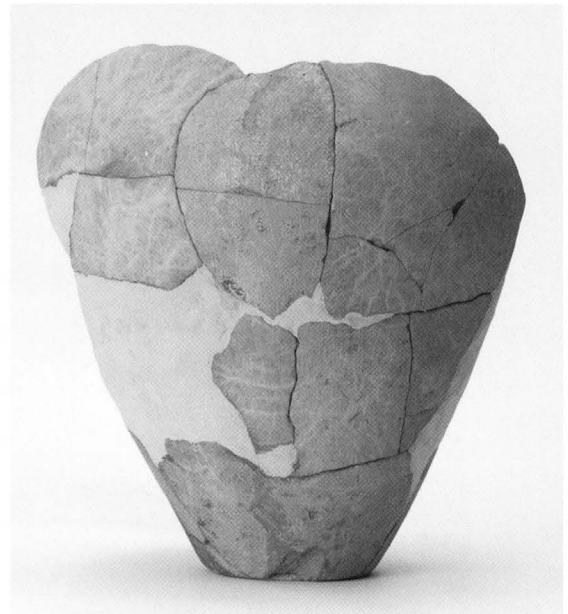
132



133



135



137



138

SR1002C出土



140

出土遺物(11)

図版73



141



142



144



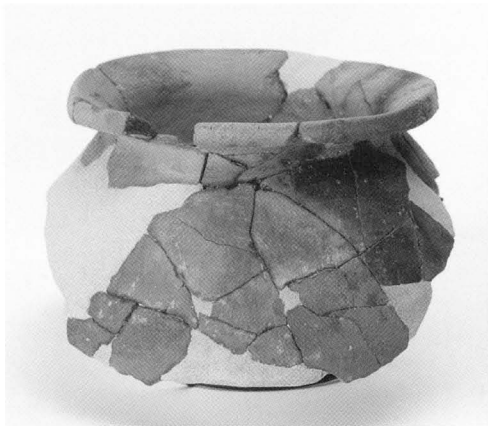
145



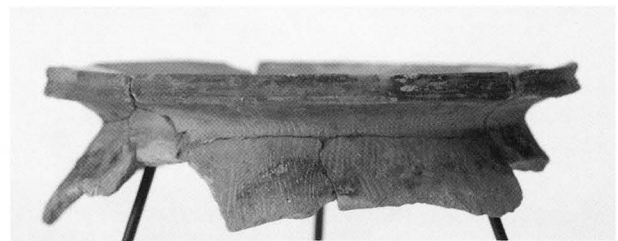
148



151



152



153

SR1002C 出土

出土遺物(12)